

第六十七回帝國議會
衆議院

營業收益稅法中改正法律案委員會會議錄(速)第十回

會議

昭和十年三月十八日(月曜日)午前十時五十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 木暮武太夫君

理事小笠原三九郎君 理事田尻 生五君

理事原 淳一郎君

松村 光三君

蔭山 貞吉君

大山斐瑳磨君

倉元 要一君

田島勝太郎君

田中 貢君

中村 繼男君

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 高橋 是清君

外務大臣 廣田 弘毅君

陸軍大臣 林 銑十郎君

商工大臣 町田 忠治君

出席政府委員左ノ如シ

對滿事務局長 川越 丈雄君

大藏省主稅局長 石渡莊太郎君

大藏書記官 谷口 恒二君

陸軍政務次官子爵 土岐 章君

商工政務次官 勝 正憲君

商工參與官 高橋 守平君

商工省鑛山局長 小島 新一君

商工書記官 新倉 利廣君

臨時產業合理局事務官 藤田國之助君

拓務政務次官 櫻井兵五郎君

朝鮮總督府政務總監 今井田清德君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

關稅定率法中改正法律案(政府提出)

大正十三年法律第二十四號中改正法律案

(釐澤品等ノ輸入稅ニ關スル件)(政府提出)

出)

昭和七年法律第四號中改正法律案(輸入

稅ノ從量稅率ニ關スル件)(政府提出)

關稅法中改正法律案(政府提出)

鐵ノ輸入稅ニ關スル法律案(政府提出)

○木暮委員長 開會致シマス、曩ニ審議終

了致シマシタ關稅定率法中改正法律案、大

正十三年法律第二十四號中改正法律案、昭

和七年法律第四號中改正法律案、關稅法中

改正法律案、以上四件ノ法律案ヲ議題ト致

シマシテ討論ニ入り、可否ノ採決ニ入りタ

イト思ヒマス——小笠原君

○小笠原委員 私ハ只今議題ニナツテ居リ

マスル關稅定率法中改正法律案外三件ニ對

シ、政友會ヲ代表シテ、政府提出原案ニ贊

成ノ意ヲ表スルモノデアリマス、日本ニ於

ケル關稅政策ハ、日本ノ國情ニ鑑ミテ諸政

策中、最も重要大切ナルモノ、一ツデアリ

マス、日本方海外貿易ニ依存スル所深ク、日

本ノ國運ト繁榮トガ、或ル程度迄、貿易ノ

消長ニ左右セラレザルヲ得ナイ國柄トシテ

ハ、關稅政策ノ適否ハ、直ニ國民經濟ト國

家經濟トニ影響シテ來ルノデアリマス、而

シテ世界各國ノ經濟「ブロック」化ガ、漸次

強度化スルニ伴レテ、國際通商戰ハ益々激

化シ、各國ハ關稅ノ伸縮上下ニ依ツテ、自

國產業ノ保護ト、外國貿易ノ伸張ト、國際

收支ノ改善トヲ圖フデ、日モ維レ足ラザル有

様デアリマス、隨テ日本ノ貿易政策、延イ

テ關稅政策ハ、此新ラシキ事態ト情勢トニ

對應シテ再檢討ヲ爲シ、一般的關稅ノ改正

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)

關稅定率法中改正法律案(政府提出)

大正十三年法律第二十四號中改正法律案

(釐澤品等ノ輸入稅ニ關スル件)(政府提出)

昭和七年法律第四號中改正法律案(輸入稅

ノ從量稅率ニ關スル件)(政府提出)

關稅法中改正法律案(政府提出)

鐵ノ輸入稅ニ關スル法律案(政府提出)

ヲ爲スノ必要アルコトハ、是亦多言スル迄

モナイコト、存ジマス、併ナガラ關稅ノ改

正ハ、之ヲ實行スルコトガ容易ノ業デア

リマセス、單リ外國トノ關係ヲ顧慮スル許

リデ無ク、生産者、消費者雙方ノ立場ヲ考

ヘ、又其需給狀態、國民經濟ニ及ボス影響

ヲ、十分ニ考察スル必要ガアルノデアリマ

シテ、自然其改正ガ實行ニ移サル、迄ニ

ハ、相當ノ時間ヲ要スルノガ普通デアリマ

ス、ソレ故ニ過日太田君ガ申サレマシタ如

ク、政府ハ絶エズ關稅改正ニ關スル調査研

究ヲ怠ルコトナク、又關稅委員會ノ活用ニ

留意セラレマシテ、關稅改正ガ常ニ機宜ヲ

失セズ、所謂六高十菊ノ數ナキヤウ、敏速

適當ニ著々實行セラレンコトヲ、茲ニ要望

致シテ置クモノデアリマス、固ヨリ日本ノ

立場上、其關稅政策ハ收益主義ヲ基調トス

ベキモノデナク、自給自足ノ大旗ノ下ニ、

一方ニハ國內產業ノ自立發達ヲ目標トスル

ト共ニ、他方ニハ輸出工業ノ伸張擴張ヲ眼

目トセネバナラヌノデアリマス、日本ハ約

イシ、資源ニハ乏シイシ、國內ノ市場ハ狹隘デアリマス、加フルニ年々百萬ニ近イ人口ノ増加ガアリ、新ニ三四十萬人ノ求職者ガ出ルノデアリマスルガ、日本ノ農業ハ耕地ノ不足、負擔ノ過重、利潤ノ減少デ、是等ヲ收容スルノ力ヲ缺イテ居リ、又國內ノ商工業モ、同様其消化力ヲ缺イテ居リマシテ、最早今日ノ農業並ニ國內の商工業ガ、我が國民經濟解決ノ力ニナラヌコトハ、多ク申ス迄モアリマセヌ、故ニ日本ト致シマシテハ、政治的ニ滿洲國其他ヘノ進出モ考フルト共ニ、努メテ國內産業ノ自主獨立ト、輸出工業ノ進歩發達ヲ圖ラネバナライノデアリマス、一方日本ノ國庫豫算モ、亦年年莫大ナル赤字公債デ賄ハレテ居リ、累増セル此内外國債ノ利拂ハ、結局吾々九千萬國民ノ租稅トシテ、負擔スル外ハアルマイト存ジマス、然ルニ日本ノ農業ヤ、國內の商工業ハ、何レモ負擔過重デ、是レ以上ノ財源トハナリ得マセヌ、唯工業、而モ此工業ハ世界經濟ニ參加シテ、貿易上利益ヲ獲得シ得ル輸出工業ノ進歩發達ニ依ッテノミ、支拂ハレ得ルノデアリマス、而シテ是等ノ目的ヲ達成スル爲ニハ、帝國ノ貿易政策、就中關稅政策ノ如何ニ繫ッテ居ル點ガ、最も多イノデアリマスカラ、政府ハ特ニ此點ニ

思ヒヲ致サレマシテ、此重大ナル關稅政策ト、關稅法ノ改善運用ニ、萬遺漏ナキヲ期セラレンコトヲ、篤ト御注意申上ゲテ置ク次第デアリマス、今回ノ改正ハ、若干遺憾ノ點ガアリマスガ、大體ニ於テ現實ニ相應ハシク、適當ノ改正デアルト存ジマス、唯今回ノ改正デ「ダイヤモンド」等ノ貴石ヲ除キタル、所謂贅澤品關稅法ハ、麥酒ガ贅澤品トシテ取扱ハル、ヤウナ、不合理モ殘サレテ居リマシテ、太田君ガ言ハレル如ク、本贅澤品稅法ハ生産關係、消費關係ヲ一括シテ考ヘマシタ今ノ經濟界カラ見ルト、理論的ニハ最早意味ガ無クナッタヤウニ思ハレルノデアリマス、政府當局ノ考慮ヲ願ッテ置キマス、尙ホ此場合一言シテ置キタイコトハ、木材關稅ノ改正ニ關聯シテ「アリマス、抑、木材關稅ハ、昭和四年花梨木、黃楊木ヲ贅澤關稅ヨリ除クト云フコトニナリマシテ、其際政府ニ於テハ、法文ヲ「六一二番木材、單ニ切り、挽キ又ハ割リタルモノ(甲ノ一ヲ除ク)」ト書イテ置イタノデアリマス、此法文ニ依リマス甲ノ一、花梨木、黃楊木ヲ除キマシタ他ノ木材ハ、總テ例ヘバ欄葉樹、針葉樹等一切ノ木材ハ、皆此贅澤稅法ニカ、ルコトニナッタノデアリマス、ソコ

デ此改正法發布後モ、政府デハ法文ノ誤レルコトニ氣付イテ、會計檢査院等ニ交渉シテ、實際ハ紫檀、黑檀、鐵刀木等ダケニ、立法ノ精神通り課稅シテ、其他ニハ課稅シナイデ、斯クテ法文ト實際トガ合致セナカタノデアリマス、ソコデ其後我黨ノ大口君ヨリ此改正案ヲ出シタノデアリマスガ、當時ノ政府ハ十分ニ自己ノ非ヲ認メナガラモ、横車ヲ押シテ同意ヲシナイ、是ガ爲ニ大口氏ノ改正案ハ、遂ニ議會ノ協賛ヲ得ルニ至ラナカッタノデアリマス、今回政府ガ端的ニ其非ヲ認メマシテ、改正ヲスルコトニ依ッテ法文ト實際トガ、全ク合致スルニ至ッタノハ結構デアリマスガ、政府ハ今度ノ改正ヲ爲ニス當リマシテモ、之ヲ關稅調查會ニ附議セズ、單ニ報告シタニ止ッテ居ルコトハ、私共ノ洵ニ遺憾トスル所デアリマス、自分ガ迂濶ナ爲ニ犯シタ誤リハ、法ノ解釋適用ニ無理ヲシ、手心ヲ加ヘテ、永年ノ間誤ッタマ、其非ヲ押通シ、今度改正スルニ當リマシテモ、通商擁護法ニ於テ「關稅調查會ノ議ヲ經ル」コトガ絕對必要トナッテ居ルニモ拘ラズ、當局ノ辯明ニ依ルト「今日實際實行致シテ居ルコトニ條文ヲ改メタダケデ關稅率ニ變更ヲ加ヘタノデハナイカラ」ト斯ウ云フコトデ、關稅調查會ニ付議

シナカッタト云フガ如キハ、是ハ言葉ガ惡イカ知レマセヌガ、餘リニ三百式デアルト申サナケレバナラヌノデ、斷ジテ私共ノ許スベカラザル所デアリマス、法律ハ嚴格デナケレバナリマセヌ、今後ハ各種關稅ニ對スル改正ハ、必ズ關稅調查會ニ付議サル、ヤウ、特ニ政府ニ警告致シ置クモノデアリマス、之ヲ以テ私ノ討論ヲ終リマス

○原委員 只今議題ニナッテ居リマスル關稅ノ改正ハ、大體ニ於キマシテ適正ナル改正ト存ジマスルガ故ニ、私共民政黨ノ委員ハ、原案ヲ承認致シタイト存ジマス

○中村(繼)委員 國民同盟ヲ代表シテ、贊成ノ意見ヲ申上ゲマス、但シ只今小笠原君ノ述ベラレマシタ所ノ、關稅調查會ニ付議シナイデヤルト云フヤウナコトハ、是ハ調查會ヲ設置シタル趣旨ヲ、没却スル虞ガアルノデハナイカト云フコトヲ考ヘマス爲メ、同君ノ警告ニ對シマシテモ、私ハ同意ヲ表シテ置キマス

○本暮委員長 別ニ外ニ御發議ハゴザイマセヌ、討論ハ終結致シマシタ——只今議題ニナッテ居マスル關稅定率法中改正法律案外三件ハ、關聯シタ事項デアリマスカラ、四案ヲ一括シテ採決致シタイト思ヒマス、原案ニ御贊成ノ方ノ起立ヲ願ヒマス

【賛成者起立】

○木暮委員長 起立總員、滿場一致原案ハ可決確定致サレマシタ——引續キ鐵ノ輸入稅ニ關スル法律案ノ質疑ヲ、前回ニ引續イテ行ヒマス、前回保留ノ形デ殘ッテ居リマス森田君カラノ質疑ヲ繼續致シマス——森田福市君

○森田委員 一昨日ニ引續イテ、商工大臣ニ此問題ヲ申上ゲタイト思ヒマス、一昨日私ハ總體ニ互ッテ御尋シタ積リデアリマスカラ、今日ハ一昨日ノ質問ニ對スル結論ヲ、附ケテ行キタイト考ヘマス、一昨日ノ私ノ終リ頃ノ質問ハ、鋼材ニ對スル關稅ノ課ケ方ノ問題デアッタノデアリマス、昨日ナドノ新聞ヲ見マシテモ、獨逸ノ鋼材政策ト云フカ、鐵政策ト云フカ、非常ニ混亂ヲシテ來テ、極東方面ニ持ッテ行ッテ、投資デモ仕兼ネマジキ模様ニ、見受ケラレルノデアリマスカ、斯ウ云フ方面ニ對シテ、政府ハ多少御調査ニナッテ居リマスカ、ドウデアリマスカ、之ヲ拜承致シタイトデアリマス

○勝政府委員 獨逸、白耳義等デ、投資デモヤリ兼ネマジキ模様ガアルト云フコトガ、過日ノ新聞ニモ出テ居リマシタ、調べテハ居リマスカ、マダハッキリシタコトハ分ラナイノデス

○石渡政府委員 獨逸ノ「ダンピング」ハ、如何ナル程度ノモノカト云フコトニ付テハ、昨日アタリノ新聞ニモ出テ居リマスケレドモ、ハッキリ致シマセヌノデアリマス、先日獨逸ノ鐵ノ方ノ話ヲ聞イテ見タノデゴザイマスガ、是ハ中々今日、日本ヘ持ッテ來テ引合フヤウナ値段デハナイノデゴザイマス、今回果シテ「ダンピング」ヲアルト云フコトガ眞實デアルカ、如何ナル程度ノ「ダンピング」ヲアルカ、ドウカト云フコトハ、是ハ勿論今日ハッキリ致シテ居リマセヌ、先達ノ獨逸ノ鐵ノ話ニ依リマスト、是ハドウモ非常ニ今日、コッテヘ持ッテ來ルト、高價ニ附クヤウニ承知致シテ居リマス

○森田委員 昨日ノ新聞ニ出タ位デアリマスカラ、昨日ハ日曜デモアッタシ、詳シク御調査ニナッテ居ラスノグラウト思ヒマスカ、私ハ斯ウ云フコトモ感ジマス、磅ノ爲替ガ下ッテ行クト、圓ガ騰ッテ行クトニナル、サウ云フコトヲ考ヘルト、鐵ノ關稅ニ於テ關稅ヲ引下ゲ、爲替ノ關係ガ又磅ガ下ッテ圓ガ騰ッテ行クト云フヤウニナッテ行ケバ、思ッテ居ル以外ニ又茲ニ混雜ヲ生ジテ來ルコトハ明デアリマス、サウスルト此鐵ノ關稅、就中鋼材ノ關稅、鉄鐵ノ關稅ノ三圓ノ引下ハ、餘リ議論セヌデモ、是ハ大體適當ノモノデ

ヤナイカ、是ハ私一人ノ意見デスケレドモ、マアソシナモノデヤナイカと思ハレルケレドモ、鋼材ノ問題ハ、ドウモ政府ノヤリ方ガ、十分ニ得心ガ參リ兼ネル、鐵政策ト云フモノヲ、一貫作業ニ贊成シテ居ラルル鐵國策ニ對スル處置トシテハ、一貫作業ニ贊成シテ居リナガラ、熔鑄爐ノ許可ノ問題ニナッテ行クト、ソコデ曖昧ニナル、商工大臣ノ一昨日ノ答辯モ、ソコハハッキリ爲サラヌ、ドウモドシ／＼許可ヲスルト、將來鋼材ノ生産ガ、過剩ニナッテ來テ困リハセヌカト云フ風ニ、御答ニナルノデアリマスカ、其心配ハナイノデス、内地ノ需要ガ増加シテ居ルノデアリマスカラ、勢ヒ鐵ヲ輸入ニ俟ヨリ外ニ、途ハナイコトニナリマス、鐵ノ輸入ヲ仰ガナケレバ仕方ガナイ、輸入ヲ仰グ爲ニ一方ノ關稅ヲ引下ゲテ行クト云フコトハ、内地ノ一貫作業ヲ獎勵シテ行クトニ支障ヲ來ス、何故ナラバ資本家ガ資本ヲ投ジテ、此熔鑄爐ヲ造ラウト云ウテモ、引合ハナイヤウニナリ、鐵價ガ下落シテ行クトニ依ッテ、其事業ノ進展發達ヲ圖ルコトハ、困難デハナイカト考ヘラルルノデアリマスカ、此點ヲモウ少シ突込ンデ、商工大臣ノ意ノアル所ヲ承リタイ、ソレハ本當ニ鐵國策トシテ、此一貫作業ニ同

意セラル、カドウカ、同意セラル、ナラバ、其鋼材ヲ造ル熔鑄爐ヲ、速ニ許可ヲシテ行クベキモノデアルト思フガドウカ、ソレニハ鋼材界ヲシテ、色々ノ意味ニ於テ値段ヲ非常ニ、思ッタヨリ以上ニ下ゲサシテ行クトガ、其事業ノ擴張ヲシテ行クトニ對シテ、支障ヲ來スト思フガドウカ、此點ヲ一ツ梟ヲ付ケテ置キタイト考ヘマス

○町田國務大臣 一昨日森田君ノ御尋ニ對シテ、私ノ心持ヲハッキリ申上ゲタ積リデアリマス、唯今ノ御尋ニ對シマシテハ、日本ノ製鐵獎勵ハ、獨リ關稅ノミデナクテ、他ニ大キナル製鐵獎勵法ト云フ關稅以外ニ、關稅以上ニ國家ガ之ヲ獎勵スル途ヲ、別ニ開イテ居リマスカラ、私共關稅ヨリモ、サウ云フ方ニ重キヲ置イテ、御考下サッタ方ガ宜イカト思ヒマス、ソレカラ此度ノ鋼材ノ大體五割引下ゲルト云フノハ、經濟界ノ好轉ニ伴ッテ、非常ナル需要ノ増加ガ生ジタ爲ニ、暫定的ニ、内地ノ需要者ニ餘リ酷イ迷惑ヲ掛ケヌ方ガ、國策トシテ宜シイト云フ點カラ、極メテ暫定的ナ考方デ、此法律ガ出來マシタノデアッテ、内地ノ製鐵事業ガ一貫作業ニ進ンデ行クノヲ、之ガ爲ニ挫カレル虞ハ斷ジテナイ、斯ウ云フ考カラヤッタノデアリマス、ソレカラモウ一

ツ御心配ノ爲替ノ問題デアリマス、或ハ金「ブロック」ノ前途ハ、ドウナラウカ、森田サンノ御話ノ通り磅價ガ下ッテ、日本ノ爲替相場ガ上ッテ來タト云フヤウナ場合ノ、考ヘ方ハ、是ハ別途ニ考慮スル積リデアリマス、左様ナ爲替ノ大キナ變化ガ生ジタト云フ場合ニハ、別途ナ考ラスル積リデアリマス、此法案ハ極メテ暫定的デ、長クトモ二年、場合ニ依レバ其二年ヲ待タズシテ、適當ニ之ヲ改正スルト云フ積リデ、極メテ刻下ノ急ニ應ズル爲ニ、已ムヲ得ズ執ツタ應急對策トシテ、ドウゾ御審議ヲ願ヒタイノデス

○森田委員 爲替關係ニ變動ヲ來シタ時ニハ、別途ノ考慮スルト仰シヤッタガ、ドウ云フ別途ガアリマスカ、ソレヲ拜聽致シタイ

○勝政府委員 是ハ大臣カラ御答ニナル順序デアリマスガ、私カラ一應申上ゲマス、爲替關係ト申シマスノハ、爲替ガ急激ニ變動シタヤウナ場合ニハ、勅令ニ依リマシテ關稅引下ヲ停止スルト云フヤウナ方法モ、考ヘラレルノデアリマス、爲替ガ非常ニ動イタト云フヤウナ時ニハ、サウ云フ方法モ、考ヘ得ルト云フコトデアラウト思ヒマス

○森田委員 サウスルト勅令ヲ以テ引下ゲ

ル、私ハ爲替ノ變動ガアツタ場合ニハ、今デモ關稅ガ少シ引下ゲ過ギハセヌカト云フコトヲ、今御尋フシテ、御答ヲ得ツ、アルノニ、磅ガ下ッテ圓ガ上ッテ來タヤウナ場合、又關稅ヲ引下ゲルコトガ出來ルト云フノハ、ドウ云フ譯デスカ、引上ゲルノデアリマセヌカ

○勝政府委員 或ハ私ガ言ヒ損ツタカモ知レマセヌガ、引下ゲルノデハナクシテ、引下ゲテ居ル關稅ヲ、勅令デ元ニ戻ス、ソレデ御覽ノ通り此案ニハ、勅令云々ト云フコトガ書イテアリマス

○森田委員 ソコニナッテ來ルト、伸縮關稅ノ問題ニナル、私ハ一昨日ハ觸レテ居リマセヌガ、ソレニ入ラナケレバナラヌヤウニナッテ來タ、此關稅ノ伸縮權ヲ政府ニ有タスト云フコトニ對シテ、從來財界ナドデハ亞米利加ナドガヤッテ居ルヤウニ、此關稅ノ伸縮權ヲ大藏大臣ニ與ヘヨウデハナイカト云フコトヲ、要望シテ居ルノデアリマスガ、然ルニ政府ハソレハ困ル、サウ云フコトハヤラスト言フテ、今日迄ヤラナイ方針ノ建前ヲ採ッテ居ルコトハ、御承知ノ通りデアリマス、然ルニ今度鐵ノ問題ニ限ッテ、關稅ノ伸縮權ヲ政府ニ與ヘルト云フコトハ、私ハ考ヘモノデアルト思フ、ドウ云フ方面

ニ考慮ノ餘地ガアルカト云フト、之ヲヤルト政府モ困ル、同時ニ一種ノ利權デアリマス、政府ノ手ニ於テ自由ニナルト云フコトガ、明ニナッテ行クナラバ、非常ニ此方面ノ商人カラモ、色々ノ運動ガ起ッテ來ルデアリマセウ、從來ナラバ議會ニ懸ケテ、協賛ヲ經ナケレバナラヌカラ、サウ云フ譯ニ行カヌト云フコトデ濟ンデ居ッタモノガ、今度ハサウ云フ譯ニ行カヌ、政府ノ自由ニナルト云フコトニナレバ、少シ爲替ノ變動、鐵價ノ變動ガアツタ場合ニハ、直チニ關稅引上ノ運動ガ行ハレテ、政府モ面倒ナコトデアラウト思フ、同時ニ斯ウ云フ關稅ノ伸縮權ヲ政府ニ與ヘルト云フコトハ、私ハ一種ノ利權デヤナイカ知ラント思フ、此利權ヲ政府ニ有タスト云フコトハ、從來ノ例ヲ破ルコトデアルカラ、餘程慎重ニ考慮シナケレバナラヌ問題デアルト思フノト、隨テ若シ政府ニ僅カニ簡年先スラ見透シガ付イテ居ラヌナラバ、此關稅ハ觸レヌ方ガ宜イノデハナイカ、法律トシテ議會ノ協賛ヲ經ルヤウナ重要ナ問題ヲ、一年二年先ノ見究メガ付カナイナラバ、現在ノ儘ガ宜シイ、見究メガ付イタナラバ、其間ニ伸縮權ヲ政府ニ與ヘル必要ハナイ、結局私ガ問フノハ斯ウナル、政府ハ一年ヤ二年ノ短期間ノコト

スラ、先ノ見究メガ——即チ生産ト需要ト供給トノ見究メガ付カヌト云フコトデハ、軍部ノ方面ノ豫算モ、大體何時頃迄ドウ云フ風デアル、隨テ民間ノ産業モ何時頃迄此景氣ガ續ク、隨テ鐵ノ消費ハ向フ二簡年間ハ、大體斯ウ云フモノデアル、然ラバ、我國ノ鐵ハドウ云フ風ニ出來ルカラ、是ダケ不足ヲ來ス、價格ヲ斯ウ云フ程度ニ維持シテ置ケバ宜イカラ、關稅ハ此處ヘ置カウト云フ見究メガ、一ツ付イテ來ナケレバナラヌト思フ、ソレガ僅ニ二簡年ノ見究メサヘ付カザルモノヲ茲ニ提案シテ、審議サセラレルト云フコトハ、私ハドウ云フモノデアラウカト思フ、寧ロ二簡年位ノ見究メスラ付カヌナラバ、提案セヌガ宜イシ、見究メガ付イテ提案セラレタナラバ、伸縮關稅權ヲ政府ニ與ヘル必要ハ、何處カラ見テモナイノデハナイカ、斯ウ思フガ、商工大臣ハドウ思ヒマスカ

○町田國務大臣 要スルニ、已ムヲ得ズ暫定的ニ引下ヤルノハ、一昨年昨年ニ掛ケテノ内地ノ鉄鐵、竝ニ鋼材ノ需要ガ、オ叱リヲ受ケルカ知レマセヌガ、一昨年ニ於テハ初メ思フタヨリ以上ニ需要ガ殖エタ、昨年ニ於テモ思フタヨリ以上ニ需要ガ殖エタ、今年ニ於テモ亦、初メ想像シタ以上ニ殖エタ、

是ハ一年ノ見透シノ付カヌノハ、當局者ガ
イカヌト仰シヤレバ其通りデアリマスガ、
事實ニ於テハ經濟界ノ好轉カラ、内地ノ需
要ガ急ニ殖エテ來タ、一面此經濟界ガ今ノ
順序デ、將來銑鐵並ニ鋼材ノ需要ガ、今日
ト同ジ力デ進ムモノデアリヤ否ヤハ、經濟
界ノ爲ニハ斯様ナコトヲ希望致シマスケレ
ドモ、實際ハドウナルカマダ分リマセヌ、

同時ニ先日來説明申上ゲタ通り、日本製鐵
會社ニ於テモ、二年位ノ後ニハ相當ナ大キ
ナ供給ガ増ス、數量モ略、想像サレマス、ソレ
カラ淺野、日本鋼管會社等ニ於キマシテモ、
一貫作業ニ依ッテ生ズル分量モ、相當大キ
ナ數量ニ參リマスカラ、經濟界ガ今日ト同
ジヤウナ狀態デ、需要ガ年々増シテ行キマ
スト、是デモマダ足ラヌカモ知レマセヌ、
併シルソ滿洲ノ方デハ昭和製鋼所ノ方デ造
ル鋼材ノ關係モアルシ、日本製鐵會社以外
ニ、一貫作業デアル會社ガ二ツモアリマス
ルシ、日本製鐵會社ガ殊ニ大キナ計畫ノ下
ニ、一兩年ノ後ニハ相當ナ分量ガ出ルコト
ハ、慥カ申上ゲテアル筈デアリマス、左様
ナ事情ヲ考慮シテ見マスト、今日ノ急激ナ
ル需要ノ増加ニ依ッテ、市價ガ非常ニ騰ッ
來タ、之ガ爲ニ一般銑鐵ヲ用ヒル者、機械
ヲ造ル者、又鑄物用トシテ使フ者、多數ノ

鋼材、銑鐵ヲ需用スル一般消費者ニ、之ヲ
賣捌ク大衆ノ點カラ見マシテ、一時之ヲ引
下ゲルコトガ、已ムヲ得ヌコト、思ヒマス、
二年ト云フノハ凡ソ此位マデ參ッタナラバ、
相當ナ數量ヲ増スト云フコトヲ見マシテ、
立テタノデアリマス、此邊デドウゾ御諒解
ヲ得レバ結構デアリマス

○森田委員 其邊デ一寸諒解ガ難シイノデ
ス(笑聲)二年間ヲ見究メテ立テタノデア
ルト仰シヤルナラ、伸縮關稅ガ要ラヌコトニ
ナル、二年ハ暫定的デアルカラ、マア一ツ
ドウナルカ分ラヌガ、此程度ハ先ヅ只今ノ
商工大臣ノ御説明ノ通りト思フガ、二箇年
ノ間、斯ウ云フ風ニ進ムト仰シヤルナラバ、
其間ニ又此關稅ノ引上、引下ガ出來ルヤウ
ナ權利ヲ、政府ニ與ヘテ置ク必要ハナイデ
ハナイカ、若シ見究メガマダ付イテ——商
工大臣ノ御説明ニ依ルト、大體需要ト供給
トニ對スル二箇年位ノ見究メハ今御話ノ通
リニ、ソレガ當ルカ當ラヌカハ難シイ問題
デ、ソレハ分リマセヌガ、併ナガラ豫想ト
云フモノハ、先ヅ政府ニハ付イテ居ルト、
御話ニ依ッテ諒承シナケレバナラヌ、私ハ其
點ヲ諒承スル、然ラバ關稅ノ伸縮權ト云フ
モノヲ政府ニ與ヘテ置ク必要ハナイデヤナ
イカ、ソレハ危險デアル、政府ノ方デモ面

倒ナコトデアル、隨テ若シアナタノ言ハレ
ル前者ヲ肯定シテ行クナラバ、後者ノ伸縮
關稅ノ點ハ、肯定ガ出來ヌコトニナル、ソ
レカラ後者ノ伸縮關稅ノ方ヲ、ドウモ見究
メガ何時ドウナルカ分ラヌカラシテ、之ヲ
是非トモ其伸縮關稅權ヲ、政府ニ與ヘテ置
クト仰シヤルナラバ、前者ノノナタノ豫想
セラレタ問題ガ、ドウモ具合ガ惡クナル、

此兩方ハ並行シマセヌ、サウ御考ニナルト
私ハ直グ分ルト思フ、其點ハサウ云フ風デ
アルカラ、原案ヲ折角御出シニナッテ居ルモ
ノヲ、サウデナイト率直ニ言ハレルコトモ、
困難ガラウト思ヒマス、今ノ鐵ノ問題ノ現
在ノ狀態ハ、ドウナッテ居ルカト云フコト
ハ、吾々モ鐵ニ對シテハ多少ノ關係ヲ持ッテ
居ルノデアリマスガ、今日ノ鋼材界ハ先ヅ
關稅問題ノ爲ト、歐洲ノ即チ英國デアルト
カ、獨逸デアルトカ云フ方面ノ、鐵ノ極東
ニ對スル投資問題、色々ナコトガ錯綜シテ、
實際ノ取引ハ行ハレテ居ラヌガ、契約ハア
ル、建値モアルケレドモ、見送リト云フ狀
態ニナッテ居ルノデアリマス、隨テ此問題ノ
解決ハ、私ハ成ベク早イ方ガ宜イ、可決ナ
ラ可決、否決ナラ否決、修正ナラ修正、政
府ハ勿論原案可決ヲ希望セラレマセウガ、
併シ政府モ今日トナレバ、ドウモ此儘デハ

チットドウカト云フ考ハ起キテ居ラヌカ、併
シ關稅ノ伸縮サヘ行ヘバ宜イト御考デアリ
マセウ、ケレドモ政府モ此儘デハ、ドウデ
アラウカト云フコトニナッテ行ケバ、ドウシ
テモ今ノ政府ニモ、多少茲デ間違ッテ居ルコ
トヲ考ヘテ居ラレルガラウト思ヒマス、ソ
コデ此鐵ノ問題ヲ急速ニ解決シテ行クノニ
ハ、ドウシテモ日鐵ニ限ラズ——日鐵ハ開

ク所ニ依レバ、二百萬瓩カラノ鑛石ヲ持ッテ
居ルサウデス、二百萬瓩持ッテ居ッテ、熔鑛
爐ノ設備ガ十分デナイ爲ニ、皆ナ製品ニ
——銑鐵ニ出來ヌヤウナ、狀態ニナッテ居ル
ノダサウデアリマス、サウスレバ日鐵會社
ノ經營者トシテハ、大變ナ損デス、二千何
百萬圓ト云フ、日歩ニシテモ大變ナ金利ヲ
損シテ居ル、ダカラ熔鑛爐ガ十分ニ設備シ
テ行ケバ、サウ云フ問題ダケハ自然ト解消
シテ行ク、殊ニ一番當テニナラヌ亞米利
加ノ古材ナド、是ハ一昨日非常ニ議論サレ
タ問題デアリマスガ、是ハ當テニシテハナ
ラス、斯ウ云フ風ニナッテ居リマスカラ、兎
ニ角一貫作業ニ依ルコト、熔鑛爐ヲ相當許
可シテ行クコト、關稅ニ付テハ今商工大臣
ガ仰シヤッタコトニ、一ツ感心致シ兼ネルコ
トガアルノハ、經濟界ノ好轉ノ結果、需要
ガ増シタト仰シヤッタ、其コトハ私モ同感デ

アル、併ナガラ經濟界ガ好轉シテ來ルト云フコトハ、鐵ナラ鐵ノ如キモノデモ、相當價格ニ賣レテ引合フカラ、製鐵ノ事業ヲ擴張スル、炭礦方面ニ機械設備ナド増シテ行ク、建物モ増シテ行ク、隨テ鐵ノ需要ヲ喚起シテ來ル、私ハ是ハ關聯シタ問題ダト思フ、財界ノ何處カ一箇所ニ不景氣ノ徵候ヲ現ハシテ來ルト、皆グラ／＼シテ來ル、製鐵ノ事業ヲ擴張スルカラ、石炭ノ如キモノノ消費ガ盛ニナル、石炭ノ如キモノ、消費ガ盛ニナルカラ、今度ハ前大藏大臣ノ藤井サング、利得稅ヲヤラウト言ッテ發表シタダケデモ、新會社ノ株券ハ殆ド全部額面ガ割込シタコトハ、商工大臣御承知デアルト思フ、ア、云フ風ニ一角ガ崩レテ、有價證券——株券ナドノ拂込額面ヲ割ッテ行クト、第二回以後ノ徵收ガ困難ニナル、サウナレバ事業計畫ガ頓挫ヲ來タシ、鐵其他總テノ材料ノ需要ガ減ッテ來ル、其結果ハ經濟界ヲ不況ニ陥入ルノデアリマスカラ、商工大臣ガ仰シヤッタ鐵ニハ製鐵獎勵法ト云フモノヲ設ケテ、營業收益稅ナリ所得稅ナリノ免稅ヲ與ヘテアル、ソレハ儲ツタ場合ノコトデアリマス、若シ鐵ノ價格ガ下ッテ來テ、引合ナイヤウニナッテ、收益ガナクナレバ、所得稅、收益稅ノ免稅ヲ受ケタコトニハナリマ

セヌ、ソレハ儲ツテ居ナイカラ、收益ガアリマセヌ、今此政策ヲ遂行シテ行ケバ、製鐵會社ハ儲ケガ減ッテ來ル——或ハ時ト場合ニ依ッテハ、惡ク行ケバ儲ケガ無クナルカモ知レナイ、サウスレバ製鐵獎勵法ノ恩典ニハ、法律ハアッテモ浴シナイコトニナル、ダカラ此點ハ中々難カシイ問題デアル、併ナガラ兎ニ角政府ハ、今出シテアルヤウナコトヲ其儘鵜呑ニシテ行ケバ、ドウモ此方面ノ不景氣ヲ來タスコトニ依テ、其事業ノ擴張ハ行レナイヤウニナル、隨テ鐵國策ニ一頓挫ヲ來タスモノデアル、斯ウ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ伸縮關稅ノ問題ヲ先程私ガ御尋シタノニ對シテ、其兩者ノ中ノ關聯事項ハ、政府トシテハ其兩方ヲ認メテ貫ヒタイト云ッテ居ラレルガ、ソレハ政府トシテハ兩方認メル方ガ宜イダラウト思フ、併シ其何方ガ宜イカハ、政府ニモ御考ハ著イテ居ラレルダラウト思フ、ソレデ兩方デナイ場合ハ、何方デ宜イノデスカ

會デ大藏大臣ガ屢々聲明セラレテ居ル、商工省ハ從來カラ伸縮關稅ヲ出シテ居ッテ犬養內閣ノ時ニモ主張シタノニ、大藏省ハ反對シテ居ル、ソレヲ今度鐵ノ關稅ニ限ッテ伸縮性ヲ與ヘルコトハ、危險デハナイカト云フ森田君ノ御意見デスガ、大藏省トシテ從來ト意見ガ變ッテ來タナラ來タトカ、或ハ此程度ナラバ宜イトカ、ハッキリ大藏省トシテ言ッテ置カヌト、後ニ殘リマス、ソレカラモウ一ツ、是ハ商工大臣ニ申上ゲテ置キマスガ、森田君ノ言ハレタ要點ハ、二年スラ見透シガ付カナイノニ、法律ヲ改正スルト云フコトハイカヌデハナイカ、若シ見透シガ付イテ居ルト云フナラバ、勅令デ以テ其間ニ、期間ヲ短縮スルノ必要ガナイデハナイカ、「デレンマ」ニ陷ッテ居ルノデハナイカト云フコトヲ、言ッテ居ルノデスガ御意見ガ違フナラ違フト、ハッキリ仰シヤッテ戴キタイト思ヒマス

○石渡政府委員 森田サンノ御尋ガ、伸縮關稅ト云フ問題ニ關聯致シマスノデ、一言御答シテ置キマス、伸縮關稅ヲ行フカ行ハナイカト云フコトニ付キマシテハ、是ハ多年議論ノアル點デゴザイマス、全般的ニ伸縮關稅ヲ行フヤ否ヤト云フコトニ付テハ、是ハ餘程考慮ヲ要スル問題デアルト思フノ

デゴザイマス、今此鐵ニ關スル關稅引下ノ問題ハ、大體ニ於キマシテ二箇年ト云フモノヲ見透シ付ケマシテ、關稅引下ラスル、斯ウ云フコトデ、其間ニ格別勅令ヲ以テ其二年間ニ於テ、此關稅引下ヲ停止スルト云フ必要ハナイカノ如ク思フノデゴザイマスガ、併ナガラ此鐵ニ關スルコトハ、事頗ル重大デゴザイマスルノデ、萬ガ一經濟界ノ非常ナル變化ニ遭遇致シマシタ場合ニハ、直ニ之ヲ元通りニ變更スル、斯ウ云フ意味カラシテ、勅令事項ニ致シタノデゴザイマシテ、此事ヲ以テ必ズシモ伸縮關稅ヲ認メタ認メナイト云フ、根本ノ問題ニハ觸レナイ問題ダ、斯ウ存ジテ居ル次第デゴザイマス、勿論是ハ政府一存デハ致シマセヌ、關稅調査委員會ニ付議致シマシテ、政府トシテハ其答申ニ基キマシテ、決定致ス積リデゴザイマス

○勝政府委員 商工省側ノコトヲ一應申上ゲテ置キマス、將來ノ見透シノ困難デアルト云フコトハ、是ハ森田サンモ十分御承知ノコトデゴザイマスルガ、先程來商工大臣カラ申上ゲマシタ通りニ、大體先ヅ二年ト云フ所デ宜クハナカラウカト云フノデ、二年トシタノデアリマス、然ラバ勅令ニ依ッテ此撤廢ヲヤルト云フ制度ヲ設ケナクテ

モ、宜イデハナイカト云フ御尋デアリマス
ケレドモ、先キニ主税局長カラモ申上ゲマ
シタ通りニ、財界ニ如何ナル急激ナ變動ガ
起ルカモ知レナイ、今日ノ如キ國際間ノ頗
ル不安ナ狀況ノ下ニ於キマシテハ、著シキ
例ヲ舉ゲマスレバ、金「ブロッグ」ガ壞レルト
カ、壞レナイトカ云フ問題モ起ッテ居ル位
デアリマシテ、殊ニ爲替關係ナシカハ、如何
ナ變化ガ起ラナイトモ限リマセヌカラ、萬
一急激ナ變動ガ來タ場合ニハ、直ニ之ニ應
ジヨウト云フデアリマス、尙ホ伸縮關稅
ト頻ニ言ハレマスケレドモ、是ハ所謂世間
デ言フ伸縮關稅トハ、趣ヲ異ニシテ居リマ
シテ、一應關稅ノ稅率ヲ半減シテ置キマス
ルガ、ソレデ連モヤリ切レナイト云フヤウ
ナ場合ニハ、少シ之ヲ上ゲタリ、少シ之ヲ
下ゲタリ、自由ニ出來ルト云フノデハナク
シテ、其半減ト云フモノヲ全然廢メテシマ
フカ、シマハナイカト云フコトノ、決定ヲ
スルダケデアリマシテ、自由ニ動カスト云
フヤウナ性質ノモノデハナイノデアリマ
ス、是ハ御承知ノコト、ハ思ヒマスケレド
モ、念ノ爲ニ申上ゲテ置キマス

ル、必ズシモ大藏省ノ方針ガ、ソレニ依ッテ
變ッタノデハナイ、鐵ダケ變ッタト云フ風ノ
御答デアリマシタガ、果シテサウスレバ、
鐵ダケ變ッテ、鐵以外ニサウ云フヤウニ變
ラナケレバナラヌモノガアルカドウカト云
フト、澤山アル、鐵以外ノ國策トシテ色々
ナ問題ガ澤山アルノデアアルカラ、果シテ鐵
ダケニ對シテ、其頭ガ變ッタト云フヤウナ答
辯デハ、私ハ満足出來ナイ、若シ變ルナラバ
全體ニ付テ、變ッテ行カナケレバナラヌ、ソ
レカラ商工省ノ政務次官ノ御答ハ、矢張前
ノ商工大臣ノ御答ノ範圍ノ外ヘ出テ居ラ
ヌ、矢張見透シガ著キ兼ネルカラ云々、商
工大臣モ大體斯ウデアアルケレドモ、マア萬
一ノ用意ノ爲ニ、伸縮關稅ヲ置クノデア
ル、爲替ノ關係トカ、色々ナ問題デ斯ウ云
フ風ニスルノダト仰シヤッタノデアリマス
ガ、私ハ此處デ一ツ商工大臣ガ統制々々ト
仰シヤッタ居ルコトニ付テ、御聽キシタイ
ノデス、商工大臣ハ銀行家デアッタノデア
ルカラ、是ハ私ガ教ヲ乞ヒタイと思フノデ
ス、肥料ニシテモ何デモ有ユル物ノ價格ヲ
抑ヘテ行ク、鐵ノ如キモノデモ今日建値ガ
高クナリ過ギタ、取引價格ガ高クナリ過ギ
タ、ソレデ關稅引下ヤッタ價格ヲ抑ヘテ
行カウ、斯ウ言ハレルノデス、ソレカラ今

度出シテ居ル肥料デモ其通りデアリマス、
有ユルコトニ統制經濟ヲ用ヒテ行カル、ノ
ニハ、私ハ根本ニ商工省ノ方針ヲ、一ツ決
定ヲシテ置イテ貰ヒタイコトガアルノデ
ス、今日ノ日本ノ通貨ヲ以テ値段ノ上値、下
値ヲ抑ヘテ行クコトニ無理ガアリハシナイ
カ、即チ今日ノ日本ノ通貨ノ價值ガ、安定
シテ居ルト考ヘル者ハアルマイト思フ、恐
ラク商工大臣デモ、政府委員ノ誰方デモ、
サウデアアラウト思フ、物ノ價格ヲ定メル標
本デアアル通貨ノ價值ガ、一定シテ居ナイノ
ニ、物ノ價格ダケヲ定メヨウトスレバ、其
處ニ無理ガアル、此事ニ御氣ガ付イテ居ナ
イ、假ニ鐵ノ關稅ヲ半額、五割ノ引下ヲ行ッ
タトシテモ、今言ッタヤウニ若シ獨逸ノ馬
克デアルトカ、佛蘭西ノ法デアルトカ、英國
ノ磅ト云フヤウナモノガ下ッテ、圓ノ方ガ上
テ來タ場合ニハ、二重ノ被害ヲ受ケルシ、其
反對ニ圓ガ又一層下ッタ時ニハ、五割ノ關稅
ヲ引下ゲテモ何ノ價值モナイヤウナコトガ
出來ルノデス、隨テ關稅ヲ上ゲルトカ下ゲ
ルトカ、物ノ價格ノ統制ヲ取ルトカ取ラヌ
トカ云フヤウナコトハ、今日ノ如ク混亂シ
テ居ル財界ニ於テ、サウ簡單ニ片付ケテ行
カレルモノデハナイ、又今商工政務次官ガ
言ハレタヤウニ、五割引下ゲタノデアアルカ

ラ、勅令ヲ以テヤル場合ニハ小刻ミニハヤ
ラヌ、一足飛ビニ元ノ關稅ニ引戻スノデア
ル、斯ウ云フ風ニ考ヘルナラバ、其處ニ大キ
ナ見透シヲ著ケテ置イテ、決定シテ行カナケ
レバナラヌ、爲替關係等ニ目ヲ通シ、色々ナ
方面カラ研究シテ行ッテ、供給ト需要トノ間
題モ考慮シテ行カナケレバナラヌノデア
カラ、今日物ノ價ヲ上値下値ヲ抑ヘテ行クコ
トニテシモ、ソコニ日ニノ我國ノ通貨ノ價
値ガ變ッテ來ルノデアアルカラ、考慮シテ置カ
ナケレバナラヌ、若シ強テ公平ニヤッテ行カ
トスレバ、日々改正シテ行カナケレバナラヌ
橫濱ノ正金銀行ノ爲替ノ建方見タヤウニ、シ
ナケレバナラヌコトニナッテ來ルノデア
マス、デアリマスカラ我國ノ通貨ノ安定シ
ナイノニ、物ノ價格ダケヲ、其不安極マル通貨
ニ依ッテ決メテ行カウト思フノニハ、根本ニ
於テ無理ガアル、斯ク商工省ハ統制々々ト
言ウテ、統制法ヲ振廻シテ居ルガ、他ニ仕事
ガナイカラ斯ウ云フコトニナルノカモ知レ
マセヌガ、仕事ガアレバ斯ウ云フヤウナコ
トヲヤラヌデ宜イ、ソコデ商工大臣ハ銀行
家デアラレタカラ、通貨ノ價值ガ一定セヌ
ノニ、物ノ價格ダケヲ決メテ行カウト云フ
ノハ、ソコニ無理ガアルト御氣ガ付イテ居
ルカ居ラレマセヌカ、之ヲ一ツ拜承致シタ

イノデアリマス

○町田國務大臣 理論的ニ御話下サルト、

森田君ノ仰シヤル通りデアリマシテ、ソレハ單リ日本ノミナラズ、世界各國皆同様デアリマス、併シ通貨ノ價值ノ動キツ、アルノハ、日本ノ通貨ダケデナク、各國皆同様デアリマス、是レアルノ故ヲ以テ、一切ヲ自由ニ打棄テ、置クト云フヤウナ御考ハ、如何ナモノデアラウカ、斯ウ思フダケデアリマス、勿論完全ニハ參リマセヌ、日本ノ通貨ノ價值ガ動クト云フコトハ、恐ラク世界ノ通貨ノ價值モ矢張動クト云フコト、同ジ意味ニ考ヘテ宜イガ、ソレヲ動クガ爲ニ一切手ヲ著ケズニ、自由ニ委シテ行クト云フ考方ハ、如何デアラウカ、此意味ヲ以テ或程度ノ統制ハ、已ムヲ得ヌト思ヒマス

○森田委員 或程度ノ統制ハ、私モ已ムヲ得ナイト思ヒマス、其統制ノヤリ方ガ良ケレバ……ヤリ方ガ惡ケレバ、其意味ノ統制ハイカヌト思ヒマス、鐵ノ問題ハ、私ノ質問ハ此鐵關稅ノ問題ニ付テハ、大體打切ニハ致シマセヌガ、又將來關聯シタル色々ノ問題ヲ、御尋スルコトガアラウト思ヒマシマス、唯今日鐵關稅ヲ三國ノ關稅ヲ引下ゲルノニ對シテ、鋼材ハ十二圓五十錢引下ゲルコトニハ、ドウシテモ無理ガアリハセヌカ

ト云フ感ヲ深く致シマス、ソレカラ關稅ノ伸縮權ヲ政府ニ與ヘルト云フコトハ、從來ノ大藏省ノ方針ヲ根本的ニ變革シテ行クコトニナル、鐵ダケデアルト、主稅局長ハソナコトハナイト言ハレルガ、サウナレバ此方ハ除外例、是ハ除外例デ、終ニハ除外例ノ方ガ多クナデシマウ、サウ云フヤウナヤリ方ハイカヌ、大藏省ハ是ハ從來ハサウ云フ考方ヲシテ居タガ、此問題カラ一ツ考ヲ變ヘテ、今後ハ斯ウ云フ伸縮關稅ニハ、異論ナク贊成スルノダ、鐵ガヤレバ、鐵ダケ贊成スルガ、ソレ以外ニハ贊成シナイト云フコトデナク、國策ヲ遂行サシテ行クノニハ、他ノ業者ノ扱ッテ居ルモノニ對シテモ、ソレハイカヌト云フコトハイケマセヌ、政府ハ矢張從來ノ方針ヲ採ッテ行クカ、此處デ全然從來ノ方針ト云フモノヲ棄テ、シマッテ行クカト云フコトヲ、ヤラナケレバナラヌノデアリマスカラ、此委員會中ニ何トカ、此問題ニ付テハ、マダ〳〵他ノ同僚カラ色色御話ガアラウト思ヒマスカラ、其點ハ十分御協議置ナサルガ宜シト云フコトヲ、此點デ申上ゲテ置キマス、又鐵ノ一貫作業ニ付テハ、ドウカ熔鑪ヲ、日鐵ト言ハズ「アウトサイド」ト言ハズ、將來日本ノ需要ヲ満足セシムルニ足ルダケノ供給ガ出來

ルダケノ道具ヲ與ヘル、其コトヲスルノニハ、矢張業界ヲ不景氣ニ陥ラシメヌ方ガ、擴張ヲヤッテ行ク上ニ於テ便宜デアアル、目前ノ小サナ問題ヲ考ヘズニ、將來ノ大キナ國策ニ過チヲ來サヌヤウニスルコトガ宜イ、斯ウ考ヘテ居ルト云フコトヲ、此鐵關稅ノ質問ノ終リニ臨ンデ申上ゲテ置キマス、其次ニ歲入ニ關スル問題デアリマスガ、此問題モ大體大藏大臣ガ、是レ以上ハ尋ネテ呉レテモ答辯ガ出來ナイト云フコトヲ、御話ニナッテ居リマス、然ルニ一昨日ハ石渡主稅局長ハ、恰モサウデナイヤウニ言ッテ、此處デ御話ニナッタノデアリマスガ、私ハ此點ハドウモ一ツ御役人諸君モ、頭ヲ一ツ變ヘテ貰ヒタイ、考方ヲ變ヘテ貰ヒタイト考ヘテ居ル、豫算ヲ編成スル當時ニ於テハ、鐵ノ關稅ノ引下ノ問題ヲ考慮ニ入レズニ、現行率ニ依ッテ豫算ヲ編成サレタ、其モノガ今度突如トシテ關稅ノ引下ヲ遂行スルニ當ッテ、五割ノ引下ヲシテ行クナラバ、ドウシテモ當初ニ計畫シテ居ッタコトヨリモ、相當ニ減收ヲ來スコトモ明カデアリマス、若シ夫レ自然増收ニ俟ツノデアアル、自然増收ガソレダケアルト仰シヤルナラバ、獨リ鐵關稅收入ノミニ於テ、自然増收ガアルモノデハナイ、國稅ニ於テモ亦自然増收ガアル

モノト考ヘナケレバナラヌノデアリマス、國稅ニハ自然増收ハ一ツモナイ、併ナガラ關稅ニ於テ自然増收ガアルト云フヤウナ、跛コナコトガ經濟界ニ生ジテ來ル筈ハ、決シテゴザイマセヌ、其點ハ私ハ率直ニ一ツ大藏大臣ハ言ハレタラ宜イト云フコトヲ、先般モ申上ゲタノデアリマス、隨テ大藏省ハ大體ソレニハ——大藏省デヤナイ、役人デアラウガ民間デアラウガ、誰デモ經濟ノコトヲ生嚙リシテ居ル人ガ考ヘタラ、直グ分ル問題デアアル、斯ウ云フコトヲ私ガ申上ゲタノデアリマスガ、大藏省ガ強辯シテ時間ヲ費スコトハ、ドウカト考ヘルノデアアルカラ、速ニ私ハ大藏省ハ其點ハ肯定セラレルコトヲ希望スル、ソレカラモウ一ツ商工大臣ニ伺ッテ置キタイノハ、最後ニ、今マデハ私ノ希望ヲ申上ゲタノデアリマスガ、此重要産業統制法ノ問題ニ付テ、一昨日相當ニ私ハ申上ゲタノデアリマスガ、ソレニ對スル明答ガナイ、今日簡單ニ明答ヲ得テ置キタイ、今ノ重要産業統制法ノ取締ヲ「セメント」ニ適用シタ爲ニ、小サイモノハ本當ニ困ッテ居ル、然ルニ大キナモノハ「アウトサイド」トシテ、ソレガ朝鮮ナリ、大連ノモノハ、生産能力一杯ニヤッテ、日本ニドシ〳〵持ッテ來テ、競争ヲシテ居

ル、日本ノモノハ生産原價ヲ高クサセテ、政府ガ生産制限ヲ加ヘテ、一方ニハ其法律ノ及バナイ所ノモノハ、全能力ニ於テ生産シテ、安ク製造ヲサシテ、之ヲ内地ニ持ッテ來サシテ賣ラスト云フコトニ、矛盾ガ來テ居ルコトハ、誰ガ考ヘテモ、議論セヌデモ明ナ問題デアリマス、サウスレバ現在困ラシテ居ル日本ノ此法律ヲ適用シテ、困ラシテ居ルモノヲ解イテ、解放シテ、自由ノ生産ヲ認メサシテ、生産原價ヲ安クサシテ、アチラカラ來ルモノト競争サスヤウニスルコトガ出來スト云フナラバ、緊急勅令ナリ其他ノ方法ニ依ッテ、アチラカラ内地ヘ入ッテ來ナイヤウナ方法ヲヤッテ貰ヒタイ、然ルニ政府ガ大資本家ニ頭ヲ下ゲテ、アチラノ全能力ヲ日本ニ持ッテ來テ、サウデナクテモ、原價ヲ高クサシテ、商工業ヲ壓迫サスヤウナコトニナルガ、私ハ此點ガ——官民合同ノ委員會ヲ作ッテ云々、官民合同ノ委員會ヲ作ラズモ、役人ノ方ガ此位ノコトガ分ラヌデドウシマスカ、官民合同ノ委員會ハ、今日デハ合理ダトカ、不合理ダトカ諮ウテ居ルガ、サウ云フ頭ノ惡イ者ヲ使ッテ居ルカラ、斯ウ云フコトガ出來タノダ、商工大臣ハドウ其點ハ御考ニナルカ、此點ダケヲ明ニ解決シテ置キタイ

○町田國務大臣 鐵ノ問題ニ對シテ「セメント」ノ御答スルノモ、少シ異ナヤウニモ

考ヘマスガ、統制ノ點カラ申シマス、私ハ統制法ニ對シハ、明ニ一二ノ、機會アル毎ニ申シテ居リマスガ、今ノ統制法モ來年夏デアリマスネ、效力ガ無クナル、之ヲ臨時産業統制法トシテ出來マシタ五箇年ノ、是ガ終リマシタ後ニ、之ヲ全廢シテシマウカ、或ハ其儘之ヲ繼續スルカ、或ハ之ヲ再檢討シテ、相當ナ大キナ修正ヲ加ヘルカ、此三ツニ付テ目下調査中デアルガ、私ノ考トシテハ、今ノ統制法ヲアノ儘ニ、將來ニ效力ダケヲ伸バシテ行クト云フ考方ハ有ッテ居ラスト、斯ウ云フ御答ヲシテ居タ以上ニ、只今申上ゲル時期ニ達シテ居ラヌヤウニ思ヒマス

○森田委員 鐵ノ關稅ノ時ニ「セメント」

ノ問題ヲ云々ト仰シヤルガ、是ハ統制問題デ一向差支ハアリマセヌ、統制關係、統制ニ關係シテ居レバコソ、私ハ御尋申上ゲタ、ソレカラ今ノ御話ハ屢、拜承致シマシタ、其答辯ヲ得ヨウト云フノデハナイ、來年八月デアツカ、來年ノ夏デアツカト思ヒマスガ、其頃ニ廢止ニナルカ、改正ニナルカシマセウケレドモ、ソレマデニハマダ一箇年半カラアルデアリマス、其間一箇年半

モ内地ノ業者ノ大キイ方ハ宜イガ、内地ノ方ハ大キイ所ハ差支ナイガ、小サイモノハ

ソレマデニ食ヒ繋ギガ出來ルカドウカト云フ問題ガアルノデアルカラ、私ガ言ウテ居ルノハ、内地ノモノニ對シテノ統制法ノ適用ダケハ、撤回シテシマハレルカ、サウデナケレバ朝鮮ナリ大連ガ全能力ヲ擧ゲテ生産シテ居ルモノニ、矢張内地ト同様ノ生産制限ヲ加ヘルヤウナ、手段方法ヲ執ラル、カ、其何方モ來年ノ八月ナラ八月迄放任シテ置クト仰シヤルナラバ、内地ノ小サナモノハ本當ニ育ッテ行カナイ、其點ヲ何トカ善後處置ヲ講ゼラレル考ハナイカ、來年ノ期限ガ到來スル時ニ云々ト云フ今ノア

ナタノ仰シヤルコトハ、能ク承知シテ居リ

マス、ソレマデニ向フ一ケ年半ノ間、此儘ニシテ置カレタノデハ、此方面ノ業界ガ本當ニ困ルカラ、ソレ迄ノ間ヲドウ云フコトト云フノデ、今度御出シニナツタ、アノ重要産業統制法ノ中ニハ肥料ガ含マレテ居ル、ソレヲ法律ガ完全デナイカラト云フノデ、

今度別途ニ法律ヲ御出シニナツタ、ソレハ私ハ宜イト思フ、一ツノ産業ニ適當スルヤウナ法律ヲ作ッテヤレバ宜イガ、兎ニ角一ツノ法律ノ中ニ二十種類モ作ッテ、其中ニ抱込

マウトスルカラ無理ガ行ク、デアルカラ今

ノ重要産業統制法ノ中ニアルモノヲ「セメント」ダケハ解除シテシマッテ、朝鮮ヤ大連ヤ關東州ト同ジヤウニヤラスカ、サウデナイナラバ彼方ノ方ニ其取締ヲヤラシテ行クカ、其何方モセヌト云フノハ、小サナ今カラ育ッテ行カウト云フモノヲ、抑ヘルダケノ價值シカナイ、大財閥家ニ頼マレテ、商工省ガソレヲ押ヘル爲ニ、法律ヲ具ニ使フトシカ、私共ニハ思ヘヌ、ソレハ宜クナイ、サウ云フコトハヤルベキモノデハナイト考ヘル、來年ノ八月マデニハ何トカオヤリニナッテハドウカ、斯ウ云フコトデス

○町田國務大臣 森田君ガ御承知ノ通り、

今ノ臨時産業統制法ニ依リマシテモ、相當ナ統制ガ出來マス、若シ朝鮮ト内地ノ間ノ利害ガ衝突スルヤウナ場合ガアルナラバ、是ハ今ノ統制法ニ依ッテモ、相當ノ統制ガ出來マスカラ、能ク考ヘテ見マセウ

○松村委員 森田君ノ關聯事項ニ付テ一寸

伺ヒタイ、森田君ト政府委員ノ質疑應答ニ關聯シマシテ、色々疑問ガアリマスガ、唯一ツ伺ッテ置キタイノハ、鐵ノ關稅ヲ二箇年ト限ル、之ヲ政府ガ任意ニ短縮スル規定ヲ設ケタト云フコトハ、伸縮關稅ナリヤ否ヤト云フコトハ、政府委員ハ簡單ニ考ヘラレ

テ居ルガ、是ハドウモ學問上實際上、一ツノ研究事項ト思フ、伸縮關稅トハ必シモ稅率ノ伸縮ノミヲ指スヤ、或ハ期間ノ伸縮ヲモ含ムヤト云フコトハ、學問上一ツノ研究問題デアリマスガ故ニ、政府ガ簡單ニ片付ケテ居ルヤウニ、伸縮關稅ナラズト斷定モ出來ナイシ、伸縮關稅ナリト斷定スルコトモマダ早イト思フカラ、是ハ研究事項トシテ置キマスガ、政府モ之ヲ研究ナサラナケレバナラヌ、是ハ簡單ニ片付ケル譯ニ行キマセヌ、唯二箇年ヲ限ルト云フ此問題ニ付キマシテ、是ハ關稅委員會ニ付議シタ場合ニハ、二箇年ヲ限ルトハッキリ言ウテ、其外ノコトハ出テ居ラナイ、後カラ政府ガ必要ニ依ッテ二箇年以内ニ短縮スルコトヲ得ルト云フ所ノ、附則ヲ付ケタト云フコトハ、政府自ラ單獨ニ付ケタノデアッテ、此關稅委員會ニ諮ラテ居ラナイ、是ハ如何ナル考デ、關稅委員會ニ諮ラナカッタノデアルカ、又今後此二箇年ノ期限ヲ短縮スル場合ニ於テハ、關稅委員會ニ諮ルヤ否ヤ、此二ツノ點ヲ伺ヒマス

云フ期限ヲ以チマシテ、關稅委員會デ相談致シマシタガ、其關稅委員會ノ原案通りヲ、主管大臣ガ法律ニ出スト云フ譯ノモノデハゴザイマセヌ、之ニ諮問致シマシテ、サウシテ意見ヲ得マシテ、議會ニ提案スルノデアリマス、此關稅委員會ニ於キマシテ、委員ノ方々ノ御意見ガ、二ヶ年デ打切ルト、斯ウ云フコトガ果シテ當ヲ得テ居ルカドウカ、是ハ色々ナ問題ガアルト思フノデアリマス、只今ノ爲替低落ノ關係ノ問題モアリマセウ、又見越輸入等ノ問題モアリマセウ、是等ノ問題カラ致シマシテ、二ヶ年ト法律デ明定スルコトガ、果シテ當ヲ得テ居ルカドウカ、色々其點ニ對スル御質問モアリマシタシ、政府ニ考慮ヲ求メラレル點モアッタノデゴザイマス、隨ヒマシテ其關稅調查委員會ノ御意見ノ出テ居ル所ヲ察知致シマシテ、更ニ大藏省ト商工省ト相談ヲ致シマシテ、此條項ヲ挿入スルコトガ適當デアラウト認メマシテ、挿入致シマシテ、提案致シタ次第デゴザイマス、更ニモウ一項御尋ノ、將來關稅ノ率ヲ元通りニ復歸スル場合ニ、關稅調查委員會ニ付議スルカドウカト云フ御尋デゴザイマスガ、勿論付議スル積リデ居リマス

ル譯デハナイガ、速記録ヲ讀ンデ御覽ニナレバ、關稅委員會ニ懸ケタト云フ先刻ノ御答デアッタ、併シ後ノ懸ケテ居ラヌト云フ答ノ方ガ、正シイト思フ、是ハ先刻ハ誤ッタ御答デアルト思フガ故ニ、強イデハ答メマセヌガ、併シ關稅委員會ノ議ニ懸ケテ居ラナイト云フコトハ、私ハ政府ノ一ツノ失態デアラウト思フ、茲ニ二ヶ年ヲ限ルト書イテ、關稅委員會ニ懸ケタトキニハ、是ダケシカ言ウテ居ラヌ、短縮ト云フコトハ毫モ考ヘテ居ラナイ、然ルニ後カラ色々考ヘ付イテ、民間其他ノ運動ノ結果、短縮ト云フ規定ヲ入レタ、如何ナル理由ガアッテモ左様な重要事項ヲ、政府單獨ノ意嚮ヲ以テ、關稅委員會ニ諮ラズニ決メタト云フコトハ、政府ノ失態デアルト言ハナケレバナラヌ、關稅委員會ト云フモノハ、稅ノ根幹運用ニ關シテ議スル機關デアルガ故ニ、二箇年ト云フ期間ヲ、而モソレガ學問上伸縮關稅ニナルカ、ナラヌカト云フ疑問ノアルヤウナ、大キナ國家ノ新シキ一ツノ立法例ヲ議スルニ當ッテ、短縮ノ事項ヲ關稅委員會ニ諮ラザルハ、政府ノ失態デアル、故ニ此次ニ之ヲ短縮スル時ニハ、必ズ關稅委員會ノ議ニ懸ケルト云フ言明ハ、過般政府ガ其手續ヲ誤ッタコトヲ證明スルモノデアル、過ヲ改ムル

ニ憚ル勿レデアルガ、過般關稅委員會ニ懸ケナカッタト云フコトハ、政府ノ一大失態デアッテ、斯ノ如キ新シキ立法例ヲ議スルニ當ッテ、政府ガ其手續ヲ缺イタト斷定スルヨリ外ナイト思ヒマス

○石渡政府委員 私ガ先程森田サンニ御答致シマシタノハ、將來此關稅率ヲ引上ゲル場合ニハ、關稅調查委員會ニ付議スルト申シタト思フノデアリマス、併ナガラ私が申シタコトガ誤リデアリマシタナラバ訂正致シマス、只今松村サンニ御答致シマシタ通り、先般ノ關稅調查委員會ニ於キマシテハ、其點ニ付キマシテ短縮スルコトヲ得ルト云フコトニ付キマシテハ、付議致シテ居リマセヌガ、此問題ニ付キマシテハ、各委員ノ色々御意見ヲ承リマシテ、政府ニ於キマシテ左様決議スルニ至ッタノデゴザイマス、其點ハ左様御承知ヲ願ヒマス、將來ニ於キマシテハ、之ヲ引上ゲル場合ニ於キマシテハ、關稅調查委員會ニ付議致シマス

○木暮委員長 一寸今ノ問題ニ付テ、私カラ伺ヒマスガ、先刻ノ石渡君ノ御説明ダト關稅調查委員會ト云フモノハ諮問機關ダカラ、之ニ付議シテ、其時現ハレタ意見ニ依ッテ後デ政府デ改メタモノヲ作ッテ差支ナイノダ、斯ウ云フ御意見デアルケレドモ、サ

ウスルト例へバ一例ヲ舉ゲテ言ヘバ、此期
間ノ問題バカリデナク、鐵ノ五割ノ關稅引
下ト云フコトニ付テ、二三ノ者ガソコデ議
論ヲシタ、併シ實際ハ原案ハ可決シタガ、
議論ガアッタト云フコトデ、後デ今度ハソレ
ヲ三割五分トカニ割五分トカ云フモノニシ
テ、議會ニ出スト云フコトニナレバ、關稅
調査委員會ト云フモノ、必要ト存在ガ、何
處ニ在ルカト云フコトハ疑問ニナル、是ハ
極メテ重要ナコトデスカラ、其場限リデナ
ク、ハッキリ關稅調査委員會ト云フモノニ付
議スルト云フコトガ、ドウ云フ關稅改正法
律案ニ對シテ權威ヲ有ツモノデアルカト云
フコトヲ、御辯明願ヒタイト思ヒマス

○石渡政府委員 仰シヤルコトハ洵ニ御

尤ナコトデアリマシテ、關稅調査委員會ニ
付議致シマシタモノニ付キマシテハ、ソレ
ヲ其儘政府ト致シマシテ採リマスコトハ、
是ハ尤ダト思フノデアリマス、普通ノ場合
ニ於キマシテ、又從來ニ於テモ、サウ云フ
例ニナッテ居ルト思フノデアリマス、又必シ
モ關稅調査委員會ノ決議事項其儘ヲ取入レ
ルト云フ場合バカリデナク、多少其間ニ變
更ヲ加ヘルコトハ差支ヘナイ、法律上ハ
差支ヘナイコトダト思フノデゴザイマス、
是ハ其事項ニ依リマシテ、必シモ斯ウ云フ

コトヲ致スコトガ、適當デナイトモ言ヘナ
イ場合ガアルト思フノデアリマス、大體ニ
於キマシテハ、關稅調査委員會ノ決議通り
デゴザイマスガ、其時現ハレマシタ各委員
ノ御言葉ニ依リマシテ、多少實行上ノ問題
ヲ考慮スルコト位ハ、許サレテアル問題デ
アラウ、斯ウ考ヘテ居リマス

○木暮委員長 一寸御伺致シマスガ、字句

ノ末節ヲ直ストカ、何トカ云フコトハ何デ
スガ、今松村君ガ言ハレタ通りニ、關稅調
査委員會デハ二年ト云フ年限ヲ限ッテ、此鐵
ノ關稅ノ引下ヲスルト云フコトヲ可決シ
タ、其二年ト云フコトヲ限ッテ鐵ノ關稅ヲ
引下ヲスルコトヲ可決シタノヲ、二年以
内ニ短縮スルコトガ出來ルト云フコトハ、

是ハ重大ナル變更デハナイデスカ、是ハ改
メテ關稅調査委員會ニ御掛ケニナルカドウ
カハ別トシテ、是ハ大體關稅調査委員會ノ
決定ヲヤルノハ當リ前デ、少シ位ノコトハ
變ヘテモ宜イデヤナイカト云フ、變ヘテ宜
イ部分ノ方デモ、虚心坦懷ニ公平ナ立場カ
ヲ見ルト、今ノ二年以内ニ勅令デ以テ短縮
スルコトガ出來ルト云フコトハ、少シ問題
ガ大キ過ぎヤシナイカト考ヘラレマスガ、
ドノ位マデハ變ヘラレルカ、五割ト云フ引
下ヲ可決シタガ、都合ニ依ッテ三割五分ニ

シテ法律ヲ出シテモ宜イト云フコトモ、色
色出來ルダラウシ、是ハ五十歩百歩ト云フ御
議論ニモナリマセウケレドモ、是ハ重大ナ
問題ノヤウニ——私ハ關稅調査委員會ノ委
員トシテノ立場カラ見テモ、今後會議ニ臨
ム場合ニ、會ノ權威ノ爲メカラ極メテ重大
ナ問題ノヤウニ考ヘルノデアリマスカラ、
一言申上ゲテ置クノデス

○松村委員 今ノ問題ハドウカ此場デ簡單

ニ問答ヲヤッテ、濟マナイヤウナ大キナ結論
ヲ持來スト御互ニ困ルカラ、政府モモウ一
遍考慮サレテ此間付議セラレルコトハ、ソ
レハ非常ニ時ガナカッタ、色々ナ理由ニ依
テ、ソレハ洵ニ申譯ナイト云フヤウナコト
デアルノカ、今ノヤウナ石渡君ノ御答辯ノ
ヤウデアアルノカ、改メテ御答ヲ願ヒタイ、

ソレハ關稅問題ノ將來ノ問題トシテ、非常
ナ大キナ事デアアル、少シ位ナコトハ政府ガ
自由ニ改メテモ宜イト云フコトニナリマス
ト、關稅調査委員會ノ職責上、又政府ノソ
レニ對スル對策上、大キナ波紋ヲ畫クト思
ヒマスルガ故ニ、モウ一遍考慮シテ、御答
ヲ願ヒタイ

○大山委員 關聯シテ——松村君カラ今御

註文ニナッテ居リマスカラ、政府ハ篤ト御
考慮願ヒタイノデアリマス、サウシテ明確

ナル御答辯ヲ願ヒタイ、私ハ此前ノ通商擁
護ノ法案ノ出來ル時ニ、關稅調査委員會ト
云フモノヲ、モットノ權威アラシムルコ
トニ、私バカリデヤナイ、其委員會全部ノ
空氣ガ、サウ云フコトニナッテ、アノ時ニ
「關稅調査委員會ニ諮問シ」云々トアッタノ
ヲ、特ニ「關稅調査委員會ノ議ヲ經テ」ト斯
ウ直シタ、其意味ハ通商擁護ノ方カラ參リ
マス、非常ナ強大ナル伸縮權ヲ、政府ニ
認メルコトニナルノデアアルカラ、此場合將
來ノ一般ノ關稅改正ニ關シマシテモ、矢張
關稅調査委員會ナルモノ、權限、及其權威
ト云フモノヲ、モット強メテ置ク必要ガア
ル、斯ウ云フコトデ「關稅調査委員會ノ議
ヲ經テ」ト、アレハ決議機關ニ直シタノデ
アリマス、デアリマスカラ今回ノ此關稅改
正ニ當リマシテモ、關稅調査委員會ニ御付
議ニナッテ其精神、其精神ト今ノ取扱方ト
ハ、餘程ソコニ差ガアルヤウニ思ハレルノ
デアリマス、是ハ重大ナ事デアリマスカラ
ラ、尙ホ一應念ヲ抑シテ置キマス、ドウゾ
字句ノ修正トカ何トカ云フ意味トハ、全ク
松村君ノ言ハレタヤウニ相反スル矛盾ナ觀
念ヲ以テ、場合ニ依レバ折角政府ガ關稅改
正ヲシテ、二年間ト云フ期間ヲ限ッテ其精
神ヲ、全然没却スルヤウナ趣旨ニモ取レ

ル、相反シタ期間伸縮ノ規定アリマスガ故ニ、特ニ慎重ナル御考慮ノ上デ御答辯アランコトヲ、附帶シテ御願シテ置キマス

○石渡政府委員 只今ノ御話ノアリマシタ

點ニ付キマシテハ、斯ウ考ヘタノデゴザイマス、大體ノ見透シトシテ二箇年、併シ萬ガ一ノ場合ヲ考慮致シマシテ、各委員ノ御意見ヲ伺ヒマシテ、萬ガ一ノ場合、斯ウ云フ事ハ或ハ必要ガ起ルカモ知レヌガト云フコトヲ以テ、實ハ商工御當局ト御相談致シマシテ、其條項ヲ挿入致シマシタ、併ナガラ此條項ヲ挿入致シマシタコトニ付キマシテ、關稅調查委員會ニ何故討議致サナカッタカト云フコトニ付キマシテ、甚ダ輕率デアルト云フ御叱リガゴザイマスレバ、其點ニ付キマシテハ謹ンデ御詫ヲ致シテ置キマス

○倉元委員 一寸關聯事項ト思ヒマスカラ、此機會ニ伺ッテ置キタイ

○本暮委員長 宜シウゴザイマス、許シマス——倉元君

○倉元委員 昭和三年十二月召集ノ、昭和四年ノ春ニ掛ケテノ議會ノ時ニ、其當時關稅調查委員會ノ組織ノコトニ付テ、委員會デ希望條件ヲ申上ガテ、政府ハソレヲ篤ト承知シタト云フ御答ガアルヤウニ、私ハ記憶

致シテ居リマス、ソレハ斯ウ云フ譯デス、ドウモ關稅委員會ノ組織ト云フモノガ、多クハ官吏ガ中心ニナッテ、民間ノ專門知識ヲ有セラレル者、其他ノ學識經驗アル者カラ委員ヲ採ルト云フコトニ重キヲ置クト云フ其精神ノ下ニ、組織ノ上ニ付テ考ヘルト云フコトヲ政府ハ御答辯ニナッテ居ル、所ガ今日ノ委員會ノ現狀ハドウデアアルカト云フト、官吏ガ三分ノ二、三分ノ一ガ民間カラ學識經驗アル者ト云フヤウナガ出テ居ル、此點ハ政府ニ於テモ、前ノ昭和三年召集ノ議會ニ於テ御言明ノ如ク、組織ヲ御改メニナル御考ハゴザイマセヌカ、承テ置キマス

○石渡政府委員 關稅調查委員會ノ組織ニ

付キマシテハ、昨年通商擁護法ノ委員會ニ於キマシテ、色々問題ガゴザイマシテ、通商擁護ノ關係ニ於キマシテ、相當委員ヲ増加致シテ居リマス、此通商擁護法關係ノ委員ノ方々ノ御意見トシテハ、獨リ通商擁護法ノ關係バカリデナク、普通ノ關稅調查ノ方ニモ、矢張參加スルコトガ當然デハアルマイカト云フ御意見モゴザイマス、其點モ今後ノ問題ト致シマシテ、是ハ相當政究致スベキ必要ガアル問題ト存ジマス、只今倉元サンカラ御尋モゴザイマシタ此昭和三

年當時ノ、色々御意見ト云フコトヲ、實ハ甚ダ失禮デゴザイマスガ、私詳シク存ジテ居リマセヌ、併ナガラ此關稅調查委員會ノ組織ニ付キマシテハ、一ツ更ニ十分政究ヲ致スコトニ致シマス

○倉元委員 今政府委員ノ御答ニ依リマシ

テ、諒承致シマシタガ、國務大臣トシテ一ツ御答ヲ願ッテ置キタイ

○町田國務大臣 私モ關稅委員ノ三分ノ二

ハ、官吏ガ出テ居ルト云フコトハ、實ハ今御話ニ依ッテ、斯クマデ官吏ノ方ガ多カッタカト云フヤウナ、感じヲ致シマシタ、其御趣意ノ程ハ、大體御尤ト思ヒマスカラシテ、大藏大臣ニモ御意見ノ程ヲ傳ヘ、且ツ私モ稍、御意見ト似タヤウナ意味ヲ以テ、大藏大臣ニ御話ヲシテ見タイト思ヒマス

○森田委員 關聯ガ大分長カッタノデ……、

私ハ今ノ關稅ノ伸縮權ヲ持タスコト、關稅委員會ニ諮ラレナカッタコト、其他ニ付テハ同僚ノ諸君カラ御尋ニナリマシタカラ繰返シマセヌ、關稅ノ伸縮權ヲ政府ニ持タシテ置クト、斯ウ云フ弊害ガ起キハセヌカト思フ、假ニ政府ガ關稅ヲ引上ゲヨウト考ヘタ場合ニ、ソレガ内々ニ或ル人々ニ洩レルコトガナキニシモアラズデアアル、サウ云フ場合ニハ見越輸入ガ行ハレテ、矢張大キナ弊

害ガ伴フト思フ、ソレハ勿論才役人ハ洩ラサレヌヤウニヤルト思ヒマスガ、極ク秘密

ダト云フ關議デ爲サレルコトサヘ、新聞ニ出ルノデアリマスカラ、本當ノ秘密ハ保デマセヌ、隨テ關稅ノ伸縮權ヲ政府ニ持タシ

テ置クトハ、非常ニ將來危イト思フ、關稅ヲ引上ゲヨウトスルト、一時ニ見越輸入

ト云フモノガ、其方面ノ人々ニ依ッテ行ハレテ、其人々ガ巨利ヲ得ルコトニナルガ、我

國ノ國策ノ遂行ニハ、非常ニ邪魔ニナルト云フ風ニ考ヘラレルカラ、此伸縮關稅ノ取

捨權ヲ、政府ニ委シテシマフト云フコトハ、餘程私ハ考ヘナケレバナラヌ問題デアルト

思ヒマス、ソレカラ先程、商工大臣カラ御答ニナッタ「セメント」ノ問題ハ、ドウカ一

ツ議會デモ濟ンダラ、早急ニ内地ノ分ヲ撤廢スルカ、アッチノ方ヲ束縛スルカ、下チラ

デモ宜イ、私ハ下チラニセヨトハ申シマセヌガ、公平ニナルヤウニ考慮シテ、議會デ

モ明ケテ暇ニナッタラ、緩ル／＼デナシニ、早急ニ對策ヲ決定セラレンコトヲ、私ハ切

望致シマス、私ハ他ニ段々質問ヲ爲サル、方ガアリマスカラ、此程度デ質問ヲ打切ラ

ズニ、今日ノ午前デ措イテ置クトニ致シマス

○本暮委員長 此際小池君カラ資料ノ要求

ガゴザイマスカラ、便宜委員長カラ之ヲ申
上ゲマス、小池君カラ資料ノ要求ハ、昭和
八年度竝九年度ニ付キ鐵道省、滿鐵ノ購入
シタル「レール」ノ購入數量、及其價格、竝
ニソレ等購入契約ヲ爲シタル年月、是デア
リマス、是デ委員會ハ休憩致シマシテ、午
後ハ一時半カラ再開致シマス

午後零時二十分休憩

午後一時五十五分開議

○小笠原委員長代理 休憩前ニ引續キ會議
ヲ開キマス

○石渡政府委員 午前中御質問ノゴザイマ
シタ、鐵關稅引下ノ期間ヲ二箇年トシ、其
期間中ト雖モ引上ゲルコトガ出來ル、短縮
スルコトヲ得ト云フ規定ニ付テ、關稅調查
委員會ノ議ニ付スベキモノデハナイカ、斯
ウ云フ御意見デアリマス、政府トシテ、ソ
レハ付スベキモノト思ヒマスガ、本案ノ提
出ヲ急ギマシタ關係上、改メテ關稅調查會
ヲ開カズ、之ニ付議致サナカッタコトハ不
適當デアッタト思ヒマス、此點ニ付キマシ
テハ、將來十分注意致シマス

○田島委員 鐵ニ對スル根本問題ニ付キマ
シテハ、田尻君、森田君、松村君アタリヨリ
屢々質問ヲ重ネラレマシタカラ、私ハ根本問

題ニ付テハ、伺フコトヲ省略致シマス、ソ
レデ私ノ今茲ニ御尋シタイト思ッテ居リマ
スコトハ、主トシテ細カナ技術上ノ問題、
事務上ノ問題デアリマシテ、事務當局カラ
御答ヲ願ヘレバ、ソレデ結構ダト思フ、取
敢ズサウ云フ性質ノコトヲ、二三伺ッテ置
キタイト思ッテ居リマス、先刻來森田君カ
ラ、此法律ヲ改正スルノニ付テ、鐵及鋼ノ
需給ノ見透シガ著イテ居ナイデヤナイカト
云フヤウナコトニ付テ、縷々御質問ガアッ
タデアリマスガ、私ハソレヲ事務的ニ伺ッ
テ見タイト思フデアリマス、大體鐵キマ
シタ資料ノ中ニアルカト思ヒマスケレド
モ、非常ニ澤山ナ書類デアリマシテ、十分
目ヲ通ス暇ガアリマセヌカラ、簡單ニ事務
當局カラ、御答ヲ願ッテ置キタイト思ヒマ
ス、一體日本製鐵株式會社ノ、現在持ッテ居
リマス所ノ擴張計畫ト云フモノハ、簡單ニ
申セバドレ程ノ程度ノモノデアルカ、ソレ
ヲドウ云フ期間内ニ實現セント欲スルノデ
アルカ、ソレヲ伺ヒタイト思フデアリマ
ス、ソレカラ日本製鐵株式會社以外ノ民間
會社ニ於キマシテ、同ジクドウ云フ計畫ヲ
有ッテ居ルカ、是ハ民間會社デアリマスカ
ラ、詳シク政府ノ方デ御存ジナイノカ知レ
マセヌカラ、御存ジニナッテ居ラレル程度

デ宜シウゴザイマス、他ニ政府ヘノ手續ヲ
要サナイ範圍ノ、擴張計畫モアルノデアリ
マスカラ、御存ジニナッテ居ラレル程度デ
宜シウゴザイマス、其計畫ノ要領ヲ伺ヒタ
イト思フデアリマス、大體日本製鐵株式
會社ヲ創立スル——日本製鐵株式會社
法案ナルモノヲ、吾々ガ六十四議會デス
カ、審議致シマシタ時分ノ趣旨ト致シ
マシテハ、申スマデモナク出來ルダケ
速ニ、日鐵會社ヲ根幹トシテ日本ノ
製鐵獨立ヲ圖リ、需給關係ヲ自ラ調
節スルコトノ出來ルヤウニスルト云フノ
ガ、主眼デアッタノデアリマス、所ガ會社創
立以來殆ド、一年ニハナリマセヌケレドモ、
將ニ一年ニナラントシテ居ル今日、漸ク熔
鑪爐ガ一ツ計畫ニ著手サレタヤウナコト
ヲ、新聞デ伺フ位デアリマシテ、其擴張計
畫ノ實行ト云フコトガ、極メテ遅々トシテ
進マナイ、一體何ヲシテ居ラレルノカ分ラ
ナイ位ニ、局外デハ思フデアリマス、局
ニ當ッテ居ル日鐵會社ノ人々、及監督ニ當
テ居ル商工大藏兩當局ニ於テハ、無論拔カ
リハナイノデアアラウト思ヒマスケレドモ、
一向總テノ計畫ガ、遅々トシテ進マナイ、
殊ニ此計畫ノ認可ト云フコトニ關シテ、新
聞ノ報ズル所ハ、勿論一々當テニハナラヌ

ト思ヒマスケレドモ、商工當局及大藏當局
ガ、故意ニ計畫ノ實行ニ入ルコトヲ遷延セ
シメタカノ如キ、新聞紙上ノ記事ヲ見ルノ
デアリマス、是ハ新聞ノ記事デアリマシテ、
無論總テ事實ナリト斷定スル譯ニハ參ラ
ナイノデアリマスガ、サウ云フ火ノナイ所
ニハ煙ガ立タヌト申シマシテ、ソナハ風説
ノ起ルト云フコトハ、製鐵擴張計畫ト云フ
モノガドウモ圓滑ニ運バナイト云フコト
ヲ、裏書シテ居ルコトニ於テハ疑ナイノデ
アリマス、ソレデサウ云フ點ニ付テ、新聞
所報ノ誤リナルコトヲ明確ニスルヤウナ、
御辯明ヲ伺フコトガ出來レバ、非常ニ仕合
セト思フデアリマスガ、其三點ヲ一番最
初ニ伺ッテ置キマス

○小島政府委員 御答致シマス、最初御尋
ノ、現在ノ鐵鋼ノ増產計畫ノ内容、竝ニ此
完成ノ見込期日ト云フヤウナコトニ付テ
ハ、御尋デゴザイマシタガ、日本製鐵會社
ノ計畫ハ、先日モ申上ゲマシタヤウニ、大
體千趣熔鑪竝ニ之ニ關聯シマシタ製鋼諸
設備デゴザイマシテ、是ハ昭和十二年上期
ニ、大體完成致ス豫定デゴザイマス、ソレ
カラ日本鋼管會社ニ於キマシテハ、大體三
百五十趣熔鑪、竝ニ之ニ關聯シマシタ製鋼爐
デゴザイマシテ、是ハ昭和十一年一杯ニ完

成致ス譯デゴザイマス、尙ホ其外ニ一ニ計畫ヲ以テ申請ガ出テ居リマスコトハ、先般來商工大臣カラモ御答辯申上ゲタヤウナ次第デゴザイマス、ソレカラ此會社ノ増產計畫ノ認可ガ、延引致シマシタ事情ニ付キマシテ、新聞紙上ニ於テ種々ノ記事ガ出テ居リマスケレドモ、商工當局トシマシテハ、出來ルダケ調査ヲ進メマシテ、是ガ認可ヲ致シタ譯デアリマス、殊ニ日鐵ノ此第一次擴張計畫ニ付キマシテハ、其内容ガ極メテ廣汎デアリマシテ、第三期計畫ト申シマシテモ、其内容ハ第六期、第七期ニ互リマシテ、長期ニ互リマス計畫デゴザイマシテ、是ガ審査ニ付キマシテモ、追完補正等相當ノ時日ヲ要シマス、尙ホ關係省トモ篤ト協議ヲ致ス必要モゴザイマシテ、唯現在ノ需給關係カラ見マシテ、出來ルダケ速ニ此増產計畫ガ實施ニ入りマシヤウニ考ヘマシテ、關係省トモ出來ルダケ協議、進捗ヲ圖ルト同時ニ、大體ニ於テ其計畫ノ妥當ト認メラレル點ガアリマスカラ、其意味ニ於テ認可ノ指令ヲ出シマシタガ、會社ヲシテ其變動ノ準備ニ著手シテ、本計畫ノ進捗上ニハ遺憾ノナイヤウニ、取計ッテ居ルヤウナ次第デゴザイマス

○田島委員 今伺ッタノデアリマスガ、其事

ニ付テ更ニ尙ホ細カニ伺ヒタイト思ヒマスガ、日鐵ノ千瓊熔鑪爐ト云フモノ、計畫、及ソレニ附屬シタ製鋼諸設備ト云フモノガ、十二年度ニ出來上ルト云フヤウナ御答デアリマスガ、一體現在銑鐵飢饉トカ云フコトヲ申シテ居ル位デアリマスガ、此日鐵ノ千瓊熔鑪爐ガ完成シテ、日鐵ハ其千瓊熔鑪爐カラ產出スル所ノ銑鐵ヲ幾ラ市場ニ出シ、製鋼原料トシテ幾ラソレヲ消費シテ、サウシテ日鐵ノ製鋼量トシテ、現在ヨリ幾ラ増加スルカ、斯ウ云フコトヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、ソレカラモウ一ツハ、日本鋼管ノ問題デアリマスガ、日本鋼管ハ今ノ御話ニ依リマス、三百五十瓊爐ノ外ニ、尙ホソレニ附屬シタ製鋼爐ヲ造ルカノ如ク伺フノデアリマスガ、現在日本鋼管ハ、製鋼爐ヲ持ッテ居リマシテ、其銑鐵ハ外ヨリ供給ヲ受ケテ居ル譯デアリマスガ、其方ノ自給自足ト云フコトニ、使フノデハナイノデアリマスガ、製鋼爐其モノヲ更ニ増設シテ、ドレ位ノ増設ヲスルトスレバ、製鋼ノ量ヲ増加スルコトニナルノデアリマスガ、詰リ銑鐵及鋼材ノ需給關係ノ考ヲ決メマス基礎トシテ、ソレヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○新倉政府委員 只今ノ御質問ノ第一點ハ

日本製鐵ガ千瓊熔鑪爐ヲ造リマシテ、全部ガ市場ニ出ルノデハナクシテ、相當部分ハ日本製鐵自ラ鋼ノ製造ニ使ッテ、一部分ダケガ市場ニ出ルグラウト云フ御質問デゴザイマス、日本製鐵ト致シマシテハ、鋼材ノ製造モ致シテ居リマシテ、千瓊熔鑪爐カラ出シマシタ全部ヲ、市場ニ出スコトハ困難デアリマス、隨ヒマシテ千瓊熔鑪爐ガ完成致シマシタ後ノ、需給關係カラ見マシテ、多少、或ハ相當ノ變化モゴザイマセウガ、大體半分程度位ハ、市場ニ出セルカト斯ウ考ヘテ居リマス、ソレカラ第二點ノ日本鋼管ハ、三百五十瓊熔鑪爐ヲ建設スルト同時ニ、製鋼設備モ考ヘテ居ルサウデアルガ、ドノ程度カト云フ御質問デゴザイマスガ、是ハ大體九萬瓊前後ノ、製鋼設備ヲ計畫シテ居リマス、隨ヒマシテ日本鋼管ガ熔鑪爐造リマスモノハ、大體自分ノ所デ使フコトニナリマスガ、併シ日本鋼管トシテハ、現在ハ外部カラ銑鐵ヲ購入シテ居リマスノデ、其程度ニ於テ、市場ニ廻ル數量ガ多少殖エルト、斯ウ考ヘテ居リマス

○田島委員 サウスルト現在ニ於テ、私ノ

カノヤウニ思ヒマスガ、果シテサウデアルトスルト、今ノ日鐵ノ千瓊熔鑪爐カラ出マス銑鐵ノ、半分ダケガ假ニ市場ニ出シ得ルト致シマシテ、其半分モ實ハ日鐵トシテハ鋼材ノ供給ヲ十分ニシヨウト思フナラバ、出シ得ナイモノグラウト思フノデアリマス、思フノデアリマスガ、ソレヲ假ニ日鐵ノ鋼材製造ヲ差控ヘマシテ、サウシテ群小テ、日鐵ハ銑鐵ノ供給ト云フコトヲ、一部分ヤルト云フコトニ致シマシタ所デ、千瓊熔鑪爐ノ產出ノ半額ヲ、市場ニ廻スト云フコトニシテ、ソレデ果シテ今ノ銑鐵ノ需給關係ガ、立派ニ辻褄ガ合フヤウニナルノデアリマスガ、ドレダケノ不足ヲ生ズルノデアリマスガ、ソレヲ伺ヒタイト思ヒマス

○新倉政府委員 只今ノ御質問、洵ニ御尤

キマシテモ申シマシヤウニ、現在日本鋼管ハ外部カラ相當量ノ銑鐵ヲ購入シテ居リマス、日本鋼管ガ外部カラノ購入量ガ減レバ、ソレダケ市場ニ對スル供給量ハ殖エル、一方淺野造船所ノモノモ、相當外部ニ供給セラレルト云フコトデ、現在ノ狀況カラ見マスレバ、是等ノ部分ガ完成致シマスレバ、現在輸入シテ居リマスル印度銑ト云フモノニ付テハ、大體ニ於テ必ズシモ全部印度銑ヲ、排除出來ルカドウカト云フコトニ付キマシテハ、多少議論モゴザイマスガ、相當部分マデ輸入ヲ阻止シテ、内地品ヲ以テ供給出來ルダラウ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○田島委員 ソレハ御説ノ通りニ、相當分ノ補充ハ出來マセウガ、私ノ御尋スルノハ、ハッキリ將來ノ需給關係ヲ豫想シテ、現在ノ程度ニ於テ銑鐵ノ需要ガ増加シナイモノト致シマシテ、ドレ位ノ不足ガ出來ルカ、若クハ増加スルトスレバ、其増加ノ率ニ依ッテドレダケノ量ガ不足スルカ、其點ヲ御調ガ付イテ居ルト思ヒマスカラ、伺ヒタイト思ヒマス

○新倉政府委員 只今ノ御質問ニ御答致シマス爲ニハ、將來ノ需要量ト云フモノヲ相當檢討致シマセスト、ハッキリシテ御答ハ

困難デゴザイマス、現在ノ狀況トシマシテハ、先般來續々大臣始メ其他ノ政府委員ノ方々ヨリ答辯シテ居リマスヤウニ、非常ニ需要ガ激増シテ居リマシテ、從來豫想シテ居リマシタ需要ニ對シマシテ、寧ロ意外ナ程多額ノ需要ガアル、斯ウ云フ狀況デ、ソレガ爲ニ内地ノ供給モ間ニ合ハナイト云フ狀態デゴザイマシテ、今後果シテ最近ノヤウナ急激ナ需要ノ増加ガ、繼續スルカドウカニ付キマシテハ、色々ノ見方ガアルデアラウト思ヒマス、或ハ更ニ需要ガドン／＼増加スルト云フヤウナ、御考ノコトモアルダラウト思ヒマスガ、又一面ニ於キマシテハ、現在ノヤウナ需要ハ所謂軍需工業ノ關係其他カラ見テ、サウ是以上急激ニ増加スルト云フコトハ、ナイノデハナイカト云フ風ニモ考ヘラレマシテ、假ニ現在ノヤウナ需要ガ、大體此儘存續スルト云フ風ニ見マスタラバ、先程來申シマシタ擴張計畫ガ完成シマシタ曉ニ於キマシテハ、從來トテモ大體印度銑ガ十萬噸乃至二十萬噸ノ輸入ガ、或ル場合ニ於テハ品質ノ關係上アッタノデアリマスガ、其程度ノ輸入ヲ以テスレバ、十分足リルト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○田島委員 サウスルト局ニ當ッテ居ラレ

マス政府委員ノ諸君方ハ、兎ニ角日本ノ製鐵業ト云フ立場、詰リ日本ノ製鐵業ト云フモノヲ「マネージ」シテ行ク頭ノ中ニハ、印度銑ト云フモノハ缺クベカラザルモノトシテ、何時迄モ印度銑ト云フモノヲ頭ノ中ニ置イテ、計算シナケレバナラヌト云フ御建前デオアリニナルノデアリマスガ、ソレトモ已ムヲ得ズ取敢ズノ處置トシテ、印度銑ハ認メルガ、ソレヲ輸入シナイヤウニスルコトガ宜シイト云フ御考デアルノカ、ソレヲ分リ切ッタコトノヤウデスケレドモ、伺ッテ置キタイ

○新倉政府委員 勿論先日來大臣モ申サレテ居リマスヤウニ、根本ノ方針ト致シマシテハ、内地デ自給自足スルト云フ建前デ行クコトハ、當然デアラウト思ヒマス、ソレデ只今計畫中ノ日本製鐵初メ、各製鐵所ノ現在ノ計畫ガ、完成シマシタ後ニ於テ、更ニ第二次或ハ第三次ノ計畫ヲ致シマシテ、將來全部内地ニ於テ、自給自足スルト云フ理想ニ向ッテ、邁進スルト云フコトハ、是ハ當然ノコト、考ヘマス

○田島委員 サウ云フ風ニ、日本ノ鐵鋼業ノ自給自足ヲ目標トシテ、邁進スルト云フ御考デアルトスレバ、私ハ政府ノ御遣方ニ付テ、少シ疑ヲ生ゼザルヲ得ナイノデアリ

マスガ、一體此製鐵合同ト云フモノヲ、ドウ云フ考デアッタノデアアルカ、其製鐵合同ト云フコトノ結果ニ付イテ、及其將來ニ付テ、商工大臣ハ如何ニ考ヘラレカト云フコトハ、先般來頻ニ大體論トシテ、質問應答ガ繰返サレテ居ルノデアリマシテ、今更茲デ商工大臣モ御不在デアルノニ、御尋シヨウト云フ考モアリマセヌガ、併シ私ハ事務當局トシテ、實際ノ仕事ヲヤラレルト云フ立場カラ考ヘテ、印度銑ト云フモノヲ多少頭ニ置カナケレバ、現在ノ鐵鋼界ノ少クトモ銑鐵界ノ需給ノ權衡ハ、取レナイト云フコトガ、政府委員ノ答辯ニ依ッテ大體明デアルト思ヒマス、殊ニ現在ニ於テ、銑鐵ノ自給自足ト云フ關係ノ基礎ニ置イテ居リマス所ノ熔鑄爐ト云フモノハ、日本ノ現在ノ熔鑄爐ヲ一々調べ見マス、極メテチグハグナモノデアリマシテ、非常ナ立派ナ進歩シタモノモアレバ、又非常ニ古いモノデ、實ハ今ノヤウナ銑鐵ノ相場デアアルカラ、引合ッテ居ルノデアアルガ、少シ相場ガ變動致シマスレバ、引合ハナイヤウナ所謂ボロ熔鑄爐ミタイナモノモアルコトハ、御存ジノ通りデアアル、ソレデ日鐵會社ノ出來タト云フ趣旨ハ、サウ云フ生産設備ヲ合理化致シマシテ、成ベク設

備ノ改善擴張ヲ圖テ生産費ヲ低減シ、日本ノ鐵鋼界ノ需要ニ對シテ、出來ルダケノ努力ヲスルト云フ趣旨デ、出來テ居ルノデアリマシテ、現在持ッテ居ル熔鑛爐ト雖モ、今ノ相場デハ儲カリマスガ、少シ相場ガ下ッテ來レバ、所謂成立シナイト云フ熔鑛爐モ、日鐵所有ノ中ニ、澤山トハ申シマセヌガ、相當ニアルノデアリマスカラ、サウ云フモノヲ改良シテ行クト云フ事ガ、日鐵ノ使命デアリ、當然又政府トシテ努メナケレバナラス事デアルト思フノデアリマス、サウ云フ趣旨ヲ以テ、論難應答ヲ致シマシテ、日本製鐵會社法ト云フモノガ、通ッテ居ルノデアリマスガ、其前ニ、先日田尻君ガ質問ノ中ニ述ベマシタヤウニ、濱口内閣ノ際ニハ計畫ヲシテ、計畫ノ途中ニシテ議會ノ問題ニナラズシテ、オシマヒニナッタ事實ガアリマシテ、其際ハ改良擴張費用トシテ、低利ナ金ヲ市場ニ求メルトカ、ソレニ付テ政府ガ補償スルトカ云フ問題ガ引掛ッテ、一ツハ出來ナクナッタ原因ヲ成シテ居ルノデハナイカト云フコトヲ、田尻君ガ質問シテ居リマシタ、其事實ノ如何ハ姑ク措キマシテ、要スルニ日鐵會社ノ設備ノ改善、進歩ヲ圖ルト云フコトガ、此製鐵合同ノ大目的デアリ、政府ノ執ラナクテハナラ

ヌ主義方針デアルノデアリマシテ、現在ポロ熔鑛爐ヲ多少持ッテ居ッテ、ソレヲ使ッテ、最新式ノ熔鑛爐ト、舊イ設備ノ熔鑛爐ト併行シテ經營ヲ致シマシテ、尙且ツ印度銑鐵ヲ二十萬噸カ幾ラカ頭ニ入レナケレバ、需給ノ關係ガ調節ガ出來ヌト云フヤウナ際ニ、日鐵ノ千越ノ熔鑛爐一基、——民間ニハ二ツ出來ルサウデアリマスガ、サウ云フ民間ノハ姑ク措キマシテ、日鐵ノ熔鑛爐ダケデモ尙ホ、更ニモウ一基ナリ、場合ニ依ッテハ二基ナリ、之ヲ増設スベキ義務ガ、政府ハアルト私ハ思フノデアリマス、ソレデ日鐵會社ト云フモノハ、今二期ノ決算ヲ終ルカ終ラナイカト云フ所デアッテ、其成績ノ如何ハ能ク分リマセヌケレドモ、少クトモ「バランス」ノ上ニ於テハ、割合ニ優良ナ成績ヲ擧ゲテ居ル、サウシテ現在ノ資金界——社債ヲ起スニシテモ、金ノ借入ヲスルニ致シマシテモ、日鐵會社ニ比較スレバ、信用ノ程度モ資本ノ程度ニ於テモ微々タル會社ガ、相當澤山ノ起債ヲシテ、非常ナ安イ利子デ、四分何厘ト云フヤウナ利子ヲ以テ、ドン／＼起債ヲヤッテ行ケルヤウナ今日ノ現狀ニ於キマシテ、政府ガ此合同ヲシタ時ノ責任ヲ考ヘマシタナラバ、少クトモ日鐵會社ニ對シテ、新ニ社債ヲ發行シ、負債ヲ

起シテデモ、千越熔鑛爐ヲ一基ハ愚カ、二基モ或ハ三基モ、増設ノ計畫ニ著手セシメルト云フコトハ、私ハ政府ノ義務デハナイカト思フノデアリマス、サウ云フコトニ付テハ、政府ハ何等ノ手ヲ下サレナイ、何等ノ處置ヲ執ラレナイト云フコトニ付テ、私ハ疑ヲ有ッテ居ルノデアリマス、イツ迄モ、マア印度銑ガアルカラ、印度銑ヲ取ルヤウニシタラ宜シイト云フヤウナ御考デ居ラレルト云フコトハ、甚ダ其意ヲ得ナイノデ、若シサウ云フ考ガ今日アルトスレバ、日印會商ナンカノ時ニハ、大變都合ノ好イ結果ヲ、日本ノ輸出業者ハ擧ゲ得タト思フノデアリマス、ソレデサウ云フヤウナ新シイ設備ヲシテ、今迄ノ舊イ設備ヲ改善シ、擴張シテ行クト云フコトガ、日鐵ノ合同サレタ目的デアルニ拘ラズ、唯單ニ千越熔鑛爐一基造ルト云フダケデ、今日鐵ノ持ッテ居ル二百噸位ノ熔鑛爐モアリマス、モウ既ニ壽命ガ來テ居ッテ、ソレヲ色々工夫シテ使ッテ居ラレルト云フノモアル、私ハ千越熔鑛爐ヲ、必ズシモ良イモノトハ言ヒマセヌ、千越熔鑛爐ハ、場合ニ依ッテハ非常ニ不經濟ナ事モアリマスカラ、私ハ千越熔鑛爐必ズシモ隨喜渴仰スル者デハアリマセヌガ、併シ百五十噸ヤ二百噸ノ熔鑛爐ガ、餘リ結構デナ

イト云フコトハ、當然明ナ事デアリマス、ソレデ少クトモ日鐵ノ所有シテ居ル百五十噸ヤ、二百噸ノ熔鑛爐ト云フモノハ、モウ棄テ、シマッテ、新シイ熔鑛爐ヲ造ッテ然ルベキモノデアル、サウ云フ風ニ進ムノガ、日鐵會社ヲ拵ヘタ目的デアリ、使命デアルト云フコトヲ考ヘテ見マス、過去約一年——マダ一年ニナリマセヌガ、其間日鐵會社ガ何ニモシナイト云フコトハ、是ハ日鐵會社ガ怠慢デアルノモーツデアリマセウ、併シ其監督指導ノ地位ニ在ル政府ノ、責任ト云フコトモ看通ヌ譯ニハ行カナイ、政府ハ少クトモ今日鐵合同ノ責任カラ考ヘテ、何等カモウ少シ積極的ナ處置ヲ執ッテ然ルベシト、考ヘルノデアリマスガ、其積極的ノ處置ヲ執ラナイノミナラズ、偶、出願シタ所ノ千越熔鑛爐ニシテモ、半年モ八箇月モ掛ッテ、漸ク認可スルト云フヤウナコトデ、恰モ日本鋼管アタリノ熔鑛爐ノ出願ト同ジヤウナ、動モスレバソレ以上ニ暇取リサウナ形勢ニ於テ、始終事務ガ處理サレテ居ルト云フコトハ、甚ダ其意ヲ得ナイノデアリマス、今申上ゲタ通り、日鐵會社ニ社債ヲ發行サセ、此際五期モ六期モ掛ルヤウナ生溫イ擴張ノ仕方ヲセズニ、此際二千萬元ナリ三千萬元ナリ、日鐵ノ信用ヲ以テ社

債ヲ發行スルコトハ、何デモナイノデアリ
マスカラ、前ノ濱口内閣ノ時分ノヤウニ、社
債ノ保證ト云フヤウナコトヲ考ヘナクテモ、
東京市デスラ、四分何厘ノ金ヲ借りテ居ル
ト云フ譯デアリマシテ、日鐵ノ如キ資産狀
態ノ健全ナ會社ハ、非常ニ有利ナ條件デ、
金ヲ借りラレルダラウト思フノデアリマ
ス、サウ云フヤウナ積極的ノ改良擴張ヲ、
ヤラレト云フ意思ハナイノデアルカドウ
カ、其點ヲ——是ハ少シ政務ニ關スルヤウ
ナコトニナルカモ知レマセヌガ、先ヅ技術
的ニ考ヘラレテ、然ルベキ事デアルト思ヒ
マスカラ、今御居デノ方々ノ中カラ、御答
ヲ一ツ御願致シマス

○小島政府委員 只今御尋ノ點ハ、洵ニ御
尤ナ事ト思ヒマス、大體日本製鐵株式會社
法ガ、議會ニ於テ審議セラレマシタ際ニ、其
法案ノ目的ノ一ツトシマシテ、堅實ナル資
力ニ依ッテ、改良擴張ヲ十分ニ致シ、サウシ
テ低廉ナル鐵鋼ヲ豊富ニ供給トルス云フコ
トデゴザイマシタ、當時改良擴張ノ爲ニ、
或ハ三千萬圓或ハ將來六千萬圓ノ費用モ、
必要デアルト云フヤウナ點ナドモ、相當論
議サレタノデゴザイマス、ソレデ今日ノ狀
態ニ於キマシテ、日本製鐵會社ニ於キマシ
テモ、固ヨリ各作業者間ニ於ケル合理化ヲ

圖リマシテ、其改良ニ努メルコトハ勿論デ
アリマスケレドモ、更ニ第三期、第四期ニ
於テ相當ノ改良ノ施設ヲ致シマス計畫ガゴ
ザイマス、而シテ將來ノ鐵鋼ノ需給關係ヲ
考ヘマシテ、日本製鐵會社トシマシテハ出
來ルダケ熔鑪ノ準備ヲ致シマシテ、サウ
シテ成ベク自給自足ノ方途ヲ講ズルト云フ
コトガ、洵ニ必要デアラウト私共モ考ヘテ
居リマス、サウ致シマシテ、其大規模ノ擴
張計畫ヲ致シマシテ、將來不況等ノ場合ニ
於テハ、其能率ノ惡イモノヲ廢メテ、能率
ノ良イモノニ依ッテ低廉ナ鐵鋼ヲ供給スル
ト云フコトモ、亦必要ナ事デモアラウカト
思フノデアリマス、而シテ今日日本製鐵會
社ハ先ヅ第三期計畫ト致シマシテ、千瓊爐
竝ニ之ニ附屬シマシタ製鋼設備ヲ、計畫致
シタノデゴザイマスガ、將來更ニ第二次、第
三次ノ擴張計畫ニ付テモ、折角會社ニ於テ
考究中デゴザイマシテ只今御説ノヤウニ、
或ハ更ニ熔鑪爐ヲ増設スルト云フコトモ、
急速ニ運ブ必要ガアラウカト思ヒマス、折
角會社當局ニ於テモ考究中デゴザイマスカ
ラ、私共ト致シマシテモ、成ベク速ニ是等
ノ計畫ガ具體的ニ樹テラレマシテ、其實施
ニ至ルコトヲ希望シテ居ルヤウナ次第デゴ
ザイマシテ、私共トシマシテハ、將來トモ

印度銑ニ賴ッテ居ルト云フヤウナコトハ、
決シテ期待シテ居ルモノデハゴザイマセ
ヌ、出來ル限り鐵鋼ニ付キマシテハ、日本
ニ於テ自給自足ガ出來マスヤウニ、考ヘテ
居リマス次第デゴザイマス

○田島委員 サウ御考ニナッテ居ルコトハ、
當然ノコト、思ヒマスノデ、其御趣旨ハ諒
承致シマス、併シ決シテ當局ノ揚足ヲ取ル
譯デハアリマセヌガ、動モスレバ印度銑ニ
賴ッテ居ルコトガ、アリ／＼ト見エル、ソレ
カラ一面ニ於テハ、日鐵ハ日鐵デヤルダラ
ウ、政府ハ唯監督ヲシテ居ルノミデアルト
云フヤウニ——是ハ少シ言ヒ方ガ惡イカモ
知レマセヌガ、サウ云フ風ニ世間カラ見ラ
レルト云フコトガ、先日來ノ田尻君、松村
君アタリノ根本方針ニ付テ、侃々諤々ノ論
ヲサレタ所以デアルト私ハ思フノデアル、
ソレデ本當ニ政府ガ日本ノ鐵鋼自給ト云フ
コトニ意ヲ用ヒテ、實際明ケ暮レ、所謂夢
寐ノ間モ之ヲ忘レナイト云フ熱心ガ、商工
省ニオアリデアレバ、此委員會ニ對シテ政
府ハ是ダケノ積極的ノ考ヲ有ッテ居ルノデ
アルト云フコトヲ、自ラ進ンデ發表サレル
位ガ、然ルベキデアリマス、サウ云フコト
ナシニ、唯受身々々デオイデニナルモノダ
カラ、誠意ハ少シモ貫徹シナイシ、唯徒ニ

言ヲ左右ニ託サレルヤウニ、吾々カラ思ハ
レル所以デアルノデアリマス、大體日鐵ノ
ヤリ方ハ、非常ニ堅實デアアル、其經營ノ仕
方ガ堅實デアルト云フコトハ、洵ニ敬服ノ
外ハアリマセヌ、ア、云フ各種ノ業態ノ會
社ガ集ッテ、ソレヲ統一融合セシムルダケデ
モ、容易ナラヌコトデアッテ、其統一融合ト
云フモノガ、比較的圓滑ニ行ハレテ、今日先
ヅ完全トハ行カヌカモ知レマセヌガ、相當
立派ニ成績ヲ擧ゲテ居ルト云フコトハ、鐵
ノ值上リト云フコトノ御蔭モアルカモ知レ
マセヌガ、經營者其人ガ、努力宜シキヲ得
テ居ル爲メダト思ヒマス、又監督官廳トシ
テノ商工省ノ御盡力モ、可ナリ其處ニ現ハ
レテ居ルト思フノデアリマスガ、併ナガラ
日鐵會社ト云フモノハ、吾々ハ日鐵會社法
案ニ協賛致シマス時ニ、委員トシテ考ヘタ
ノニ、是ハ唯政府ト云フモノヲ民間ノ會社
ニ形ヲ變ヘタモノデアアル、政府ニ依ッテ仕
事ヲスルト云フコトニナレバ、會計法ニ支
配セラレ、又場合ニ依ッテハ細大トナク法
律的ノ立場カラ、議會ノ協賛ヲ經ナクテハ
ナラヌト云フヤウナ關係モアル、始終形式
ニ於テ手足ヲ縛ラレルト云フヤウナコトガ
アルノデアルカラ、之ヲ會社ノ形ニ於テ經
營ヲシタナラバ、非常ニ迅速ニ手ヲ取り早

ク、日本ノ鐵礦ノ自給ガ出來ルダラウト云フコトヲ吾々ハ考ヘタ、是ガ吾々ガ日鐵會社法案ニ賛成シタ根本ノ理由デアリマス、ソレニ依ッテ考ヘマス、政府ハ宜シク其考カラ進ンデ行ッテ、今日自ラ積極的ノ計畫ヲ爲サナクテハイカスト私ハ考ヘル、何トナレバ日鐵會社ガ如何ニ堅實ナ營業ヲショウト、或ハドウデアラウト、其經營ノ如何ガ誰ニ一番影響スルカト云フト、日本帝國政府デアリマス、政府ガ大株主デアッテ、絶對過半數ヲ有ッテ居ル、絶對權ヲ有ッテ居ル會社デアリマス、ソレデ此際ウント擴張シテ、其擴張ガ見込達ラシテ、儲カラナカッタ時ニハ、政府ガ配當ヲ辭退サヘナサレバ、チットモ仕事ニハ差支ナイ、アトノ民間ノ有ッテ居ル株ニ配當スル位ノコトハ、何デモナイノデアリマス、法律ハサウ云フ性質ニナッテ居リマセヌケレドモ、サウ云フヤウナ氣分ヲ以テ、經營ノ任ニ當ラシメタナラバ、此鐵鋼關稅ノ値上トカ、値下トカ云フヤウナコトハ、問題ニシナクテモ、日鐵會社ガ堂々ト一人デ東洋ニ於テ各國ヲ相手ニシテ、ヤラレテ然ルベシデアル、所ガ今千越熔鐵爐ト云フモノヲ一臺此處ニ拵ヘテ、ソレニ附帶シタ製鋼爐ノ設備ヲシテ居ル、其製鋼爐タルヤ、實ニ哀レ果敢ナイ製鋼爐デ

アル、例ヘバ十五越二十五越ノ製鋼爐モアル、熔鐵爐モ百五十越ヤソコラノ熔鐵爐モアル、サウ云フモノヲ持ッテ居テ、サウシテ鐵ノ値段ノ上ッテ居ル際ニ、サウ云フモノノ整理モ出來ズ、新シイ設備ノ改良モ出來ズ、唯千越熔鐵爐ト、ソレニ附帶シタ製鋼爐ヲ造ッタト云フコトダケデヤッテ居ル日ニハ、何時ニナッタラ日本ノ鐵鋼業ガ獨立スルコトガ出來ルカ、サウ云フコトヲ皆考ヘルノデ喧シクナル、何モ吾々ハ日鐵會社ノ經營ガ、ドウデアラウト斯ウデアラウト、日本ノ鐵鋼ト云フモノガ自給自足ノ地位ニ達シテ、尙ホ慾ヲ言ヘバ、外國ニモ輸出スルヤウニ早クナッテ貰ヒサヘスレバ宜イノデス、ソレデ其目的ノ爲ニハ、今申上ゲル通りニ、折角値段ノ上ッテ居ル際ニ、社債ヲ起スコトモ自由デアリマスカラ、成ベク早ク社債デモ起シテ、三千萬圓ナリ幾ラナリヲ茲ニ投ジテ、ヤッテ御覽ナサイ、忽チニシテ日本ノ鐵鋼業ノ自立獨立ト云フコトガ出來ル、日本鋼管會社ニ熔鐵爐ヲ許ストカ許サヌトカ、ヤレ淺野造船所ガドウデアルトカ云フヤウナコトヲ、言フ暇ハナイノデス、ソレヲ商工省ノ方デ、進ンデ日鐵ヲ突ッ付イテ、監督權ヲ働カシテ、サウシテ日鐵ニサウ云フ命令ヲスル位ノコトヲシテオヤ

リニナルト云フコトガナケレバ、何時マデ經ッテモ此委員會ハ、矢張面倒ナ話ガ起ルモノト思ヒマス、ソレデ私ハ今此處デ千越熔鐵爐及ソレニ附隨シタ製鋼爐ノ設備ヲヤルト仰シヤル、ソレ以上ノコトヲドウ云フ考ヲ有ッテ居ルカト云フコトヲ御尋シマシタ所デ、何ニモナラヌノデアリマスカラ、進ンデ御尋ハ致シマセヌガ、吾々ノ狙ッテ居ル所ハ今申上ゲル通りノ所ニアル、サウ云フヤウナ政府ガ積極的ノ手段ニ出ナケレバ、何時マデモ内心ハ皆反對シテ居ルヤウナ氣分デ、此案ヲ審議スルヤウナ空氣ガ、茲ニ起ッテ來ルト云フコトヲ申上ゲテ、サウシテ將來ノ爲ニ、此次ノ議會アタリニハ、斯ウ云フ計畫ヲシテ日鐵ガヤルヤウニナッタト云フコトヲ、コチラカラ御尋シナクテモ、政府委員ノ方カラ御自慢ニナルヤウニ、一ツ御計畫ヲ御願シテ置キタイト思フノデアリマス、ソレヨリ以上ハ議論ニナリマスカラ申上ゲマセヌガ、大體日鐵及其他ノ擴張計畫ニ付テ、今申上ゲル位ノコトヲ御聽キニ達シテ置イデ、次ニ移リタイト思ヒマス

○原委員 今ノ關聯事項ニ付テ、一寸御尋ヲ致シマス、鐵鋼國策ノ根幹デアリマス自給自足ノコトニ關聯致シマシテ、只今日鐵會社ノ擴張改善ノコトニ付テ、質疑ガアリマシタガ、之ニ對シテ政府ニ於カレマシテハ、日鐵會社ハ更ニ今後ニ於テハ、擴張改善ノ意思ガアルト云フコトヲ御發表ニナリマシタルコトハ、私共ノ非常ニ欣快トスル所デアリマス、就キマシテハ私ハ日鐵會社ノ擴張及改善ニアラズシテ「アウトサイダー」ニ於キマシテモ、矢張日鐵ト同様ニ、擴張或ハ改善ヲ行ハシムル必要ガアルノデハナイカト思ヒマス、隨テ「アウトサイダー」ニ於キマシテ、熔鐵爐ノ出願ヲ致シマシタヤウナ場合ニ於キマシテハ、矢張自給自足ト云フ見地カラ、之ニ對シテ適宜ニ許可ヲスル方針デナケレバナラヌト思ヒマス、先日商工大臣ヨリ熔鐵爐ノ出願ノアッタ場合ニハ、日鐵會社ニアラズトモ「アウトサイダー」デアッテモ、ソレガ具體的ノ實情調査ヲ致シテ見テ、許可ヲスルコトガ適當デアル場合ニハ許可スルノデアルト云フヤウナ言明ガアリマシタガ、商工大臣ノ所謂具體的ノ事情ニ即シテ、之ヲ許可スルト云フ、其具體的ノ事情ト云フ點ニ付キマシテ、一言質問ヲ致シテ置キタイト思ヒマス、ソレハ只今田島君ノ議論ハ、自給自足ト云フ點カラ申サレタノデアリマスルガ、私ハ生

産費ノ低下ト云フ方面カラ、此許可ノ條件トシテノ最モ重要ナ點ヲ、伺ッテ見タイト思ヒマス、ソレハ申ス迄モナク、鉄鋼一貫作業ヲヤルコトガ、生産費ヲ低下スル上ニ於キマシテハ、最モ必要デアルコトハ、頗ル明瞭デアリマス、ト同時ニ又一面ニ於キマシテハ、製鐵作業ヲ行ヒマスルナラバ、ソコニ瓦斯其他ノ多量ノ副産物ガ出来マス、隨テ此副産物ヲ利用シテ——副産物ヲ消費スル所ノ消費者ガアルコトガ、製鐵業ヲ起シマス上ニ於キマシテハ、非常ニ肝要ナ點デアリマス、故ニ此熔鑛爐ヲ設立スルニ付キマシテハ、矢張り此副産物ヲ消費スル所ノ、都會地ノ附近ニ於テ熔鑛爐ヲ増設スルコトガ、今後ニ於テハ、最モ肝要ナ點デハナイカト考ヘマス、其意味ヨリ致シマシテ、阪神地方トカ、或ハ京濱間ノ如キ都市ヲ控ヘテ居ル地方デアッテ、而モ此阪神地方、或ハ京濱地方ニ於キマシテハ、單ニ製鋼作業ノミヤッテ居リマシテ、鉄鋼ノ製造ヲヤッテ居ナイ、所謂熔鑛爐ヲ有シテ居ナイノデアリマスカラ、此阪神地方、或ハ京濱地方ニ、熔鑛爐ヲ増設スルコトハ、此鉄鋼一貫作業ト云フ方面カラ見マシテモ、最モ有利デアリ、又一面ニ於キマシテハ、此副産物ヲ利用スルコト云フ見地ヨリ見マシテモ、

生産費ヲ低下スル點ニ於キマシテ、頗ル有利デアルト考ヘマスガ、其見地ヨリ致シマシテ、將來日鐵ニ於キマシテモ、亦「アウトサイダー」ニ於キマシテモ、阪神地方或ハ京濱地方等ニ於テ、出願ヲシタ場合ニ於キマシテハ、是等ノ點ガ大ニ考慮ヲ要スル點デアリ、許可スルニハ最モ有利ナ條件デアルト信ジマスルガ、之ニ對スル政府ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○小島政府委員 只今製鋼設備ハ、如何ナル地域、條件ノ下ニ設置スルガ宜イカト云フヤウナ意味ヲ以テ、將來ノ熔鑛爐ニ關スル政府ノ方針ハ、ドウカト云フヤウナ御尋ガゴザイマシタ、今日ノ製鐵工業ニ於キマシテ、副産物ノ處理ト云フコトガ、重要ナ要素ヲ有ッテ居ルコトハ、申ス迄モナイコトデゴザイマス、デアリマスガ大キナ問題トシマシテハ、更ニ鐵礦ノ關係ニ於テ——原

鑛石ノ關係ニ於テ、如何ナル狀態ニアルカ、或ハ更ニ石炭等ニ於テ如何ナル關係ニアルカト云フコトハ、ヨリ一層重要ナ問題デアラウカト考ヘルノデアリマス、ソレデ將來此製鐵業獎勵法ニ基キマシテ、事業ノ認可ヲ得マシタ際ニハ、各種ノ事情ヲ篤ト綜合考慮致シマシテ、獎勵法ノ趣旨ニ基イテ、善處致シタイト思ヒマス

○原委員 只今御答辯ノアリマシタ石炭トカ、或ハ其他ノ事情ニ付テ、考慮ヲ要スルコトハ勿論デアリマス、併ナガラ私ガ只今申上ゲマシタ鉄鋼一貫作業ヲヤル上カラ申シマシテ、製鋼所ガアッテ、製鉄所ノ無イヤウナ場所ニ設クルト云フコトガ、最モ有利デハナイカト云フ一點ト、生産物ヲ消費スル所ノ都會地ノ附近ニ之ヲ設クルト云フコトガ、是亦最モ有利ナル條件デハナイカト云フ此二ツニ對シテ、御答ヲ願ヒタイノデアリマス

○勝政府委員 只今原君カラ御尋ガアリマシタガ、至極御尤モデス、今日政府ガ製鐵業獎勵法ヲ改正致シマシテ、鉄鋼一貫作業ヲヤルモノニ對シテノミ、特ニ免稅ノ恩典ヲ與ヘルト云フコトニシテ居ルノモ、今原君ノ質問セラレタ點ニ重キヲ置イタ爲デアリマス、隨テ製鐵業獎勵法ニ基キマシテ、熔鑛爐ノ新設ヲ許スト云フ條件ヲ附スル際ニ、只今原君ノ言ハレタヤウナ點ハ、餘程重キヲ置ク點デアラウト考ヘマス

○田島委員 ソレデ私ハ今迄質問ヲ繰返シマシタ精神カラ推シマシテ、製鐵事業ノ國策ノ立場カラ、或ハ需給以上ニ、製鐵業ニ依ッテ、日本ノ貿易ヲ盛ナラシムルト云フ點マデモ、考ヘタイト云フ立場カラ、矢張現

在ノ法制ノ趣旨ニ基キマシテ、製鐵獎勵法ノ存續スル限りハ、政府ガ相當ニ此事業ノ許可ト云フコトニ付テ、内容ノ吟味ト云フコトガ必要デアラウダウト思フノデアリマシテ、其點ニ付キマシテハ、商工大臣カラ是迄ニ縷々御答辯ニナッテ居リマスガ、要スルニ世論ハ成ルベク速ニ熔鑛爐ノ申請ガアレバ、ソレヲ許可シテ貰ッテ、速ニ製鐵事業ノ嚆ニ臨ムコトガ出来ルヤウニシタイト云フ世論ガ、特ニアルノデアリマス、私等ハ無論其世論ニ對シテ同感デアアルノデアリマスガ、併シ成功ヲ急グノ餘リ、稻ヲ植エテ之ヲ助ケテ、之ヲ枯ラシタト云フヤウナコトデアリマシテ、餘リ盲滅法ニ急グト云フコトハ、今ノ日本ノ製鐵業ガ一時非常ニ沈淪致シマシテ、結局製鐵大合同ニ依ラザルヲ得ナイヤウニナッタ殷鑑ガ、既ニ近ク見エテ居ルノデアリマス、ソレデ熔鑛爐ノ認可ノ如キモノニ致シマシテモ、苟モ熔鑛爐ノ出願ガアレバ、之ヲ許可スルト云フヤウナ、不見識ナ政府ノ遣方デハ、私ハ製鐵業ノ確立ト云フモノハ出来ヌト思フ、茲デ何モ技術的ノコトニ付テ政府委員諸君ニ追究致シマシテ、揚ゲ足ヲ取ラウト云フ考ハ有ッテ居リマセヌケレドモ、要スルニ熔鑛爐ヲ許可スルニ付テハ、少クトモ一定ノ「ス

タンダード」ガナケレバナラヌ、五百越以下ハ許サナイトカ、或ハ六百越デナケレバイカヌトカ、少クモ最低限ト云フモノハ多少ノ標準ヲ御決メニナツテ置クトガ必要ダト思フ、三百五十越デモ、二百五十越デモ宜シイト云フコトデハ、益、將來日本ノ製鐵業ノ建直シト云フ必要ノアル場合ニ、困ルダケノコトデアリマス、ソレデ成程特殊ノ事情ガアリマシテ——例ヘバ肥料ヲ拵ヘルノニ、硫化鐵礦ヲ使フ、其硫化鐵礦ノ滓ヲ熔鑛爐ニ使フト云フコトハ、非常ナ有利デアルト云フヤウナコトデ、ソコニ熔鑛爐ヲ拵ヘルト、斯ウ云フコトニナリマスレバ、必シモソレハ五百越爐デナクテモ宜シイ、二百五十越爐デモ、經濟的ニ行クカモ知レナイ、併ナガラソレヲ以テ一般ヲ律スルコトハ出來ナイノデアリマシテ、政府トシテハ製鐵國策ヲ立テル上カラ、少クトモ總テノ熔鑛爐、或ハ製鐵爐ノ「スタンダード」ヲ決メテ、サウシテソレ以下ノモノハ許サヌト云フ位ノ確信、信念ガナケレバ、私ハイカヌト思フ、ソレデ先日來ノ質問應答ヲ傾聽シテ居リマス、政府ニ果シテ其信念ガアリヤ否ヤ、疑ハザルヲ得ナイノデ、私ハ茲ニ追究ハ致シマセヌガ、少クトモ技術的ニソレダケノ基礎ヲ

置イタ考ヲ、御決メニナツテ置クト云フコトヲ希望シテ止マナイノデアリマス、次ニハ日鐵會社ノ擴張ノコトニ付テ、先刻來續、申述マシタ間ニ於テ、申殘シタ點ガアリマスカラシテ、茲ニ追加ヲ致シテ置キマスガ、成程商工省ハ日鐵會社ノ監督官廳デアリマス、監督官廳デアリマスケレドモ、其監督官、直接監督ノ任ニ當ラレル人、現ニ此處ニ鑛山局長モ居ラリマスケレドモ、直接監督ノ任ニ當ラレル人ヨリモ、監督サレル方ガ偉イノデス、ソレカラ又技術的ニ之ヲ申シマス、此處ニ技術者ノ御方モ居ラレルノデアリマスガ、其技術者ノ諸君ヨリモ、日鐵會社ノ方ニハ偉イ技術者ガ居ラレルノデアリマス、極ク是ハ率直ニ言フデ分ルノデス、ソレデ監督權ト云フモノガ立派ニ行ヘナイト云フコトハ、ソレダケデ明カナノデアアル、ソレデ例ヘバ、今迄ハ私ハ政府ニソレダケノ熱意ト誠意トガアルト云フコトハ信ジマセヌ、今迄ノ事績ガ、ソレヲ證明シテ居リマスカラ、ソレヲ信ジマセヌガ、日鐵會社ヲ引摺ッテ、日鐵會社ヲ指導致シマシテ、サウシテ此日本ノ鐵鋼需給政策ヲ完成ショウト云フ熱意ガ、政府ニアラレルナラバ、事務ノ局

ニ當ッテ居ラレル、鑛山局長ヲ始メトシテ、皆ガ日鐵會社ノ社員ニナツタ積リデ、商工大臣ハ其改良擴張ノ委員會ノ委員長デアッテ、實際ニ其仕事ニ身體ヲ差込シテ、指導監督ヲシテ行カレル位ノ程度ニナラナケレバ、私ハ唯何時マデモ二階カラ目藥ヲ差ス程度デ、何ニモナラヌト思フ、ソレデドウカ一ツ此次ノ議會ニハ、製鐵法案ハ何モ出ナイカモ知レマセヌ、出ナイカモ知レマセヌカラ、モウ製鐵法案ガ出ナイカラ、サウ云フコトハ一向頓著スル必要ハナイト云フヤウナ御考モ、オアリデアリマスマイガ、豫算委員會アタリデ質問應答モ行ハレマセウカラシテ、ドウカ此次ノ議會ニハ、モウ少シ眞味ニ日本ノ鐵鋼政策ニ付テ考慮シタト云フ實蹟ヲ、御示シアランコトヲ今カラ願ッテ置キマス、結局政府ト日鐵トガ、共同デ仕事ヲスルト云フ氣持ニナツテ、大計畫ヲ御樹テニナレバ、忽チ私ハ完成スルコト、思フノデアリマス、此點ダケヲ希望トシテ申上ゲテ置キマス、次ニ私ハ日鐵會社其他日本ノ内地ニ於ケル所ノ、各、鐵ノ會社ガ、色々ナ擴張計畫ヲ有ッテ居ルヤウデアリマス、其擴張計畫ニ付テ、原料ノ手配ハ一體ドウ云フコトニナツテ居ルカ、ソレヲ伺ヒタイ、詰リ原料トシテハ色々アリマスケレド

モ、私ノ主トシテ伺ハントスルノハ、鐵礦デアリマス、鐵礦ニ付テハドウ云フ手配ヲシテ居ラレルノデアアルカ、日鐵會社ハ何處何處カラドウ云フ供給ヲ受ケテ居ッテ、ソレガ何年續ク見込ガアルカ、又今度ノ千越熔鑛爐ヲ造ルニ付テハ、鑛石ノ需給關係ハドウナツテ居ルカ、或ハ民間會社ハドウ云フ當テヲ有ッテ居ルカ、サウ云フ原料鐵礦ノ需給關係ニ付テ、今政府ノ考ヘテ居ラレル所ヲ伺ッテ置キタイ

○小島政府委員 大體鐵礦ノ供給ハ内地、朝鮮、支那、南洋等ニ於キマシテ、昭和十年度ニ於キマシテハ、三百六十萬越、是ハ無論滿洲ノ鐵礦ハ別ト致シマシテ、考ヘテ居ルノデアリマスガ、大體四百萬越近クノモノハ、差當ッテ今申上ゲマシタ地方カラ、是ガ供給ヲ仰グコトハ、十分出來ヨウカト考ヘテ居ルノデアリマス、更ニ平時ニ於テハ今申上ゲマシタヤウナ事情デ、是ガ供給ヲ受クルニ差支ヘナイト思フノデアリマスケレドモ、戰時等ノ非常ノ場合ニ於テハ、更ニ砂鐵デアリマス、或ハ其他ノ硫化鐵礦デアリマス、是等ニ付キマシテ、出來ルダケ利用致シマスルヤウニ、目下研究ヲ致シテ居リマシテ、相當ノ實績ヲ擧ゲ得ル見込

デ居リマス、唯是ガ各社ニ於テ如何ナル手配ヲシテ居ルカト云フ御尋デゴザイマシタガ、大體日鐵ニ於キマシテハ、十分昭和十年マデノ先方ノ計畫ニ對シマシテハ、從來通り日本乃至朝鮮ノ外ニ支那、南洋其他カラシテ、十分供給ヲ仰ギ得ルヤウナ状態ニ相成ツテ居ルト思ッテ居リマス

○田島委員 私ガ今御伺シタノハ、實ハ戰時ノ問題ヤ何カラ、伺ッタノデハナイ、戰時ノ問題ハ是ハ暫ク措キマシテ、平時現在ノ状態ニ於テ、日鐵會社及其他民間ノ會社、例ヘバ今度熔鑛爐ヲ始メマス日本鋼管ノ如キ、何レモガ相當長キニ互ッテ、十分ナル鐵礦ノ供給ヲ受ケル見込ガアレバ、非常ニ仕合セデアルト思フノデアリマスケレドモ、ソレガドウデアアルカト云フコトヲ疑フノデ、其コトヲ御尋シタ譯デアリマス、ソレデ要スルニ現在デハ、ソレハ日鐵會社ハ需給關係ニ於テハ、少シモ憂慮スル所ハゴザイマスマイケレドモ、今デハ非常ニ原料ノ供給ガ殖エテ困ルヤウナコトガアッテハ、是ハ日鐵會社トシテ相濟マヌノデアリマスカラ、サウ云フコトガナイコトハ疾ニ承知ヲシテ居ルノデアリマサガ、一體十年前、十五年先ハドウナル、實ハ其點ニ付テ吾々ハ此日本ノ製鐵合同ヲ劃策シテ、サウシテ

製鐵合同ニ對シテ協賛ヲシテ、之ヲ實現シ

ヨウト考ヘタ心ノ底ニハ、日本ノ鐵工業ト云フモノハ近キ將來ニ於テ、今日既ニサウデアアルト思ヒマスガ、吾々ガ日鐵會社法案ニ協賛ヲシマシタ時分ニハ、近キ將來ニ於テ、少クトモ日本ノ鐵工業ハ、世界ヲ「リード」スル迄ニ行カナイニシタ所デ、世界ニ於ケル有數ノ發達進步ヲ遂ゲテ、世界ノ此輸出貿易ノ上ニ、日本ガ寄與スル時ガ、近ク目睫ノ間ニ來ルモノデアルト、斯ウ考ヘテ、ソレヲ實現スル爲ニハ、日鐵會社ノ合同ト云フコトガ、非常ニ必要ナコトデアルト云フ鐵鋼需給政策以上ニ、先ニ進ンダコトヲ考ヘテ、協賛ヲ致シテ居ルノデアリマス、サウ云フ立場カラ考ヘマスト、此鐵ノ鐵石ノ供給ト云フコトガ、十分デナケレバイクス、其時分ニ吾々ノ知ッタ範圍ニ於テハ、南洋方面、蘭領印度方面、或ハ濠洲方面、非常ニ無盡藏デアルト迄モ聞イテ、サウシテ其調査ノ結果ヲ拜見致シテ、日本トシテハ將來ノ希望ガ洋々タルモノガアルト考ヘテ居ッタノデアリマス、何シロ南洋諸島、或ハ蘭領印度、其他太平洋沿岸ノ兩側ノ方ニアリマス所ノ、鐵ノ資源ナルモノハ、石炭ノ關係、勞力ノ關係、ソレ等ノ關係ヲ考慮致シマシテ、ドウシテモ英國ナリ、

或ハ亞米利加ナリ、或ハ和蘭ナリガ、之ヲ

使フコトガ出來ナイ、所謂寶ノ持嚢リデアリマス、ソレデハ日本ノ利用スルノヲ待ッテ居ル、日本ガ利用ヲシナケレバ、是等ノ諸外國モ利益ヲ受ケナイノデアリマスカラ、日本ノ利用ト云フコトヲ心ヨリ切望シテ居ル現状デアアルノデアリマスカラ、ソレデ所謂天ノ與ヘル所、之ヲ取ラザレバ其罰ヲ受ケルトカ云フヤウナコトヲ昔カラ申シマスガ、日本トシテ鐵工業、製鐵業ナルモノハ、大擴張ヲヤリ、之ヲ完成セント欲スルノハ是ハ、天ノ使命デアアルト言ッテモ宜イノデアリマス、所ガ其資源ト云フモノハ、此頃噂ニ聞キマスト、ドウモ新嘉坡方面、馬來半島ノ鐵礦ト云フモノモ、先ガ見エタ、ドウモ餘リ多量ナルコトハナイヤウニ思フ、或ハ蘭領印度方面ノ鐵礦ニシタ所デ、大シタモノデモナイヤウニ思フ、ソレ等ノ關係カラシテ、ドウモ是ハ色々ナ外ノ理由モアリマセウガ、濠洲迄手ヲ伸シテ、増加シナケレバナラスト云フヤウナコトニ、ナリツ、アルヤウニ思フノデアリマス、濠洲モ或ル點カラ申シマスト、貿易ノ都合ニ依リマシテハ、五萬噸ヤ三萬噸ノ鐵礦ヲ持ッテ來ルコトハ、極メテ便利デアリマセウガ、併シ日本ノ製鐵業ノ主タル資源

ヲ、其方面ニ仰グト云フコトハ、是ハ非常

ニ不利益デアアルコトハ分ッテ居リマス、ソレデ其鐵ノ資源ノ關係ヲ、一體商工省ハドウ見テ居ラレルカ、其考ヲ伺ッタ譯デアリマス、併シ現在ニ於テ具體的ニ、今其處デ數字ノ御説明ガ出來ナイト云フヤウナコトデアリマスレバ、何レ此委員會ノ繼續中ニ、參考資料トシテ御提出ヲ願フコトニ致シマシテ、私ノ質問ハ打切りマスガ、其意味ニ於テ此原礦ヲドウスルカ、民間ノ會社ノ如キモノハ、徒ニ熔鑛爐バカリ造ッテ、原礦ノ目當ハナイデヤナイカト云フコトヲ、伺ッタ譯デアリマス、後日御答ヲ願ヘレバ、ソレデ結構デアリマスカラ、今此處デ御尋ヲ致シマス趣旨ダケヲ申上ゲテ……

○新倉政府委員 前ノ御質問ノ、今後熔鑛爐ヲ相當増設シテ參リマシタ場合ニ、此原礦タル鐵礦石ノ供給ニ付テ、十分ナ自信ガアルカト云フ御尋デゴザイマスガ、大體先ヅ現状ヲ申上ゲテ參リマスト、昨年九年ニ使用致シマシタ鐵石ノ量ヲ申シマスト、日本全體ト致シマシテ、内地產鐵石ガ約五萬噸、朝鮮產鐵石ガ約六十萬噸、是等ガ大體日本内地及朝鮮デゴザイマス、其他ニ支那約六十萬噸、南洋方面ガ約百二十萬噸、所謂外國カラ輸入致シマスモノガ百七八十

萬越デゴザイマス、而シテ今後ノ事情ハド
ウカト云フ點デゴザイマスガ、勿論外國ノ
鑛山ニ致シマシテモ、各々個別的ニ見マス
ルナラバ、或山ハ段々ニ減ッテ、或山ハ段々

増加スルト云フ事情ハゴザイマスガ、全體

トシテ見マスルナラバ、差當リ現在百七、
八十萬越ノモノガ、二百五十萬越ニナル
ト云フコトハ、決シテ困難ナコトハナカラ

ウ、斯ウ考ヘテ居リマス、而シテ更ニ先ノ
事情ハドウカト云フコトデゴザイマスガ、
之ニ付キマシテハ勿論埋藏量ノ點、經濟的

採掘ノ可能ナ範圍、其他運賃等、色々ナ事
情モゴザイマスガ、大體埋藏量ハ、勿論推
定デハゴザイマスガ、恐ラク二億越以上モ

アルデアラウト云フコトガ、調査ノ結果判
明シテ居リマスカラ、將來増加致シマスル

鑛石ノ供給ニ付テ、敢テ不安ガアルト云フ
コトハナカラウト思ヒマス、ト申シマスノ

ハ先程田島委員モ仰シヤイマシタヤウニ、
所謂支那、南洋、或ハ濠洲モ、其一部分ノ

中ニ入リマスガ、此方面ノ鑛石ト云フモノ
ハ、大部分日本ニ於テ利用スル以外ニ於テ
ハ、外ノ國ニ於テ利用スルト云フコトハ、
殆ド不可能ナ實情デゴザイマスカラ、假ニ
二億越ノ鑛石ニ致シマシテモ、相當量ノ物
ヲ今後毎年相當期間供給ヲ受ケルト云フコ

トハ、困難デハナカラウト思ッテ居リマス
○田島委員 一寸更ニ今ノ事デ伺ッテ置キ
マスガ、其二億ト申シマスノハ、支那、南
洋兩方包含シテノ話デアリマスカ

○新倉政府委員 左様デゴザイマス

○田島委員 ソレデハ支那ト南洋——詰リ
新嘉坡方面トニ分ケマス、ドウ云フ比例
ニナリマスカ

○新倉政府委員 此埋藏量ノ詳細ニ付キマ
シテハ、申上ゲナイ方ガ適當デヤナイカト
云フ風ニ考ヘテ居リマス

○田島委員 ソレナラバ其點ハソレヲ伺フ
コトヲ止メマシテ、次ハ製鋼原料トシテ、
鋼ヲ造リマス原料トシテ供給サレル、屑鐵

ノ問題デアリマスガ、此問題ニ付テハ、森田
委員カラ屢、質問ガアッタノデアリマスガ、
私ハ結論ダケヲ一寸政府委員ニ伺ッテ置キ

タイト思フ、屑鐵ト云フモノ、供給ハ、日本
ノ製鋼業ノ進歩ニ伴ッテ、サウ困ラナイ程度
ニ行ク見込ガアリマスカ、或ハオ先眞暗デ

唯成行ヲ見テ居ルト云フダケノコトデアリ
マスカ、其點ノ御見込ダケヲ、是ハ別ニ政
府當局ノ責任デハアリマセヌカラ、御遠慮

ナシニ御答ヲ願ッテ宜イト思ヒマスガ、御見
込ダケヲ伺ッテ見タイト思ヒマス
○新倉政府委員 屑鐵ノ供給ニ付テノ御質

デ問ゴザイマスガ、最近ノヤウニ急激ニ鋼
材ノ需要ガ増加致シマシテ、此鋼材ノ需要
ニ應ズル爲ニ、出來ルダケノ増産ヲスルト
云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、技術的ニ

見マシテモ、出來ルダケ「スクラップ」ヲ、所
謂屑鐵ヲ使ッテ、ヤッテ行クト云フコトガ、
生産量ヲ増加スル上ニ於テ、極メテ適切デ

アリマス關係上、最近ノ屑鐵ノ使用量ト云
フモノハ、鋼材ノ生産或ハ需要ノ激増ニ伴
ヒマシテ、非常ニ多イノデゴザイマス、數

字ヲ申上ゲマスレバ、昨年ニ於テ輸入サレ
マシタ物ガ、大體百四十萬位デゴザイマシ
テ、是ハ近年ニナイ多量ノ輸入デアリマス、

然ラバ今後更ニ是以上ニ、ドン／＼屑鐵ノ
供給ヲ受ケ得ルカト云フ點ニナリマス、
御承知ノヤウニ屑鐵ト云フモノハ、外國デ

要ラナイ「スクラップ」ヲ輸入スルノデゴザ
イマスカラ、外國ニアリマス以上ハ、値段
ノ關係モゴザイマスガ、或ル程度ハ輸入シ

得ルト考ヘマスガ、之ニ付キマシテモ最近
ノヤウナ急激ナ需要ノ増加ガアッタ場合ニ、
全然支障ナシニ輸入サレルカドウカト云フ

コトハ、或ル程度考慮ヲ要スルカト考ヘマ
ス、ソコデ最近熔鑛爐ヲ認可スル際ニハ、
此點モ十分考慮シマシテ、出來ルダケ内地
ノ熔鑛爐ヲ使ッテ、而シテ此熔鑛爐カラ出マ

シタ銑鐵ヲ以テ製鋼ヲ行フ、即チ屑鐵ヲ使
ハナイデ、所謂鑛石法デ出來ルダケ銑鐵ヲ
澤山ニ使ヒマシテ、製鋼ヲスルト云フ方針
ヲ取ッテ、熔鑛爐認可ノ際ニモ、成ルダケ屑

鐵ノ使用量ノ少イ方法デ、製鋼ヲスルト云
フ方法ニ進マセルヤウニ致シテ居リマス
○田島委員 是ハ餘計ナ事デアリマスガ、

今ノ御説明デ一應ハ諒承致シマスケレドモ
併シ鑛石法ニ依ルト云フヤウナコトハ、ド
ウセ不經濟ニナルコトデアリマスカラ、屑

鐵ヲ手ニ入レルト云フコトノ如何ニ依ッテ、
日本ノ製鋼業、詰リ通俗ノ言葉デ言ヒマス
ト鋼デスガ、其製鋼業ノ成功スルカ否カ、

或ハ外國ニ對シテ競争ガ出來ルカ否カ、輸
出ガ出來ルカ否カト云フノハ、其點ニ繫ッテ
居ルヤウニ思フノデアリマス、是ハ何レ外

務大臣ガ後刻出席ニナルト云フコトデアリ
マスカラ、其時ニ問題ヲ保留シタイト思フ
ノデアリマスケレドモ、兎モ角屑鐵ヲ輸入

スルコトガ、今ノ通商關係ヲ圓滑ニスル
上ニ於テ、非常ニ役ニ立ツト云フヤウ
ナ場合ガアリハシナイカ、詰リ屑鐵ハ

出來ルダケ外交手段ニ依ッテ、餘計
輸入スルコトニ努メルト云フコトガ、
經濟的ニ必要デアリマス、只鋼ヲ出シサヘ
スレバ宜イト云フコトハイケナイ、成ベク

安イモノヲ出サナクテハイケナイノデアリマスガ、其點ニ付テ商工省ハ、今ドウ御考ヘニナデ居ルカト云フコトヲ伺フノデハアリマセヌガ、一層ノ努力ヲサレテ、次ノ議會アタリデハ、斯ウ云フ手配ガ付イタト云フコトノ御答ガ出來ルヤウニ、今日カラ御盡力ヲ希望シテ置キマス、次ニ私ノ伺ヒタイコトハ、先般商工省デオヤリニナツタ銑鐵ノ値下ノ問題デアリマス、此問題ハ同僚ノ田尻委員ガ豫算委員會デ、相當細カナ質問ヲ商工大臣ニ試ミテ居ラレマスノデ、私ハソレト重複シタコトヲ伺フ譯デハアリマセヌ、又之ヲ政治的ニ論ジテ、ドウシヨウト云フ意味デハアリマセヌガ、此屑鐵ノ値下ノ實際ノ遺方、又其結果如何、結果如何ト云フコトヲ申スノハ、最近ノ新聞ノ報道ニ依ルト、例ヘバ滿鐵ガ反對シタノデ、遂ニ値下ヲシタノハ日鐵獨リデ、日鐵ガ背負込シテ、梟ヲ付ケタノダト云フヤウナコトヲ聞クノデアリマス、日鐵ハ政府ガ大株主デアッテ、其損ハ政府ガ餘計背負フノデアルカラ宜イデアリマセウガ、果シテ滿鐵ガ之ニ應ジナカタカドウカ、丁度對滿事務局ノ方モ見エテ居ルカラ、サウ云フ關係ヲ伺ヒタイ、ソレカラハ是ハ言フマデモナク、鐵ノ取引ハ他ノ品物ノ取引ト同ジヤウニ、

先物取引ガ非常ニ多イノデアリマス、先物ヲ約定シテシマツテ居ルノヲ、値下ゲテドウ云フ效果ガアツタカ、詰リ商工省ハ或ル特定ノ、私ナラ私ガ、先物契約ヲ或ル銑鐵會社ト致シテ居リマス、日鐵ナラバ日鐵ト先物契約ヲ致シテ居ル、其先物契約ニ干涉ト言フト言葉ガ惡イカモ知レマセヌガ、干涉シタヤウナ結果ニナツテ、個人ノ田島ガ利益ヲスルヤウニ御取計ヒニナツタ趣旨ハ何處ニアルカ、結果ニ付テ伺フト云フノモ、サウ云フ意味ノコトヲ伺フノデアリマスガ、兎ニ角實際上ノ御説明ダケヲ伺フテ置キマス

○小島政府委員 此一月カラ三月マデノ銑鐵ノ價格ニ付テ、御尋ガゴザイマシタガ、私共トシテモ、アノヤウナ結果ニ相成ッタコトハ、實ハ満足トハ思ッテ居リマセヌ、實ハ私共ト致シマシテハ、日鐵ノ使命モゴザイマスノデ、出求ルダケ從來アツタ銑鐵ノ共販ノ建値ハ、引上ゲナイデ済ムナラ引上ゲズニ置キタイ、ドウシテモ引上ゲル必要ガアリマセンラバ、餘程慎重ニ致シマシテ、ドウシテモ引上ゲナケレバ、事業ガ困難デアル、或ハ他ノ需給關係カラ見テ、此引上ヲスル必要ガアルト云フナラバ、最少限度ニ致シタイト希望シテ居リマシタ譯デス

ガ、遂ニ一、三月ノ銑鐵ニ付キマシテハ、共販ニ於テハ年末大幅引上ノ建値ヲ發表致シマシテ、日鐵モ大體サウ云フ建値ヲ發表致シマシテ、日鐵モ大體サウ云フ建値ノ下ニスルト云フコトニ相成デ參リマシタ、其爲ニ如何ニモ一旦先物ノ契約ヲシタモノヲ、後ニナツテ値ヲ引下ゲルト云フ問題ニナツタノデアリマス、サウシテ此建値ヲ引下ゲルニ付テハ、日滿ノ兩會社ハ、從來トテモ出來ル限り協調致シマシテ、銑鐵ノ供給ニ努メテ參リマシタノデ、一、三月物ニ付テモ出來ル限り日滿會社ノ協調ヲ、期待シテ居タノデアリマスガ、伺分ニモ一、三月物ニ付テハ既ニ日鐵、滿洲會社共ニ、一應ハ共販會社ノ建値ヲ引上ゲルコトニ協定ガ出來テ居リマシタノデ、其應急ノ措置ヲ講ズル場合ニ付テハ、必ズシモ日鐵ノ希望スルガ如キ結果ニハ參リマセヌデシタ、其結果四十七圓ナリ、又製鋼用ニ付テハ四十八圓五十錢ト云フ建値ニ改訂致シマスニ付テハ、此間ニ日鐵、滿鐵、本溪湖トノ間ニ、必ズシモ同一ノ基礎ノ下ニ行ハレナカタト云フ結果ニ、相成ッタ次第ゴザイマス、四月以降ニ付テハ御質問ゴザイマセヌデシタガ、出來ルダケ日滿兩會社ノ、協調ヲ保ッ

テ行クヤウナコトニ相成ルコト、期待シテ居リマス、ソレカラ先物契約ヲ致シマシタモノヲ引下ゲタガ、問屋其他ノ關係ハ、如何ナルコトニ相成ッテ居ルカト云フコトデアリマシタガ、是ハ共販會社ニ於テ出來ルダケ今度ノ引下ノ趣旨ガ徹底スルヤウニ、問屋其他ニモ通達致シマシテ、大體其趣旨ノ下ニ、消費者關係ニ於テモ、相當引下ノ實ヲ見タコト、考ヘテ居リマス

○田島委員 大體ハ了解致シマシタガ、サウスルト四月以降ニ付テハ、滿洲モ日鐵ト同一歩調ヲ取ルヤウニナルノデアリマスカ、ソレトモ其點ニ付テハ、マダ決定スル所ハナイノデアリマスカ

○小島政府委員 此四月以降ノ銑鐵ノ共販建値ノ問題ニ付キマシテハ、一、三月物ニ付テ引下決定ガアリマシタ直後、關係會社、關係省等ガ集リ、協議ヲ進メマシテ、販賣ノ組織竝ニ四、六月ノ建値其他ノ事ヲ包括致シテ、目下切角協議ヲ進メテ居ルノデアリマス、マダ結論ハ出テ居リマセヌガ、日滿兩國ノ經濟關係ニ鑑ミマシテ、日滿兩國ノ銑鐵ノ値段ハ、成ルベク同一ノ事情ニ致シタイト考ヘテ居リマシテ、其意味ニ於テ關係會社ニ於テモ、協議ヲ進メテ居ル次第デアリマスガ、マダ決ッテハ居リマセヌ

○田島委員 是ハ甚ダ立入ッテ御尋デ、政府

委員トシテモ御答辯ニ御困リカモ知レマセ

ヌガ、御困リデアルナラバ、御困リニナラ

ナイ程度デ宜シウゴザイマスカラ、伺ッテ置

キタイノデアリマス、一體滿洲鉄ト云フモ

ノハ、實際ニ於テ日本鉄ヨリモ、幾ラカ格

安ニ出來ルノデアリマスカ、ソレトモ同値

若クハ高クナルノデアリマスカ、詰リ熔鑛

爐ノ所ニ於ケル其生産費、ソレヲ其日滿ノ

比較ダケデ宜シイノデスガ、ドツチガ高クテ、

ドレ位ノ差ガアルカト云フコトデ宜シイノ

デスガ、若シ御話出來ルナラ伺ヒタイシ、

出來ナケレバ強イテ御尋致シマセヌ

○川越政府委員 内地側ト滿洲側ノ鉄鐵ノ

生産費ガ幾ラデアッテ、下ノ程度マデ高イカ

安イカト云フ數字的ノ的確ナル説明ハ、私

ハ甚ダ困難ダと思ヒマス、併シ只大體ノ傾

向ヲ申上ゲルト、工場其モノニ於ケル生産

費ハ、滿洲ノ方が多少安クハナイカと思ヒ

マス、併シ工場カラ港ヘ持ッテ來ル運賃、又

向フカラ内地ヘ持ッテ來ル間ノ運賃、竝ニ關

稅ノ關係、是等ノモノヲ色々綜合シテ考

ヘマスト、内地ハ阪神渡デスガ、阪神渡ノ

生産費ト云フモノハ、是等ノ諸雜費ヲ

加ヘルト多少滿洲側ガ高クハナイカ

高クハナイカト推察サレマス、的確ナ數字

ノ所ハ分リ兼ネマス

○田島委員 詳シク伺ヒタイノデアリマス

ケレドモ、一應諒ト致シマスカラ、今ハ御

尋ハ致シマセヌ、伺ッテモ致方ガナイシ、私

ガ儲カル譯デモナイカラ、此位ニ止メテ置

キマスガ、併シ兎ニ角滿洲鉄ノ値段ト云フ

モノハ、無論御話ノ通りニ工場渡ニ於テハ、

非常ニ安クナクテハイカヌダラウト思ヒマ

ス、安クナクテハイカヌダラウト思ヒマス

ガ、一體滿鐵トシテハ——是ハ對滿事務局

ニ伺フノハ、筋違カモ知レマセヌガ、多少

御研究ニナッテ居ルカトモ思ヒマスカラ、

伺ッテ置キタイト思ヒマスガ、滿鐵トシテハ

一體鞍山製鐵、詰リ昭和製鋼所ノ製品ニ對

シテ、運賃ハドウ云フコトニシテ居ラレル

ノデアリマスカ、無論大キナ顧客デアリマ

スカラ、特約ノ運送賃ト云フモノモアリマ

セウガ、是ハ何モ昭和製鋼ニ限ッタコトハア

リマセヌ、其他ノ御顧客ニ對シテモ、大量

運搬ノモノニ對シテハ相當ノコトモアリマ

セウガ、普通ノ狀態ニ於テ、滿鐵ガ鞍山製

鐵ノ鉄鐵ヲ運搬スルノニハ、ドウ云フ待遇

ヲシテ居ルカ、若シソレガ分ッテ居レバ伺

ヒタイ

○川越政府委員 詳シイ數字ハ私ハ今存ジ

テ居リマセヌガ、大體ニ於テ滿鐵ノ運賃ハ、

自分ノ社内ノ運賃ト、全ク外部ノモノ、運

賃ト、ソレカラ自分ガ投資シテ居ル特殊會

社ノ運賃ト云フ風ニ、ソレノ色々段階ヲ

決メテ居ルヤウデアリマス、昭和製鋼所ノ

製品ニ對シマシテハ、ドレダケノ運賃ヲ取ッ

テ居リマスト云フ具體的數字ハ、分テ居リ

マセヌ

○田島委員 更ニ是ハ序デアリマスカラ

伺ッテ置キマスガ、滿洲國ニハ輸出稅ト云フ

モノガアルヤウデアリマスガ、此輸出稅ガ

鉄鐵ヤ鐵鑛ニ對シテハ、ドレ位掛ルノデア

リマスカ、ソレヲ伺ッテ置キタイト思ヒマ

ス

○川越政府委員 大體從價五分ダと思ッテ

居リマス

○倉元委員 私ハ田島君ノ御質問ニ關聯シ

テ、一寸御尋シタイノデアリマスガ、丁度

今昭和製鋼ノ問題ニ觸レテ、田島君カラ御

質問ガアリマシタカラ、此際ソレニ關聯シ

テ、私御尋申上ゲマス、私ノ御尋申上ゲマ

スルノハ、鉄鐵ノ供給ノ關係ヲ御尋スルノ

デアリマスガ、昭和製鋼ノ本來ノ事業ノ目

的ハ、鉄鐵ヲ供給スルコトニアルノデ、鋼

材ヨリモ寧ろ鉄鐵ニ重キヲ置イテ、其事業

ヲ進メテ行クコトガ、本來ノ事業ノ建前デ

アツカノヤウニ、私共ハ伺ッテ居リマシタ

ガ、其後計畫ノ内容ヲ洩レ承リマスルト云

フト、第二期計畫ト云フモノガ完成スル曉

ニハ、即チ來年カラハ、昭和十一年ニ至ル

ト云フト、八萬噸位ノ鉄鐵シカ供給ノ能力

ガナイ、其程度ノ能力シカナイト云フコト

ヲ承ッテ居ル、段々年ヲ逐ウテ第三期計畫ガ

完成スルト、鋼材ガ主トナッテ、殆ド鉄鐵ヲ

出スト云フヤウナ餘地ガナイヤウニナリハ

セヌカ、斯ウ云フヤウナ話ヲ承ルノデアリ

マスガ、果シテ然ラバ是ハ今ノ我國ノ、此

鐵國策ヲ遂行スル上カラ考ヘテ、非常ナ問

題ダと思ヒマス、日滿經濟ノ方面カラ之ヲ

考ヘマシテ、我國ノ立場ヲ考察シマスルト、

サウ云フヤウナ昭和製鋼所ノ事業ノ方針デ

アリマスルナラバ、是ハ考ヘザルヲ得ナ

イ、滿洲ハ滿洲トシテ自分等ハ勝手ニ自分

ノ事業ノ經營ヲ、有利ニ導イテ行ケバソレ

デ宜シイ、日本ノコトハ考ヘナイデ滿洲ノ

立場ノミ考ヘ、而モ其事業ハ日本ノ事業デ

アル、ソレガ若シ滿洲、支那ト云フ方面ヲ

顧客ニシテ商賣ヲスル爲ニ、事業ノ眼目ノ

目的ヲ變更スル、今マデ聞イタ話ニ依ルト、

斯ウ云フ風ニ私共ハ考ヘラレルデアリマス

カラ此昭和製鋼所ナルモノ、本來ノ事業ノ

目的ハ、ドウ云フ所ニ目的ヲ定メテ御進ミ

ニナルノデアルカ、果シテ世ニ傳ハッテ居ル

ヤウナ第二期計畫、第三期計畫ト云フヤウ
ナモノニ依ッテ、鋼材中心ノ事業ニセラレ
ト云フコトニナルト、是ハ我が帝國ノ鐵國
策ト云フモノ、上カラ考ヘテ、甚ダ遺憾千
萬ニ私共ハ考ヘル、之ニ對シテ政府當局ノ
御答辯ヲ願ヒタイ

○川越政府委員 昭和製鋼所ノ計畫ハ、昭
和九年度即チ本年度デアリマスガ、ソレデ
完成シマスルモノヲ前計畫トシテ、最近ニ
之ニ對シテ改正ヲ致シマシタノヲ、新計畫
ト致シテ居ルノデアリマスガ、前計畫ノ當
時ニ於テモ、勿論内地ニ銑鐵鋼片等ヲ供給
スルト云フコトガ、主トナッテ居ッタノデア
リマスガ、只今ノ御話デハ、銑鐵ノミヲ供
給スルヤウナ御話デアリマシタケレドモ、
前計畫ニ於テモ銑鐵並ニ鋼片ヲ、内地ニ供
給スルト云フコトニナッテ居ッタヤウデアリ
マス、而シテ只今ノ御話ノ銑鐵八萬噸ト云
フ計畫ハ、是ハ前ノ計畫デアリマス、詰リ
四十五萬噸ノ銑鐵ヲ拵ヘマシテ、鋼塊ヲ四
十萬噸造ルノデアリマスガ、銑鐵八萬噸ヲ
内地ニ持ッテ參リマシテ、鋼片ヲ二十萬噸
持ッテ來ル、是ハ前ノ計畫デ、昨年計畫ヲ改
正シマシテ、昭和十一年度ニ完成スル見込
ノ計畫ハ、銑鐵四十五萬噸ヲ六十五萬噸ニ
殖シマシタ、鋼塊ノ四十萬噸ヲ五十八萬噸

ニ殖シマシタノデアリマスガ、其銑鐵ヲ内
地ニ持ッテ來ル數量ハ、十三萬六千噸デ約五
萬噸バカリ内地ニ持ッテ來ル量ガ殖エテ居
ルノデアリマス、大體サウ云フコトデアリ
マシテ、前ノ計畫ヲ根本的ニ變更シタト云
フコト、ハ私共存ジテ居リマセヌガ、唯滿
洲ニ於テ最近非常ニ鋼材ノ需要ガ激増シテ
參ッタモノデアリマスカラ、最近ノ増產計畫
ト云フモノハ、主トシテ滿洲ノ市場ヲ狙ッ
タノデアリマスケレドモ、是ハ鋼材トシテ製
品ヲ、滿洲ナリ支那ナリニ出シマス、併シ先
程申シマシタヤウニ、内地ニ供給スル分ニ
付キマシテハ、從來ノ計畫ト違フノハ、銑
鐵ガ年ニ五萬噸バカリ殖エテ居ル譯デアリ
マス、今御話ノヤウニ、從來銑鐵ノミヲ内
地ニ供給スル目的デ出來タモノガ、俄然ト
シテ其計畫ガ根本的ニ變ッタト云フコトニ
ハ、私承知シテ居リマセヌ

○小笠原委員長代理 丁度外務大臣並ニ對
滿事務局總裁タル林陸軍大臣ノ、御出席ヲ
願ヒマシタカラ、此際成ベク質問ハ兩國務
大臣ニ對スル質問トシテ——尙ホ多數發言
ヲ求メラレテ居リマスカラ、議事進行ノ都
合上、左様ニ取計ラヒタウ存ジマス

○田島委員 私ハ兩大臣ニ對シテ、滿洲ニ
關係致シマシタ關稅問題ニ付テ、主トシテ

鐵ニ付テ質疑ヲ致シタイノデアリマス、併
シ同僚ノ小林委員カラ、日滿經濟「ブロック」
其他極メテ大體ノ議論ニ付テ、御質疑ガア
ルサウデアリマスカラ、其御質疑ガ濟ミマ
シタ後デ、私ノ質疑ヲ進行シタ方ガ便宜ダ
ト思ヒマスノデ、先ヅ大體論ノ小林君ノ質
疑ヲ、先ニ進行シテ戴キタイト思ヒマス

○倉元委員 一寸鐵ノ問題以外ニ、私ハ陸
軍大臣ニ確メタイノデス、簡單デアリマス
カラ、其前ニ一寸御許シテ願ヒマス

○小笠原委員長代理 簡單デアリマスレバ
宜シイ

○倉元委員 陸軍大臣ハ、初メテ此委員會
ニ御出席ニナッタト思ヒマスガ、過日來海軍、
陸軍兩省事務當局ノ方ニ御尋ネ申上ゲマシ
テ、大體私モ當局ノ意ノアル所ヲ諒承致シテ
居リマス、併ナガラ主管大臣トシテ、又國務
大臣トシテ、アナタニ一應私ハ確メタイト
思ッテ居ッタノデアリマス、好イ機會デアリ
マスカラ、一言ダケ御尋ネ申上ゲマス、私
ノ問題ハ「アルミニウム」ノ工業ニ付テノ問
題デアリマスガ、海軍當局並ニ陸軍當局ノ
御答辯ニ依リマスルト、大體私ノ質問ニ答
ヘラレタ要旨ハ、此工業ガ我國デ自給自足
ガ出來ルト云フコトヲ希望スル、結論ヲ申
上ゲルト、成ベク是ガ國ノ國策トシテ助成

セラレテ、國防上ノ兵器其他ノ用材ニ、自
給自足ニ依ッテ充テ得ラレルト云フ區域ニ
達スルコトヲ希望スル、サウナランコトヲ
欲スルト云フヤウナ要旨デアリマス、ソレ
デ私共ハ過日來此事ニ付テハ、此産業ノ
今ノ實際ノ事情カラ見マシテ、今日此重要
産業ヲ國家ガ多少助成ヲシテヤルニアラザ
レバ、何時マデモ幼稚ナ區域ヲ脱セナイカ
モ知レヌ、斯ウ心配シテ居ッタ譯デアリマ
ス、段々質問ヲ重ネテ行キマス、既ニ私
共ノ想像以上ニ、此事業ハ發達シテ居リマ
ス、最早外國ノ御世話ニナラナクテモ、我
國デ十分ニ其需要ヲ充タシ得ル區域ニ達シ
テ居ル、斯ウ云ヘ得ラルノデアリマス、政
府當局カラ私共ノ質問ニ對シテ、必要ナル
御調査ノ書類ヲ御提出ニナリマシタガ、其
書類ニ依ッテ此處デ調査考究致シマス、
斯ウ云フ結論ニ達スル、今我國ノ「アルミ
ニウム」ノ需要額ガ一萬噸、是ハ軍部兩當
局ノ御答辯ニ依ッテノ數字デアリマス、ソ
レデ國內ノ生産力ノ取調ニナッテ居リマス
ルモノヲ見マスルト、日本電氣興業ト云フ
會社ガ以テ、昭和九年ガ三千噸、昭和十年
度即チ今年ハ六千噸、ソレカラ日滿アルミ
ニウム「ト云フ會社ハ、本年ハナクトモ來
年ニナルト千五百噸ソレカラ住友「ア

ルミニウム」會社ト云フノガアリマス、是モ同ジク千五百瓩、ソコデ合計昭和十年度ハ、九千瓩ノ生産ガアル、斯ウ云フコトガ政府ノ御取調ニ依ッテ、確實ニナッテ居ル、而シテ現在我國ニ「ストック」ニナッテ居ル在庫品、此推定ノ數量ト云フモノガ約五千瓩、斯ウ云フ數字ガ出デ居ルノデアリマス、是ノ十年度ノ見込ハ六千瓩、斯ウナルノデアリマス、サウ致シマス、海軍當局、陸軍當局ガ此委員會ニ於テ御答ヘニナリマシタ大體ノ趣旨ト、此工業界ノ實況トハ、全ク違ッテ居ル、ソコデ陸海軍ノ今日ノ軍需用品トシテノ「アルミニウム」ノ用材ヲ御使ヒニナルノハ、總テ輸入ヲ以テヤッテ居ル、斯ウ云フ御答辯デアッタノデアリマス、ソレノ理由ト致シマシテ御答ヘニナル所ヲ承リマス、規格ガマダ十分デアライ、外國品ニ比較シテ規格ガ不十分デアル爲ニ、已ムヲ得ズ外國品ヲ使用セザルヲ得ナイノデアルト云フ御答辯ノ要旨デアル、所ガ茲ニ私共驚キマシタノハ、商工省ノ所管デアル工業試驗所ニ於テノ試験ノ成績ヲ申上ゲマス、政府當局ノ是モ御調ニ依ッテ御出シニナッタモノデス、ソレハドウ云フ風ニナッテ居ルカト云フト、外國ノモノハ寧ロ規格ガ低イノデアル、内地ノ方ガ現在御

調ベニナッタ試験済ノ成績ニ依ルト、遙ニ上位ニ在ル、其數字ヲ念ノ爲ニ申上ゲテ置キマス、外國品ハ九九%六、是ガ一番規格ノ最上モノデアアル、内地ノ製品ハ九九%六六ト斯ウナッテ、六ダケハ上位ニアル、尙ホ民間工業所ナドデ試験ヲ致シテ居リマスル成績ニ徴シマスルト、外國ノ特號品ト稱スルモノガ九九%三、内地ノハ今申ス通り九九%六六、斯ウ云フ差異ガ付イテ、而モ其含有物ノ中ノ何ト申シマス、他ノ成分デアリマス、硅素ト云フノガ内地ノモノデ言ヒマス、二六、外國ノハ〇・三、鐵ガ〇・〇六ガ内地ノデアッテ、外國品ハ〇・三デアル、此鐵ガ少イ程良イノデアアル、私共素人デ分ラナイガ、技術者ノ話ヲ聽キ、其道ノ人ノ話ヲ承ルト、此鐵分ノ少イ程良イノダ、シテ見ルト是ガ又差ガアル、ソレカラ銅ガ〇・〇一ガ内地デアリ、外國品ガ〇・〇五デアル、總テノ分析試験ノ成績ヲ見マシテモ、内地品ガ遙ニ優ッテ居ルト云フコトガ、政府ノ試験所デ調ベタ成績モ、民間ノモ一致シテ居ル、ソレニモ拘ラズ當局ハ、是ハ規格ガ吾々ノ希望スル點ニ達シテ居ナイカラシテ、是ハ一々外國ノモノヲ輸入シテ、其輸入ニ依ッテ需要ヲ充タスノ外ハナイ、斯ウ云フ御答辯デアルハ甚ダ國防

上カラ、陸軍大臣トシテ又國務大臣トシテ御考ヘ下サイマシテモ、甚ダ不條理ナ御考デハナイカト思ヒマス、成ベク自給自足ニ依ッテ、サウシテ一朝事有ル時モ、外國ノ供給ヲ仰ガナクテモ、十分ニ事足ルト云フ状態ニ其産業ヲ置クト云フコトガ、アナタ方ノ何時モ仰シヤル國防上ハ、唯兵隊ガ強イダケヂヤイケナイ、銃後ノシッカリシタ準備ガ無ケレバ、完全ナル國防ハ充實シ得ナイ、斯ウ云フコトハアナタ方ノ、常ニ國民ニ呼掛ケラレテ居ラレマス所ノ、重要ナル點デアリマス、サウ云フ見地カラ考ヘマシテモ、此産業ハ何處マデモ内地デ以テ供給シ得ラレ、十分其需要ヲ充タシ得ラレ、殊ニ之ヲ助成シ、發達セシムルト云フ御考ニナルコトガ、當然デアラウト思フノデアリマス、デアリマスカラ陸軍、海軍當局ハ、此事實ニ徴シテ、此産業ガ他ノ所管省デアアル商工省其他ノ關係ト陸海軍兩省ノ關係ニ於テ御考ニナッテ、當然是ハ國策トシテ内地ノ物ヲ使用スベキモノデアリ、此助成ヲ爲スベキモノデアアル、斯ウ云フ風ニ御考ニナルコトガ、至當デアラウト私ハ考ヘル、之ニ對スル御答辯ヲ願ヒタイと思ヒマス

テ、大體ノ意見デアアル自給自足ヲ希望スルト云フ點ニ付テハ、全ク御同感デアリマス私ガ今マデ聞イテ居リマス、所デハ矢張今御話ノ通り、内地ノ製品ガ遺憾ナガラ、マダ規格ニ達シテ居ラナイト云フコトデ、已ムヲ得ズ輸入ニ俟タナケレバナラヌト云フコトデアリマスガ、今御話ヲ聽イデ見マス、其事ノ必要ハ全然無イト云フ御話デアリマス、此點ニ付テ一應私共ノ方デモ、モウ一應研究シテ見マセヌト、ソレガ全般的ニサウ云フコトガ云ヘルカドウカ、私共ガ今マデ現ニ聞イテ居リマス所デハ、内地ノ物ハドウモ規格ガ十分デナイト云フコトヲ聞イテ居ルノデアリマス、尙ホ其點ハ能ク調ベテ見ルコトニ致シマス、大體ノ御趣意ニ付テハ御同感デアリマス

○倉元委員 軍ノ當局トシテモ自給自足ニナルコトハ希望スル所デアアル、全ク趣旨ニハ賛成デアアル、斯ウ云フ御趣旨ヲ承リマシテ、安心致シマス、然ルニマダ規格ノ點ニ於テ、御疑ノアルヤウナ御言葉ヲ承ルコトハ、甚ダ遺憾デアリマス、茲ニ政府ガ責任ヲ以テ御提出ニナッテ居ル材料ト云フモノヲ、信用ガ出來ナイ位ナラ、此委員會ナドデ審議ヲ進メルコトハ無駄ニナリマス、矢張是ハ一ツ陸海軍トモ能ク御考ニナッテ、御

○林國務大臣 「アルミニウム」ノ問題ニ付

答ニナライトイケナイト思フ、總テ私共ハ此材料ニ依ッテ、判斷シテ行キツ、アルノデブリマスガ、ソレヲ信用スベカラザルモノ、如ク——同ジ政府ノ部内カラ出ス材料ガ、左様ニ商工省デハ違フ、ソレハ當テニナライゾト云フヤウナ御言葉デアッテハ、何處ヲ信用シテ宜イカ分ラナイ、是ハ一ツ御答ヲ願ッテ置キタイト思ヒマス

○林國務大臣 出テ居リマス調査ガ、何處デ出來タモノデアルカ、ドウ云フモノニ依ッテヤッタモノデアルカ、能ク分リマセヌガ、大體アナタノ御話ノ通りノヤウナ成績デアルサウデアリマス、併シソレガ全般的ニサウ云フ風ニ言ヘルカドウカト云フコトニハ、多少疑問ガアルト云フコトデアリマスガ、尙ホ能ク是ハ調査シテ見マス

○倉元委員 是デ私ハ申上ゲル事ハアリマセヌガ、併シ道途傳フル所ノ風説デアリマスカラ、私共ハ信ジマセヌガ、是ハハッキリシタ問題デ、何處マデモ國民ト一致協力シテ、斯ウ云フ産業ハ助成シテ、外國ノ世話ニナラナクテモ宜シト云フ所ニマデ、持ッテ行カナケレバナラス、染料ニシテモ、鐵ニシテモサウデス、染料ノ如キハ私ガ先般此委員會デ軍ノ當局ノ方ニ、能ク今日ニ至ッタ徑路ヲ申上ゲテ此處マデ國ガ助成ヲシテ

來タノデアルト云フコトヲ申上ゲ、ソレト同時ニ是ハ變ナ所ニ引懸カラナイデ、國民ガ一致シテ此産業ヲ助ケルト云フ心持ニナラナケレバナラス、然ルニ滿洲方面ヘ「アルミニウム」工業ノ計畫ガアル、陸軍ノ方デハ其工業ヲ助ケンガ爲ニ、内地ノ方ヲ當分抑ヘテ置カネバナラス、斯ウ云フヤウナ御考ガアルカノヤウナ風説ガ、傳ハッテ居リマス、果シテ然ラバ、ソレハ怪ジカラヌ話デアル、滿洲ニ對シテ三千年、少クトモ神功皇后以來二千年來ノ此大和民族ノ此精神ヲ貫キ得タ今日ニ於テ、何故ニ尙ホソレダケノ斟酌ヲシナケレバナラスノデアアルカ、私共ハドウシテモ其邊ノ所ガ解シ得ラレヌ、斯ウ云フコトヲ陸軍大臣ハ御聞キニナッテ居リマセヌカ

○林國務大臣 只今ノヤウナ御話ハ、初メテ承ルノデスガ、サウ云フヤウナコトヲ陸軍ガ考ヘテ、内地ノ産業ヲ壓迫スルトハ私ハ考ヘマセヌ

○小笠原委員長代理 原君ヨリ極ク簡單ナ質問ヲ求メラレテ居リマスカラ之ヲ許シマス、極ク簡單ニ願ヒマス

○原委員 陸軍大臣ニ御同致シマスガ、先日本會議ニ於キマシテ、蔭山君ノ質問ニ對シテ、陸軍大臣ハ斯様ナ答辯ヲ致サレテ居

リマス、蔭山君ノ戰時及平時ニ於テ、今日ノ我國ノ鐵ノ供給ハ、十分デアアルカドウカト云フ質問ニ對シテ陸軍大臣ハ「只今戰時ノ鐵供給ノ確保ニ關シマシテ、所謂貧礦ノ處理法デアルトカ、或ハ砂鐵精鍊法デアルトカ、或ハ滿鮮ニ於キマスル探礦ノ實施デアルトカ、或ハ日本製鐵株式會社法第九條ニ基キマスル鑛石ノ貯藏等ノ研究準備ニ依リマシテ、只今ノ所國防上平戰兩時ヲ通ジマシテ、著シク不安ヲ感ジナイト云フ狀態ニアリマス」斯ウ答辯セラレテ居ルノデアリマス、然ルニ先日來此委員會及其他ノ機會ニ於ケル質問應答ニ依リマシテ、今日ノ我國ノ鐵ノ需給關係ハ、マダ國策ノ根本デアリマスル所ノ自給自足ノ域ニハ、達シテ居ナイト云フコトハ、頗ル明瞭デアリマス、然ルニ此陸軍大臣ノ御答辯ニ依リマスルト、戰時ニ於テモ自給自足ノ點ニ於テ、甚ダシク不安ヲ感ジナイト云フ風ナ、御答辯ノヤウニ伺ヒマスルガ、是ハ何カノ間違デハナイカト存ジマスルノデ、此機會ニ於キマシテ、軍部ニ於テハ我國ノ鐵ノ供給ガ、果シテ自給自足ヲ爲シ得テ居リマスカ、或ハ又自給自足ハ未ダ確保シテ居ナイガ、他ノ方法ニ依ッテ不安ヲ感ジナイト云フ意味デアリマスルカ、此點ヲ明瞭ニシテ

戴キタイト思ヒマス

○林國務大臣 先日御答申シタ所ハ、詰リ御話ノヤウナ四ツノ方法ニ依ッテ、戰時ノ供給ト云フコトニ付テモ、所謂國防上著シキ不安ヲ感ジテ居ラナイト云フコトヲ、申シタノデアリマシテ、只今ノ所デハ十分ダトハ無論考ヘテ居リマセヌガ、大體戰時ノ需要ト云フモノハ、凡ソ計算ヲシマシテ、ソレニ對シテドウカ斯ウカ行ケル、將來ニ付テノ各種ノ希望ハ有ッテ居リマスルケレドモ、現在ノ所デモ全ク行詰ッテ居ル狀態デアハナイ、斯ウ云フコトヲ御答申シタノデアリマス、詳細ノコトハ私カラ今一寸申上ガ兼ネルヤウナ次第デアリマス

○小林委員 議事進行ニ付テ一言致シマス、本日ハ兩大臣御忙シイ所ヲ御出席願ッタノデアリマシテ、民政黨ノ田島君ハ最モ紳士的ニ、先ヅ過日ノ質問ニ關聯シテ、私ニ先ニ質問サセルト云フコトデアリマシタ、然ルニ委員長ハ簡單デアルカラト云フコトデ、數名ニ御許シニナルト云フコトハ、甚ダ議事ノ進行上遺憾デアルト思ヒマス、ドウカ左様ナコトノナイヤウニ御願致シマス、諸デ實ハ政友會バカリデ發言スルト云フコトニナリマシテモ、不都合デアリマスカラ、成ベク私ノ質問ハ簡單ニ致シマ

ス、過日大藏當局ニ御伺致シマシタノハ、私ハ、此關稅ノ改正ヲ御ヤリニナルニ付キマシテハ、殊ニ滿洲ノ鐵ノ問題モ、此度ハ出テ居ルノデアリマスカラ、日滿ノ關稅ヲドウスルカ、此經濟關係ヲ將來ドウシテ行クカト云フヤウナコトニ付キマシテ、政府ノ方ニ於カレテ、何時デモ機會ヲ以テ、大體ノ意嚮ヲ御示ヲ願ヒタイト云フヤウニ、要求ヲ致シマシタノデアリマス、併シ是ハ大藏省一省ダケデ、御答ノ出來ル問題デアリマセヌカラ、陸軍大臣ナリ外務大臣ノ、御都合ノ好イ時ニ御出席ヲ願フテ、簡單ナ御伺ヲシタイト云フコトニナッタノデアリマス、實ハ過日モ一寸申上ゲタノデアリマスガ、日滿ノ經濟ニ付テ、之ヲドウスルカト云フコトニ付キマシテハ、日滿統制經濟ト云フヤウナ書物モ、相當數多ク出テ居リマス、又新聞雜誌等ニモ、之ニ關シテ色々意見ガ掲ゲラレテ居ルノデアリマスガ、隨テ國民ハ去就ニ迷ッテ居ルノデアリマス、過日或ル新聞ニモ、私ト同様ナ意見論文トシテ出サレテアリマシタガ、東京朝日ト思ヒマシタガ、是ハ政府ノ責任ニ於カレテ、何トカ國民ニ對シテ、政府ノ方針ヲ御示シニナル、必要ガアルノデハナイカ、重大ナ問題デアリマスカラ、內閣全體ノ責任、此內閣ノ政

策トシテ、十分御認メニナッテ、國民ニ方針ヲ御示シニナル必要ガアルノデハナイカ、既ニ今日ハ其必要ノ時期ガ來テ居ルノデハナイカ、斯様ニ思フノデアリマス、滿洲國ノ建國以來、大變順調ナ發達ヲ致シテ居リマシテ、滿洲國ノ爲ニモ洵ニ御喜バシイコトデアリマスシ、日本帝國ニ於キマシテモ、洵ニ慶賀ノ至リデアルト存ジマスガ、此健全ナル發達ヲ致シマス同時ニ、滿洲ノ國內ニ於テ、色々ナル企業ガ起ッテ居ル、只今倉元君カラ御發言ノアリマシタ「アルミニウム」工業ノ如キハ、日本ニハ既ニ三ツモノ大キナ會社ガアリマシテ、サウシテ日本デ製造シタ物ヲ、滿洲國ヘ賣ルヤウニシタイ、滿洲國カラハ日本ガ原料ヲ取ッテ、製造スルト云フ建前ニナレバ、私ハ一番都合ガ好イノデハナイカト考ヘテ居ルノデアリマスガ、今日デハ既ニ百幾ツノ企業ガ新興シテ居リマス、是ガ段々完成ヲシ、成功シテ來タ時ニハ、一體日本ノ産業ニ對シテ、ドウ云フ影響ヲ及ボスカ、只今デハ鋼材ニ致シマシテモ、「セメント」ニ致シマシテモ、綿布デアルトカ、藥品デアルトカ、是等ヲ滿洲デ日本品ヲ買ヒマスガ、隨テ日本ノ勞働力ガ滿洲ノ市場ニ出ル結果ニナリマスガ、是等ハ總テ滿洲デ製造工業ガ盛

ニナッテシマッタ時ニハ、日本ノ産業ト云フモノハ、是ハ立行カナナイ、日本ノ此種ノ工業ト滿洲デヤリマス所ノ此種ノ工業トノ「コンディション」ヲ比較シテ見マスと云フト、滿洲ノ方デハ原料ノ輸入ニ對シマシテモ、勞銀ガ安ク出來ル、勞働賃銀モ安イ譯デアリマス、又稅制ガ未ダ完全デアリマセヌカラ、營業收益稅ニ致シマシテモ、資本利子稅其他ノ稅金ニ致シマシテモ、日本ノ此種ノ事業トハ、非常ニ比較ニナラヌ程安イ、デアリマスカラ日本ノ資本家ガ滿洲ニ行キマシテ、現ニ日本デヤッテ居ル工業ト、同ジヤウナ物ヲ造リマシタナラバ、是ハ大變困ル、併ナガラ此少數ノ資本家ハ儲カリマスガ、日本ノ産業界、日本ノ勞働ト云フモノハドウナリマスカ、是ハ餘程私ハ考ヘナケレバナラヌ問題デハナイカと思フノデアリマス、マア外國デ、支那デ色々仕事ヲシテ居リマス、貿易關係ノ密接ナル各國ヲ見マシテモ、日本ガ今日滿洲デヤッテ居ルヤウナコトヲヤッテ居ル國ハナイヤウニ思ヒマス、英吉利ガ印度ニ於テ、或ハ又亞米利加ノ石油ヲ上海邊リヘ持ッテ來テ精製シテ居ル、是ハ母國ノ亞米利加ノ內國ノ産業ニハ、何等影響ハナイ、又瓜哇ノ砂糖ニ致シマシテモ、之ヲ香港ニ持ッテ來テ製糖ヲ

致シテ居リマス、是モ母國ノ産業ニハ何等影響ガナイ、日本ノ今日滿洲デヤッテ居リマス此事業ノ如キモノハ、今申上ゲマス通り、是ガズンノ成長シテ行キマシタナラバ、日本ノ産業モ倒サレシマフ、丸デ自分ノ金デ自分ノ國ノ産業ヲ倒シテシマフト云フ結果ニナルノデアリマスガ、是等ノ點ニ關シテ、政府ハ將來ドウ云フ風ニ指導シテ行カウト云フ御考デアルノデアリマセウカ、吾々ハ滿洲ト日本トノ關係ハ、外國トハ申シナガラ、特殊ノ關係ニアルコトハ勿論デアリマスカラ、出來ル限りハ日本ニ必要ナ品デ、外國カラ買入レルモノニ付テハ、外國デ買フヨリモ滿洲カラ買ヒタイ、又滿洲ニ於テモ必要ナ品ハ、他ノ外國カラ買フヨリハ、日本ノ品ヲ買ッテ貰フト云フ所ニ、日滿ノ經濟ノ根本ガアルノデハナイカ、日本デ出來ル品ヲ滿洲デドンノ作ルト云フコトニナレバ、此根本ノ原則ハ壞ハサレルコトニナリハシナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、段々御伺申上ゲタイノデアリマスガ、此點ニ付テ政府ノ御答辯ヲ煩ハシマシテ、サウシテ私ノ質問ヲ進メタイト存ジマス

○林國務大臣 私ハ對滿事務局ノ役人トシテ、茲ニ大體考ヘテ居ルコトヲ申シマスレ

バ、御説ノヤウニ滿洲ニ事業ヲ興シテ、内地ノ事業ニ非常ナ迷惑ヲ及ボスト云フコトハ、是ハ相當ニ考ヘナケレバナラヌ問題デアラウト思ヒマス、今日所謂滿洲デ經濟上ノ會議ト云フヤウナ事柄モ、サウ云フヤウナコトヲ考ヘテ居ル、要スルニ滿洲ニ於ケル産業ノ統制ト云フコトニ付テ、相當ニ考ヘヨウト云フノハ、ソレ等ノ點ヲ考ヘベキ問題トシテ指シタルモノト思ヒマス、ソレデ無暗ニ内地ノ産業ヲ壓迫スルト云フヤウナコトハ、適當デナイト思ヒマスガ、併シ又向フニ於ケル所ノ諸般ノ事情ガアリマシテ、斯ウ云フヤウナ時ニ、滿洲ニ於テ國家的見地、或ハ國防ノ關係上、是非斯ウシナケレバナラヌト云フ、其點ヲ考慮シテ、ソレ等ノ點ヲ研究スル爲ニ、今經濟上ノ委員會ナリ、會議ナリヤッテ居ル次第デアリマス、サウ云フ點ニ付テモ相當考慮シテ、行キタイト思ッテ居リマス

○小林委員 御答辯有難ウ存ジマシタガ、日本ト滿洲トノ此關稅ノ關係デアリマス、只今申上ゲマシタ日本トノ間ニ、原料品ヲ滿洲カラ取ツテ、日本ノ既製品ヲ滿洲ニ送ルト申シマスコトヲ、最モ都合好クヤルニハ、ドウシテモ關稅政策ニ依ルト云フコトガ、主ナル點デアルト思ヒマス、現ニ關東州

トシテ特惠關稅ガ設ケラレテ居リマシテ、此點ハ好都合ニ參リマスガ、滿洲國ノ他ノ部分トハ關稅ノ上ニ日本ニ對スルノト、他ノ諸外國ニ對スルノト、何等異ツタ點ガナイノデアリマス、隨テ今申上ゲマシタ目的ヲ達スルニ於テハ、非常ニ都合ガ惡イト思フ、御承知ノ如ク滿洲國ハ門戶開放、機會均等ト云フコトヲ「モットー」ト致シテ居リマシテ、諸外國ト日本トガ同一ノ待遇ヲ關稅ノ上ニ於テ受ケテ居ルト云フコトニナルノデアリマスガ、此現在ノ關稅ヲ、將來ドウヤッテ行クカ、或ハ滿洲ト日本トノ關稅ヲ、關東州ト日本ガ大正八年デアリマシカ、陸上運送ニ關シテ、特惠關稅ヲ作リマシシタヤウナ風ニ、滿洲ト日本ノ間ノ關稅ノ調節ヲ致シマス場合ニハ、何レ外國ガ抗議ヲ申込ムニ違ヒナイ、又現ニ日本ガ世界ノ各地ニ於テ、非常ニ高率關稅ニ惱マサレテ居リマス點ヲ、一層「エンカレーヂ」スルヤウナ事態ガ、起キハセヌカト云フコトハ心配サレルノデアリマスガ、是等ノ點ニ付キマシテ、外務大臣ハドウ云フ風ニ御考ニナッテ居リマスカ

○廣田國務大臣 滿洲ノ產品ガ日本ニ參リマス際ノ關稅上ノ待遇ハ、是ハ只今御述ニナリマシタ通りニ、外國品ト同等ニ扱ハレ

テ居ルノデアリマス、之ヲ將來如何ニスルカト云フ問題ハ、是ハ現在日本ガ諸外國ト結ンデ居リマスル通商條約ガ、大部分無條件ノ最惠國待遇ヲ與ヘルコトニナッテ居リマスノデ、滿洲國ノ產品ニ對シテ特別ノ扱ヲスルト云フコトハ、甚ダ重大ナ影響ガ、外ノ國ニ及ブモノデアラウト思ヒマス、隨ヒマシテ其點ハ、追々滿洲國ト日本ノ有無相通ズル品物ノ狀況ニ依リマシテ、或ハ適當ニ處理シ得ルヤウナモノモ、生ジテ來ルダラウト思ヒマスガ、全般的ニ滿洲ノ方カラ參リマスル品物ニ、特別ノ關稅上ノ待遇ヲ與ヘルト云フコトハ、是ハ相當其時期マデニ達スルニハ、日本デノ準備ノ工作モ要リマスシ、相當機關モ設ケラレナケレバナラヌコトデナイカト思ッテ居ルノデアリマ

コトデアルト思フノデアリマスガ、併ナガラ現ニ英吉利ノ「クラウシ・コロニー」ニ於キマシテハ、日本品ニ對シテ數量ノ割當ト云フコトヲ致シテ居ル、成程是ハ條約上カラ見マシテ、必シモ形ノ上ニ於テハ責メルコトハ出來ヌカモ知レヌケレドモ、實際問題トシテハ、日本品ニ對シテハ、非常ニ差別的ノ待遇ヲシテ居ル、支那モ今申シマストリ、一方的ニ關稅ノ廢棄ヲ通告ヲシテ、ソレヲ實施スルト云フヤウナ狀態モアルノデアリマス、外國ノ市場ニ付テハ、十分慎重ナ態度ヲ執ラナケレバナリマセヌケレドモ、世界ノ斯様ナ實情ヲ振り返ッテ見マシ場合ニ、日本ダケガ常ニ條約ニ忠實デアル、戰々兢々トシテ此條約ヲ遵守シテ行クト云フヤウナ態度ハ、洵ニ遺憾ナ態度デハナイカ、斯様ニ思フノデアリマス、勿論國務大臣ガ、外務大臣ニ致シマシテモ、是ハ一言一句外國ニ影響ヲ與ヘルコトデアリマスカ

○小林委員 支那ハ近年關稅ノ一方的ノ廢棄ヲ、頻々トヤッテ居ルノデアリマスガ、私ハ今モ申上ゲマシタ通り、日滿間ノ特殊ノ事情ハ、是ハ滿洲ト諸外國トノ關係トハ、非常ニ違ヒデアリマスカラ、日本ガ滿洲トノ關係ニ於テハ、關稅ニ對シマシテモ特別ノ建前ニシテ、宜シイモノダト思フノデアリマスケレドモ、外國トノ條約ノ關係上、ソレガ出來ナイト云フコトハ、洵ニ致方ノナイ

ラ、此議會ノ御答辯ニ於テハ、最モ慎重ナル御言葉ヲ御遣ヒニナルコトハ思ヒマスケレドモ、日本ノ議會ニ於テハ、議員ハ斯様ナ意見ヲ有ッテ居ルト云フコトヲ十分御聽取ヲ願ッテ、其肚デヤッテ戴クノト、條約ハ何處マデモ忠實ニ守ラナケレバナラヌト云フ考デ、御遣リニナッテ戴クノトハ、相當將來

ニ於テ開キガ出テ來ハセヌカト考ヘルノデアリマス、滿洲ニ於キマスル所ノ日本ノ既得權、地位ト申スヤウナコトニ付テハ、茲ニ事新シク論ジマスル迄モナク、世界各國ハ實ハ皆之ヲ認メテ居ル、恐ラク日本ガ門戸開放、機會均等ト云フヤウナコトヲ申シマシテモ、眞ニ日本ガサウ云フ積リデ居ラウトハ、或ハ外國ハ思ッテ居ラヌカモ知レナイ、國家ノ存亡ヲ賭シテ、サウシテ滿洲建國ヲ援ケタ日本ト、滿洲國ガ成長シヨウガスマイガ、是等トハ殆ド何等ノ關係モナイ諸外國トノ關係ト、霄壤ノ差ノアルコトハ申スマデモナイコトデアリマス、是ハ外國人モ皆認メテ居ル、若シ今日ノ日本ノ位置ガ、英米其他ノ外國デアリマシタナラバ、日本ノ今日執ッテ居リマスヤウナ態度ハ、恐ク執ルマイト思フ、最近紐育ノ「ヘラルド・トリビューン」ニ載ッテ居リマスル「フランク・サイモン」ノ論文ニ見マシテモ、日本ガ滿洲デヤッタコトニ付テ、當然ダト云フコトヲ書イテ居リマス、フランク・サイモンハ世界ノ不安ト云フモノハ、ドウシテ之ヲ安定シ得ルカ、ソレハ經濟上ノ「デイス・アー・マメント」デアルト云フコトヲ申シマシテ、サウシテ此經濟上ノ不公平ト云フコトガ、世界ノ不安ノ原因デアルカラ、之ヲ取去ラ

ナケレバ、幾ラ色々ナコトヲ考ヘテモ、ソレハ駄目ダ、先ヅ世界中自給自足ノ來ル裕カナ國ト云フモノハ、比較的ノ話デアリマスケレドモ、英吉利ト亞米利加デアリマス、佛蘭西ガ之ニ次グノデアリマス、是等ハ現狀ヲ維持スル爲ニ、或ハ九箇國條約デアルトカ、不戰條約デアルトカ、又ハ國際聯盟ニ依ッテ戰爭防止、現狀維持ト云フコトニ極力努メテ居ルノデアリマス、然ルニ一方ニ於テ伊太利ノ「フアッショ」ニ致シマシテモ、獨逸ノ「ナチス」ニシテモ、是ハ現狀打破ナンデアリマス、是等ハ戰爭ニ趨ヘテ此現狀ヲ打破スルカ、サモナクバ永久ニ國民ガ貧苦ニ苦マナケレバナラヌカト云フ、此二途ノ一ツヲ選バナケレバナラヌノデアリマス、ソコデ「ナチス」ニシテモ「フアッショ」ニシテモ、今ア、云フ姿デ偉イ勢デ立ッテ居ルノデアリマス、日本モ亦同様デ、日本ハ現狀ニ於テ不足ヲ致シテ居ル、市場モ開拓シナケレバナリマセヌ、ソコデ隣壤地ノ滿洲ニ對シテ、之ヲ獨逸ノ「ナチス」ナリ、伊太利ノ「フアッショ」ノヤッテ居ル精神ヲ、實際ニ行ッテ居ルニ過ギナイノダ、當然ナコトダ、若シ世界ノ不安ト云フモノヲ除去シヨウト思フナラバ、英米兩國ハ、殊ニ亞米利加ハ率先シテ犧牲ヲ拂ッテ、此原料

品ニ對シテ機會ノ均等ヲ與ヘル、又金融政策ニ付テモ是等ノ國々ガ犧牲ヲ拂ッテ、初メテ世界ノ不安ト云フモノガ一掃サレルノデアルト云フコトヲ申シテ居リマス、大要デアリマスガ、日本ガ滿洲デヤッテ居ルコト、滿洲國ヲ助ケテ日滿協調、而シテ支那ニ對シテモ十分ノ援助ヲ致シテ來テ居ルト云フコトニ付テハ、是ハ當然中ノ當然ノコトダト云フコトヲ、此人ハ認メテ居ルノデアリマスガ、恐ラク諸外國ノ識者、政治家デ、之ヲ否定スル者ハナカラウト思フ、獨リ日本ダケガ斯様ナ世界ノ認識ト背馳シタヤウナ考ヲ以テ、非常ニ戰々兢々タル態度ニ依ッテ行カウト云フコトニナレバ、是ハ私ハ我國ノ將來ノ爲ニハ、洵ニ惜シイコトデアルト思フ、非常ナ慎重ナ態度デ御進ミニナルノハ宜シイガ、肚ヲ据エテ、此人ノ申シテ居リマスヤウナコトハ、世界ノ認識デアルト云フコトヲ十分我ニ於テ認識ヲ致シテ進ムノトハ、將來ニ於テ非常ナ違ヒガアルト、斯様ニ考ヘルノデアリマス、是等ノ點ニ關シマシテ、陸軍大臣ナリ、外務大臣ハ、我國ノ將來ノ立場ニ付キマシテ、ドウ云フ風ニ御考ヘニナッテ居ラレマセウカ、許ス範圍内ニ於テ、御答辯ヲ煩シタイト思ヒマス

○廣田國務大臣 只今ノ御説明ノ御趣旨ハ、大體ニ於テ尤ナ御意嚮ダト思フノデアリマス、併ナガラ日本トシテ、既ニ諸外國トノ間ニ現在條約ヲ結ンデ居リマス以上ハ、其條約ノ規定ニ直チニ違反スルヤウナコトヲ敢テスルガ得策デアルカドウカ、ソレハ日本ノ貿易全般ノ關係ヲ見テ考ヘナケレバナラヌ譯デアリマス、唯滿洲ト日本トノ關係ハ、是ハ勿論一般外國ト同視スベカラザルコトハ、言フマデモナイコトデ、將來此兩國間ノ經濟關係ガ發達シテ參リマスニ連レマシテ、或ハ或ル時機ニハ、日本ノ現在有スル通商條約ノ規定ヲ、諸外國トノ諒解ノ下ニ、改定セナケレバナラヌヤウナ時機モ來ルダラウ、御承知ノ通り通商條約ト云フモノハ、必シモ永久ノ約束デヤアリマセヌノデ、妥當ナ方法ヲ以テ之ヲ改メ得ルヤウナ時機モ、參リハセヌカト思フノデアリマス、併ナガラソレモ滿洲ノ產業ガ、十分發達セヌ中ニ、僅ナ品物ノ爲ニ特典ヲ與ヘテ諸外國トノ貿易關係、其他日本ノ關稅ノ收入高ニ却テ不利益ヲ來スト云フヤウナコトモ、考ヘナケレバナリマセヌノデ、是ハ時機ニ付テモ、又品物ニ付テモ、相當考慮ヲシテ行クベキモノデアルト思フノデアリマス、何レニシマシテモ此滿洲ト日本トノ經濟關係ハ、外ノ國トノ關係トハ全然

違ヒマスノデ之ニ對スル關稅ノ問題ハ、外務省ト致シマシテモ、外國ト關稅ノ協定ヲ致シマス場合ニハ、始終頭ニ置イテ交渉致シテ居リマス、現ニサウ云フ事實モ、是マデ一二回ハアッタノデアリマス、將來モ矢張其方針デ、参リタイト思フ次第デアリマス

○林國務大臣 只今ノ御質疑ニ對シテ、私モ今外務大臣ノ答ヘラレタノト、全ク同一ノ意見ヲ持ッテ居リマス

○小林委員 只今カラ私ノ速記ヲ御中止願ヒマス

○小笠原委員長代理 デハ速記ヲ止メテ

〔速記中止〕

○小笠原委員長代理 ソレデハ島田君

○田島委員 大體論ヲ長タラシク申上ゲルコトハ、時間ノ省略上致シマセヌガ、併シ極ク率直ニ、外務大臣及對滿事務局總裁ニ申上ゲテ、御聽ヲ願ヒタイト思フコトガアリマス、ソレハ吾々ハ黨ト致シマシテモ、滿洲國創立以來、日本ノ滿洲ニ對スル關係ヲ、如何ニシテ處理シテ行クカト云フコトニ付テ、主管ノ官廳ヲ拵ヘテ貫ヒタイ、以前ハ何處ニ主管ノ官廳ガアルカ、移民事務ハ拓務省デアル、實業關係ハ商工省ガ關與スル、其他陸海軍ノ關係ハ無論ノコトデア

リマス、或ハ外務省ノ監督權モアルト云フノデ、適從スル所ヲ知ラナイ、其結果トシテ、滿洲ニ對スル日本ノ關係ガ、ハッキリシナイ、總テノ事業ガ如何ニシテ宜イカ、適從スル所ヲ知ラヌト云フヤウナコトデアリマスノデ、滿洲問題ニ關スル主官官廳ヲ決定スルコトガ、必要デアルト云フコトヲ屢豫算委員會ナドデ、論議シタノデアリマス、其結果デモアリマスマイガ、兎モ角今對滿事務局ト云フモノガ茲ニ設ケラレマシテ、滿洲ニ關係致シマシタ仕事ヲ、責任ヲ帶ビテ遂行サレルト云フ一ツノ機關ガ、出來タノデアリマス、ソレデ將來ハ非常ニ日滿關係ガ、ハッキリ致シマシテ、嚮フ所ヲ天下ニ知ラシメルコトガ、出來ルガラウト樂ンデ居ルノデアリマスガ、ドウモ今日ニ至ル迄、マダ草創ニ屬スルノデハアリマセウケレドモ、何等ノ實際、具體的ノ現ハレモナイノデアリマス、例ヘバ只今小林君ガ質問サレタ日滿關係ノ通商上ニ付テ、ドウ云フ方針ヲ以テ進ンデ行ッたら宜シイカ、ト云フコトヲ考ヘテ見マスノニ、外務大臣トシテモ、若クハ對滿事務局總裁トシテモ、何等ソレニ對スル具體的ナ方針ヲ、國民ニ對シテ御示シナラナイヤウニ私ハ思フノデアリマス、例ヘバ關稅關係、其他ニ於キマシテモ、

外務省トシテハ、慥カ——ハッキリ記憶シテ居リマセヌケレドモ、「バルチック」海沿岸ノ「ラトビヤ」ト思ヒマスガ、サウ云フ國ト條約ヲ結バレテ、日滿支三國關係ノ問題ハ、最惠國約款ノ除外例ニスルト云フ風ナ意味ノ條約ヲ、締結サレタコトヲ伺ッテ居リマス、斯ウ云フヤウナ方針ヲ以テ英國ニ對シテモ、米國ニ對シテモ、至乃獨逸、佛蘭西ニ對シテモ御進ミニナルカドウカ、サウ云フヤウナコトニ付テ一向——是ハ外交ノ機微ニ屬スルコトデアリマスカラ、通商條約ト雖モサウ一般ニ公表スルコトハ出來ナイノカモ知レマセヌガ、一向日本國民トシテ、適從スル所ヲ知ラナイヤウナ有様デアリマス、日滿經濟「ブロック」トカ云フ此頃ノ流行言葉デ、大層俗受ケノ宜イ言葉デアリマスケレドモ、今日迄ノ實績ヲ考ヘテ見マス、何等「ブロック」ハ出來上ッテ居ナイ、寧ロ反對ノ結果ハ行ハレテ居リマス、例ヘバ滿洲ノ工業ガ發達シ、染料ガ發達スレバスル程、日本國民ノ反對ノ感情ハ強イ、先刻小林君ノ發言ノ中ニモ其事モ、現レテ居ッタノデアリマス、サウ云フヤウナコトデ、日滿經濟「ブロック」ト云フ言葉モ、宣傳ハ宜イ、大體論トシテ天下ニ呼號スルニハ、非常ニ結構ナコトデアリマセウガ、實際ハ

一向其實ガ舉ッテ居ラヌノデアリマス、ソレナラバト言ッテ、今之ヲドウナサルカト云フコトヲ、御質問申上ゲレバ、今調査研究中ト云フ御答ニ接スルニ相違ナイ、ソレデ私ハ其點ハ御尋ハ致シマセヌガ、折角日滿經濟「ブロック」トデモ申シマセウカ、日滿手ヲ携ヘテ工業上相助ケ、相倚ッテ行カウト云フヤウナ考ヲ有チマシテ、吾々微力デアリマスケレドモ、議會ニ於テサウ云フ方針ヲ以テ決メマシタ事柄デスラ、御實行ニナラナイ、是ハ私ハ對滿事務局ノ責任問題デハナイカト思フノデアリマス、又進ンデハ其監督ノ任ニ當ラシテ居ル外務大臣ノ、御考ノ如何ヲ伺ヒタイト思フヤウナ次第デアリマスガ、サウ云フヤウナ既ニ決ッタ事スラモ、實行出來ナイト云フコトニ付テ、私ハ此際疑ヲ質シテ置キタイ、尙ホ根本ノ大問題ニ付キマシテハ、今申上ゲタ通りニ、御答ハ伺ヒマセヌケレドモ、少クトモ對滿事務局ト云フモノガ、茲ニ出來マシタ以上ハ、極ク近キ將來ニ於テ、國民ニ對シテ嚮フ所ヲ知ラシメルヤウナ大方針ヲ、御決定ニナラナケレバ、事務局ヲ拵ヘタ趣旨ガ、相立タヌト思フノデアリマス、ソレヲ豫メ申上ゲテ次ノ議會ヲ待ッテ、更ニ其根本方針ニ付テ伺ヒタイト思フノデアリマスガ、差向キハ

日滿經濟關係ニ於テ決定シテ、滿洲ヲ助ケ、日本ヲ助ケルト云フ、御互ニ唇齒輔車ノ關係ヲ以テ、決定シテ事項ガ實行ガ出來ナイト云フコトニ付テ、伺ヒタイト思フノデアリマス、是カラ先ハ速記ヲ止メテ下サイ

〔速記中止〕

○小笠原委員長代理 ソレデハ速記ヲ開始

……小林サンノハ濟シタノデスカ

○小林委員 私ハ鐵關稅ノ割戻シノコトダケ濟シタノデアリマシテ、滿洲ニ關係シタ問題デハ、對滿事務局總裁ニ聽カナケレバナラヌコトガアリマス

○小笠原委員長代理 ソレデハ大山君ハ、只今ノコトニ關聯シテト云フコトデアリマスカラ許シマス

○大山委員 私ハ實ハ小林君ノ質問ノ後ニ御願ヒスル積リデアッタデスガ、田島サンノ御質問ガアリマシタノデ……今小林君カラ質問サレタ御答辯ニ對シテ、マダ少シ私ノ疑問ノ解ケナイ所ガアル、ソレハ詰リ此吾々ニ今付託サレテ居リマス所ノ關稅問題ガ、此議會ヲ通過致シマシタ場合、其影響ガ日本ト滿洲國トノ間ノ關稅問題ニ、如何ナル影響ヲ及ボスカ、ソレ等ニ付テ外務大臣竝ニ對滿事務局ノ總裁トシテ、如何ナル御打合せニナッテ居リマスルカ、其點ヲ御差

支ナイ限り、ハッキリ伺ヒタイト思フノデアリマス

○川越政府委員 關稅改正ニ關シマスル問題ハ、滿洲國ト致シマシテハ先程カラ問題ニナッテ居リマスル鐵鐵、竝ニ鐵ニ關スル問題ガ主タルモノデアリマス、其外ノモノハ餘リ大シテ影響ハナイト思ッテ居リマス

○大山委員 詰リ鐵ノ問題ニ對シテ、此關稅調查會ニ御付議ニナル以前ニ、當局者間ニ何等カ準備ノ爲ニ、御打合せガアリマシタカ、ドウカ其點ヲ一ツ……

○川越政府委員 關稅調查會ニ付議サレル前ニ、關係事務官ガ集リマシテ、色々相談ヲ致シマシタ

○大山委員 其御相談ガアッタシマスルナラバ、此關稅調查會ノコトニ付テハ、私共ハ漏レ承ッテ居ナイノデアリマスルガ、本案ガ若シ此議會ヲ通過致シマシタナラバ、ソレニ對スル對滿事務局ノ方ニ於テハ、日滿間ノ關稅問題ヲ、適當ニ御處理ニナル御確信ガアルモノト心得テ居ッテ、宜シウゴザイマスカドウデセウカ、實ハ滿洲國ノ關稅問題ニ影響スル譯デアリマス、日本ト滿洲トノ經濟關係ニ於テ、日本ノ鐵ノ關稅ヲ假ニ引下ゲマス、其引下ゲタ結果ガ滿洲ノ鐵ニ對スル需要供給ノ關係ニ、直チニ影響ヲ

有ッテ來ルト云フコトハ、申ス迄モナイコトデアリマス、其點ニ關シマシテ日本ガ關稅ノ引下ヲ行ッテ、或ハ之ヲ引上ゲル、今ハ引下デアリマスケレドモ、引上ゲル、斯ウ云フヤウナ場合ニ、其日滿ノ經濟關係ニ、如何ナル影響ヲ及ボスカト云フコトニ付テハ種々御考慮ニナッテ居レルコト、思フノデアリマスルカラ、今日ノ此委員會ヲ通過致シマシテ、此議會ヲ若シ通過シテ、確定サレマシタ場合ニハ、ソレハ滿洲國ノ製鐵事業及此關稅關係ト云フコトニ付テハ、適當ナル御考慮ヲ爲サレル御確信ヲ御有チニナッテ居ルノデアアルカドウカト云フコトヲ、念ノ爲ニ伺ッテ置キマス

○川越政府委員 御質問ノ趣旨ガ、實ハ私能ク吞ミ込メマセヌガ、日本側デ鐵鐵ナリ鐵ノ關稅ヲ下ゲルト、是ハ滿洲國ニ對シテ非常ニ都合ノ好イコトデアルカラ、今度ハ滿洲國側ノ方デ、何カ日本側ノ品物ニ對シテ相當ノ考慮ヲサレル必要ガアルカドウカト云フ御質問ナンデセウカ、或ハサウ云フ風ニモ取レタノデスガ……

○大山委員 私ノ申シ方ガ惡カッタノデスガ、詰リ日本デ此關稅ノ引下ヲシマシテ、サウシテ其引下ヲ目的トシテ居リマスルノハ、所謂鐵鐵ナリ鋼材ナリノ價格ヲ引下ゲ

ルト云フコトガ、目的ニナッテ居ル、趣旨ニナッテ居ルヤウニ思フ、同時ニ其供給ノ圓滑ナラシメルト云フコトガ、根本ノ趣旨ニナッテ居ルノデアリマス、然ルニ滿洲ニ於テ、今日ノ場合滿洲ノ製鐵事業、是等ニ對シマシテハ、日本ニ此物ヲ輸入致シマスル場合ニ、ソレハ必ズ關稅ノ關係ガソコニ生ジテ來ル、其當然ノ結果トシテ生ジテ來ルノデス、併シ日本ト云フ國ト滿洲ト云フ國ハ、違ッテ居ルノデス、違ッテ居リマスルカラ、關稅關係ハ別箇ニ對立シナケレバナラヌ問題デアル、其點ニ付テ對滿事務局ニ於カレテモ、我ハ外務省ニ於カレテモ、相當ノ御考慮ニナッテ居ルカドウカト云フコトヲ伺フノデス

○川越政府委員 今回ノ關稅ノ改正ハ、鐵ト鐵鐵ニ付キマシテハ關稅ノ引下デアリマスルカラ、向フカラ入ッテ來マスル所ノ鐵ヤ、滿洲ノ鐵鐵ナリ、鋼材ナリガ内地ニ入ルノニ、都合好クナッテ居ルト云フコトニナルト思フノデアリマス、其價格ニ付キマシテ、先程速記中止中ノ質問應答デ御分リデアラウト思ヒマスガ、要スルニ現在滿洲デ拵ヘテ居ル鐵ハ、關稅ヲ引下ゲルト云フコトノ爲ニ、相當程度ノ利益ヲ受ケルコトトナリマス、滿洲ニ於ケル製鐵業ト云フモノ

ハ、何ト申シマスカ有利ナ状態ニナルト云フ結果ニナルグラウト思ヒマス

○大山委員 宜シウゴザイマス

○小笠原委員長代理 小池君モ發言ヲ求メラレテ居リマスガ、田島君、關聯事項デ差支ナケレバ小池君ニ許シマス

○小池委員 速記ヲ止メサシテ戴キマス

○小笠原委員長代理 ソレデハ速記ヲ止メテ……

〔速記中止〕

○小笠原委員長代理 ソレデハ速記ヲ開始シテ——田島君

○田島委員 私モ簡單ナコトデアリマシガ、速記ヲ止メテ戴キタイノデス……

○小笠原委員長代理 ソレデハ再ビ速記ヲ中止シテ下サイ

〔速記中止〕

○小笠原委員長代理 今カラ速記ヲ始めテ下サイ

○田島委員 丁度序デアリマスシ、日本ノ鐵ノ國策ノ關係上、非常ニ必要ナコト、思ヒマスカラ、是ダケ伺ッテ置キタイト思ヒマスガ、對滿事務局總裁ノ御意見トシテハ、現在ノ昭和製鋼所ハ現在五十萬瓩ノ年産額ヲ持ッテ居ルト考ヘテ居リマスガ、之ヲ更ニ御擴張ニナル御意思ガ御有リデアリマス

カ、若シ御擴張ニナルモノトスレバ、ヤハリ現在ノ場所ニ於テ御擴張ニナルノデアリマスガ、ドウモ吾々ノ考ヘル所ニ依リマス

ト、現在ノ場所ハ海カラモ遠イシ、唯鐵坑ニ近イダケデアリマシテ、石炭モ相當遠ッテ行カナケレバナラス、殊ニ「コークス」用炭トシテハ、餘程不自由ヲ見ラレナケレバナラス現狀ダト思フノデアリマスガ、ドウ云フ御計畫ヲ有ッテ居ラレルカ、ソレヲ伺ヒタイ、序デニ尙ホ關聯シテ居リマスルカラ、伺ッテ置キタイノデアリマスガ、以前滿鐵ガ此昭和製鋼所ナルモノ、經營ヲ、開始シヨウト考ヘマシタ時分ニハ、朝鮮ノ新義州ト云フモノヲ其場所ニ考ヘマシテ、現ニ新義州ニ非常ニ廣イ土地ヲ買收シテ居ルノデアリマス、是ハ滿洲國獨立ト同時ニ、

前陸軍大臣ノ時代ニ色々御考究ニナッテ、段段擴張サレルコトニ決ッテ、新義州ハ其儘ニナッタヤウデアリマスガ、新義州其モノニ付テ、又將來御考ヘニナルヤウナ御氣分ハナイノデアリマスガ、是ハ朝鮮關係ニ於テ重大ナ問題ダト思フノデアリマスカラ、併セテ御答ヲ願ヒタイ

○林國務大臣 昭和製鋼所ノ將來ノ擴張等ニ付キマシテハ、是亦政府委員カラ御答ヘ致シマス

○川越政府委員 昭和製鋼所ノ擴張計畫ニ付キマシテハ、先程ダナタカノ御質問ニ對シマシテ、一應御説明申上ゲタト思ヒマス

ガ、創立當時ハ鉄鐵四十五萬瓩ト云フ計畫デアッタノデアリマスガ、昨年ノ暮デアリマシタカ、増産計畫ヲ立テマシテ、六十五萬瓩マデ増産ノ計畫ヲ立テマシタ、此計畫ハ昭和十一年度ニナッテ、實現スル積リデアリマス、而シテ御話ノ趣旨ハ、此計畫以外ニ更ニモウ一遍擴張計畫ヲスルカドウカト云フ御質問デアッタヤウニ思ヒマスガ、只今ノ所デハ、此鉄鐵六十五萬瓩ト云フ「キヤパシテイ」デ、一應進ム積リデアリマシテ、別ニ是以上擴張シヨウト云フ考ハ有ッテ居リマセヌ、ソレカラ新義州ヲ將來ドウスルカト云フコトニ付キマシテハ、彼處ニ製鐵所ヲ造ルトカ造ラストカ云フ計畫ハ、マダ今日少シモ考ヘテ居リマセヌ

○田島委員 滿洲ノ昭和製鋼所ノ問題ハ、ソレデ諒解致シマシタガ、茲ニ更ニソレニ關聯シテ伺ッテ置キタイト思ヒマスノハ、朝鮮ニ於ケル鐵礦ノ資源ハ、此頃ニ至リマシテ極メテ豊富デアルト云フコトヲ伺ヒマス、然ルニソレハ朝鮮全體デノ話デアリマシテ、日鐵會社ノ分工場デアリマス所ノ兼二浦ノ製鐵所ノ原礦ト云フモノハ、現在ニ

於テハ極メテ手薄ノヤウニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、其點ニ付テ、兼二浦ノ製鐵所トシテ現在ノ機能ヲ維持シテ、少クトモ現在以上ニ擴張ガ遂行サレルト云ヤウナ狀態ニ置カレルト云フコトガ、朝鮮統治ノ上ニ於テモ朝鮮開發ノ上ニ付テモ、非常ニ必要ナコトデゴザイマスルガ、此點ニ付テ如何ナル狀態デアルカ、簡單ニ政務總監ノ御答辯ヲ御願シタイト思ヒマス

○今井田政府委員 御答ヘ致シマス、朝鮮デ現在產出致シテ居リマスル鐵礦ハ、約五十萬瓩ト承知致シテ居リマス、而シテ其半ハ、朝鮮内デ製鐵ノ原料トシテ使ッテ居リマス、其約半數ハ内地ニ移入サレマシテ、内地デ使ッテ居リマス、現ニ使用致シテ居リマス鐵礦ハ主トシテ赤鐵礦ヤ褐鐵礦ガ稍、優良ナル品質デアリマスガ、其埋藏量ハ約二十萬瓩ト推定サレテ居リマス、是ヲ今後開發シマスレバ、兼二浦ノ製鐵量ハ、尙ホ相當増加シ得ル餘裕ガアルト考ヘラレテ居リマス、尙ホ其外ニ只今御話ニナリマシタヤウニ、他ノ部分ニ非常ニ豊富ナル鐵礦ヲ所藏致シテ居リマス、例ヘバ茂山ノ如キハ約四億瓩ノ埋藏量ヲ持ッテ居ルノデアリマス、其他ニ尙ホ江原道、或ハ慶尙南道等ニ最近ニ於キマシテ茂山ヨリモ稍、優良

ナル品質ノ鐵礦ガ、逐次發見サレツ、アル
ノデアリマシテ、是等ニ對シマシテ目下調
査中デアリマスカラ、埋藏量ノ程ハ調査未
定デアリマスルケレドモ、相當ノ容量ヲ包
藏致シテ居ルヤウニ考ヘラレルノデアリマ
ス、是等各方面ノ鐵礦ガ開發サレマスレバ
朝鮮内ニ將來鐵礦ノ需要ガ増加シ、又内地
ノ鐵礦ノ需要ニ對シマシテモ、相當多量ヲ
供給シ得ル途ガアルト云フ風ニ、承知致シ
テ居リマス

○小笠原委員長代理 田島君、尙ホアナタ
ノ質問ハ、大體本日ヲ以テ終了ナサルヤウ
ニ、御進行アランコトヲ願ヒマス

○田島委員 承知致シマシタ、モウ直グ終了
致シマス——丁度朝鮮ノ問題ガ上リマシタ
ノデ、序デニ更ニ御伺ヒ致シテ置キマスガ
朝鮮ノ鐵礦ノ資源ハ、只今政府委員ノ御答
辯ニ依ッテ、非常ニ豊富ナモノデアルト云フ
コトヲ伺フ譯デアリマスガ、之ニ付キマシ
テ、更ニ元ニ返リマシテ、日本製鐵ノ所謂
擴張計畫ナルモノハ、現在ニ於キマシテハ
大局ニ於テ、ドウ云フ方針ヲ有ッテ居ラレ
ルカト云フコトニ付テ、伺ッテ見マシタ所デ
ハ、千璣熔鑛爐及ソレニ附屬シタ製鋼所ヲ
拵ヘルト云フコトノ御答デアッテ、ソレハ
無論内地ヲ單位トシテヤラレルコトニ伺ッ

テ居ル譯デアリマスガ、日本製鐵ノ現在ノ
工場カラ申シマスト、飽クマデモ現在アリ
マス所ノ工場ヲ擴張整備シテ行ッテ、別
ニ新ナ場所ニ新ナ製鐵所ヲ置クト云フヤウ
ナコトヲ、御考ヘニナッテ居ル譯デハナイ
ノデアリマスカ、此點ニ付テ——根本ノ方
針デアリマシテ、御答ニ御困難カトモ思ヒ
マスケレドモ、今日マデ論議サレタヤウナ
コトガアリマシタナラバ、ソレヲ一應政府
委員カラ、御答ヲ願ッテ置キタイと思ヒマ

○勝政府委員 御答ヘ致シマス新ニ製鐵工
場ヲ、外ニ設ケルヤ否ヤト云フ點ニ付キマ
シテハ、現在ノ所デハ、若シ極メテ有利ニ
生産スルコトノ出來ル條件ヲ備ヘテ居ル所
ガアレバ、必ズシモ現在ノ工場ヲ擴張スル
ニ止マラズ、新規ノ場所ニモ置クカモ知レ

スト云フノデ、目下研究中デアリマス
○櫻井政府委員 一寸此場合御參考マデニ
茂山製鐵ニ關シマシテ勝政府委員ノ答辯ノ
補足ヲ申上ゲテ置キマス、田島委員ハ能ク
御承知ノ通り、製鐵合同問題ニ付テ、吾々

ハ一朝有ノ事ノ場合ニ於テ、支那竝ニ南洋
カラ參ッテ居ル鑛石ガドウナルカト云フコ
トガ、憂慮ノ一ツデアリマス、ソレニ對シ
テ商工當局竝ニ陸海軍當局ニ、其場合ドウ
ナサルカ、斯ウ云フコトヲ尋ネマシタ時ニ、

軍事當局ノ方針トシテハ、朝鮮ニハ茂山ト
云フモノガアル、其點ハ心配ナイ、斯ウ云フ
御話デアッタノデアリマス、ソレデ先程政務
總監モ申上ゲマシタ通りニ、鑛量四億噸ト
推定サレテ居リマス、所ガマダ此茂山ニ付
テハ、或ハ廣ク茂山ノ性質ヲ知ラレテ居ラ
ナイト云フ多少ノ憾ガ、アルノデハナイカト
思フ吾々ノ手許ニアル材料ニ依リマト、平
均ノ「パーセンテージ」ガ四〇「パーセント」
サウシテ鞍山ノ如ク磁鐵鑛ト赤鐵鑛ノ混合
デナイ、磁鐵鑛ダケデアアル爲メ、例ノ焙燒法

ニ依ル所ノ、貧鑛ノ處理法ヲ必要トシナイ
ト云フコトガアリマスノデ、其點ハ大分生
産條件ニ於テ、優ッテ居ル點ガアルノデハナ

イカト云フ風ニモ考ヘルノデアリマス、ソ
レカラ又モウ一ツハ、ドウモ茂山ニ製鐵所
ヲ設ケテモ、炭ハドウデアラウカ、北鮮ノ
褐炭デハ間ニ合ハヌノダガ、ドウダラウト
云フヤウナコトモ、懸念セラレテ居ルヤウ
ニ考ヘマス、所ガ是モ段々炭ヲ深く掘進ム
ニ隨ヒマシテ、ソレニ相當適合スル所ノ炭
ガ、發見セラレテ居ルト云フコトガ、實際
ノ狀態デアルヤウデアアルノデアリマス、此
點モ新ニ生産上カラ考ヘテ、一ツノ心配ノ
條件ガ除カレタノデヤナイカ、又日鐵トノ
關係ニ於キマシテモ、或ハ原鑛ヲ採ルト云

フ場合ニハ、片方ニ炭ヲ有ッテ居ルト云フ
コトモ、經濟的ニ考ヘラレヤシナイカ、ソ
コデ有事ノ場合ヲ考ヘマスト云フト、矢張
今日ノヤウナ供給不足ノ場合ニ、關稅スラ
モ引下ゲナケレバナラヌ、吾々ハ此製鐵合
同ノ時ニ、此問題ガ解決セラレテ、時局ニ
段々適合サレルノガ、國際貸借ノ上ニ於テ
モ、非常ニ好クナルト云フコトヲ喜ビトシ
タノデアリマス、ソレガ今日カラ申シマス
ト、關稅ヲ引下ゲテ外國カラ入レナケレバ、
需要者ノ便ヲ圖ルコトガ出來ナイノミナラ
ズ、實際ニ不足ヲスル、斯ウ云フ情勢ニナッ
テ居ルノデアリマス、斯ウ云フ情勢ノ場合
ニ於テこそ、増産計畫ノ中ニ茂山ノ如キモ
ノヲ開イテ、サウシテ一朝有事ノ場合ニ對
スル憂慮モ、此場合ニ於テ除イテ置クト云
フコトガ、最も必要ナ問題デハナカラウカ、
始メマスルノモ條件ノ好イ時機デアアル、斯
ウ考ヘマスノデ、又商工政務次官ノ言ハレ
タ……

○小笠原委員長代理 櫻井政府委員ニ希望
致シマス、陸軍大臣ノ都合モアリマスカラ
簡單ニ御願致シマス

○櫻井政府委員 簡單ニ致シマス、マダ政
府ノ議ハ一決シナイノデアリマスケレドモ、
拓務省ノ立場ト致シマシテハ、斯ル際ニ一

ツ斯ウ云フ條件ニアル所ヲ、開イテ戴キタ
イト云フ希望ヲ有ッテ居リマスルコトヲ、田
島君ニ御參考マデニ申上ゲテ置キマス

○田島委員 段々ノ御説明デ能ク了解致シ
マシタガ、最後ニ若シ事情ガ許シマスナラ
バ、對滿事務局ニ於テ滿洲ニ於ケル鐵礦ノ
資源ト、ソレカラ骸炭用ノ石炭ノ埋藏量、
ソレヲ資料トシテ御提出ヲ願ヒタイ、ソレ
カラ朝鮮總督府ニ於ケル鐵礦ノ埋藏量、及
只今櫻井政府委員ノ御話ガアリマシタガ、
若シ骸炭用原料トシテノ石炭、若クハソレ
ニ近イ物ガアルト致シマスレバ、ソレノ埋
藏量、ソレヲ資料トシテ御提出願ヒタイ、
尙ホ御尋シタイコトガアリマスケレドモ、
ドモ根本策ニ觸レルヤウナ問題バカリデ
アリマシテ、關稅ト云フモノト少々縁ガ薄
クナルヤウニ考ヘマスカラ、私ノ質問ハ是
デ打切りマス

○松村委員 極ク簡單ニ伺ッテ置キタイノ
ハ、昭和製鋼所、本溪湖其他滿洲カラ日本
内地ヘ銑鐵並ニ鋼材ノ輸入納入、本年度、
十一年度ノ大體ノ觀測ヲ、商工省カラハ出
テ居リマスルガ、幸ヒ關係者ガ、見エテ居
リマスルカラ、此際御説明ヲ願ヒマス、商
工省カラハ昭和九年マデハハッキリ出テ居
ルケレドモ、十年、十一年ノ見込額ガ少シ

ハッキリシナイヤウデアアルガ、御打合ノ上デ
モ結構デスカラ、若シ今日御答辯ガ出來ナ
ケレバ、明日デモ結構デス

○川越政府委員 大體九年度マデハ、商工
省カラ御出シシテ居ルト思ヒマス、十年度
ニ付キマシテハ、九年度ト餘リ、大シタ變リ
ハナイ、十一年度以降ニナリマス、銑鐵
ハ昭和製鋼所ノ分ダケ、少シ減ルノデハナ
イカト思ヒマス、結局十一年度以降ハ、昭
和製鋼所ノ分ガ十三萬六千噸ニナリマスカ
ラ、本溪湖ノ分ハ前年通りデアリマス、其
分ダケガ多少減ッテ居リマス

○松村委員 昭和九年度ハ多分四十萬噸少
シ越シテ居ル、四十一萬噸、今年度カラモ
少シ減ルノデハナイカ、専門家ノ間ニハ銑
鐵共販會社ノ方デハ三十萬噸シカ入ラナイ
ト云フ見込ヲ立テ、十一萬噸減ルヤウナ見
込ヲハッキリ立テ、居ルヤウデアアルガ、今
ノ御答辯ダト、本年ハ減ラナイト言フガ、
來年度ハ無論減ル、本年モ十萬噸位減ルノ
デヤアリマセヌカ

○川越政府委員 十年度ハ三十五萬噸ト云
フコトデ出テ居ルサウデス

○松村委員 サウシマス、ト約六萬噸バカ
リ、昨年ヨリ減ルト云フ見込デ宜シウゴザ
イマスガ、十一年度ハ更ニ減ッテ凡ソドノ

位ノ見込デアリマスカ、是ハ可ナリ重要ナ
ル資料デアリマスルガ故ニ、成ベクハッキリ
御答ヲ願ッテ置キマス

○川越政府委員 大體十一年ハ二十四、五
萬噸ニナルト思ヒマス

○松村委員 其他鋼片一切、鋼材ノ方ハド
ウナリマスカ

○川越政府委員 鋼片ハ今年ハマダ間ニ合
フマイカト思ヒマスガ、將來ハ大體二十萬
噸位入りマス

○松村委員 來年度以降鋼材ヲ一括シテ幾
ラ入りマスカ

○川越政府委員 鋼材ハ是ハ滿洲乃至支那
ニ出スノデアリマスガ、鋼材ノ方ハ入ラナ
イ、鋼片ハ大體來年度アタリカラ入ッテ來ル
ト思ヒマスガ、正確ナ數字ハ分リマセヌ、
大體二十萬噸位入りマス

○小笠原委員長代理 ソレデハ本日ハ此程
度ニ止メ、明日ハ審議ノ關係上カラ、午前
十一時ヨリ開會致シマス、是ニテ散會致シ
マス

午後五時三十分散會

昭和十年三月十八日印刷

昭和十年三月十九日發行

衆議院事務局

印刷者 常磐印刷株式會社